

[2101] 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
倫理学			講義	齋藤雅俊	1年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
2	15	30		2				○	期末試験		
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 倫理思想史の歩みについての理解		≪汎用的技能≫ 前項目について口頭、文章等で説明			≪態度・志向性≫ 社会の形成者としての倫理観の涵養					
	≪知識・理解≫ 倫理思想史の歩みについての理解を深めながら、倫理的な考え方やものの見方に慣れ親しんでいく。その際、古代ギリシア時代から現代にわたる倫理的な諸問題(価値の相対主義・絶対主義、カント倫理学・功利主義、ゲーム理論、性善説・性悪説、臓器移植等)にかかわる生命倫理、情報化社会における倫理・リテラシー、移民問題と自国のアイデンティティ、自他の利益相反等...)を取り上げ、思考実験をしながら、「どのように生きるべきか」といった実存的な問いについて各々が思索を深めていく。										
	≪知識・理解≫ 倫理思想史の歩みについての理解を深めながら、倫理的な考え方やものの見方に慣れ親しんでいく。その際、古代ギリシア時代から現代にわたる倫理的な諸問題(価値の相対主義・絶対主義、カント倫理学・功利主義、ゲーム理論、性善説・性悪説、臓器移植等)にかかわる生命倫理、情報化社会における倫理・リテラシー、移民問題と自国のアイデンティティ、自他の利益相反等...)を取り上げ、思考実験をしながら、「どのように生きるべきか」といった実存的な問いについて各々が思索を深めていく。										
授業の到達目標	倫理的な考え方やものの見方を身につけるために、 ①倫理の本質と目的、意義と理念について理解する。 ②これまでの倫理思想史の歩みについて理解する。 ③前項目について理解・修得したことを授業内で口頭発表したり、試験・レポート等で論述できる。										
単位認定の要件	期末レポート(55点) + コメントペーパー等授業内提出物(3点×15回分) = 60点以上										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	ガイダンス・倫理学とはどのような学問か？ 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	2	倫理判断の原理① 価値の相対主義と絶対主義 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	3	倫理判断の原理② 定言命法と仮言命法(カント倫理学) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	4	倫理判断の原理③ 功利主義・最大多数の最大幸福(ベンサム、J. S. ミル) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	5	自己利益の追求か他者との協力か？(囚人のジレンマ) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	6	個人の権利か社会の維持か？(自由主義と共同体主義) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	7	犯罪者の人権をめぐる問題(死刑、少年法等) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	8	性善説と性悪説 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	9	グローバル社会・移民をめぐる問題 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	10	管理社会・監視社会をめぐる問題 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	11	生存権・命の尊厳をめぐる問題(生命倫理) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	12	福祉をめぐる問題(自分の人生を優先するか親の介護を優先するか？) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	13	規範意識・ルールを守るということ(『星野君の二重打』より) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	14	世間への無知・無関心、「他人事」ということ 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
	15	他者・世界のために生きるということ(「全体の奉仕者」とは？) 予習：Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習：授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)									
教科書・教材	特になし。										
参考書・参考文献等	パワーポイントによるまとめプリントを配布する。なお、配布物が多いため、各自綴じするためのファイルを用意すること。										
履修上の注意等	新聞・テレビ等の教育関連情報に関心をはらうこと。また、出欠の不正(中抜け、無断退出、代返、コメントペーパー代筆等)の他、成績評価に関わる全ての不正については単位認定を不可とする場合がある。										
実務経験との関連	実務経験の有無	無									

【2102】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科	
国文学			講義	中村光宏	1年	後期	こども発達学科	
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無
2	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力		≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			①授業で取り上げた内容について 小テストを行い確認する。 ②学習レポートで提起された疑問点に対して、授業で取り上げて解説する。 アクティブラーニングの有無 (内容) 有
	○ ○ ○		— — — ○ ○		— — — ○ — ○ —			
	○ ○ ○		— — — ○ ○		— — — ○ — ○ —			
	○ ○ ○		— — — ○ ○		— — — ○ — ○ —			
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		作品を取り巻く背景・文化・ものの考え方・人間の生き方等の理解 作品の音読と解釈及び意見・感想のディスカッション 古典作品の学術課題に対する自律的・継続的取り組み					期末試験 期末レポート 40 無 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 30 有 その他 計 100 フィードバックの方法
授業概要	文学は、社会経済に対する「実用性」や「生産性」の観点から、軽視される面がある。また、古文の「主語や目的語を大量に省略する」独特な言い回しや、漢字表記・歴史的仮名遣いに代表される「現代語との表記の違い」によって、敬遠されることが多い学問である。しかし「古文を通じて先人の「ものの考え方」「社会の在り方」を学ぶことは、混とんとした現代を生き抜くための「意味」や「価値観」のヒントになるかもしれない。「古典は難しい、つまらない」といって先入観にとらわれず、文学作品が生まれる背景や代表的な作品を読み味わうことで、われわれ日本人が創造してきた「文化」を再発見し、学生個々の「心の豊かさ」につながるように古典と向き合いたい。						必要に応じてグループディスカッションを行い、「課題」に対して相互が探究し討論することで理解を深め合う。	
授業の 到達目標	①日本文学の移り変わりを理解し、その時代に生きる先人たちの「背景」や「思い」を受けとめ、作品の価値や魅力を再確認する。 ②それぞれの作品の解釈を通じて、自分なりの「作品観」や「価値観」を持って、それを発表したり他者とディスカッションすることで、古文に対する教養を深める。 ③授業で扱った作品について、学習レポートにまとめてより深く理解することで、日本文化と現代社会との関わり合いについて再認識する。							
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。							
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容						
	1	ガイダンス「国文学概論」本講義の学修内容の確認と目的【上代の文学】「古事記1」①概要②イザナキとイザナミの国生み他) 予習:(分)60(大和朝廷による統一国家の樹立の背景を調べる。※大化の改新・壬申の乱) 復習:(分)60(上代の文学が誕生した状況と、その文学の特徴を捉える。)						
	2	【上代の文学】「古事記2」①(天照大神と須佐之男命②八岐大蛇退治③大国主命の国遣り④天孫降臨⑤海彦山彦) 予習:(分)60(神々の物語の概要をつかむ。※天照大神・須佐之男命・大国主命・甕途彦命・海彦山彦・神武天皇) 復習:(分)60(神々の物語と日本の皇室の起源神話の関係を捉え、「古事記」が作られた歴史上の意味を考える。)						
	3	【上代の文学】「万葉集」①概要②相聞歌・挽歌・雑歌から代表的歌を鑑賞※上代に生きた多くの祖先たちの「心の叫び」を聞く 予習:(分)60(万葉集の概要を理解する。) 復習:(分)60(万葉集の歌を鑑賞し、上代の人々が描いていた思いについて「心」を馳せる。)						
	4	【中古の文学】源氏物語1①(中古の文学の流れを知る②「源氏物語」概要③摂関政治を正しく認識する④女房文学の概要を捉える) 予習:(分)60(奈良時代から平安時代の文学がどのように変遷してきたかを調べる。) 復習:(分)60(源氏物語の概要を理解する。)						
	5	【中古の文学】源氏物語2①(桐壺②弘徽殿の女御③藤原の女御④藤原の女御⑤「光源氏」が関係した女性たちについて理解する。) 予習:(分)60(桐壺②藤原の女御③藤原の女御④藤原の女御⑤「光源氏」の関係を読み解く。) 復習:(分)60(「紫式部」が「源氏物語」に込めた思いを探究し理解する。)						
	6	【中古の文学】源氏物語3①(六条御息所②紫の上③夕顔④末摘花⑤藤原の女御⑥明石の君※「光源氏」の女性遍歴を探る。) 予習:(分)60(六条御息所②紫の上③夕顔④末摘花⑤藤原の女御⑥明石の君について調べておく。) 復習:(分)60(「紫式部」が「源氏物語」の中で描いた宮中の世界観を理解し、平安貴族の恋愛について理解を深める。)						
	7	【中古の文学】「枕草子1」①(「枕草子」概要②作者「清少納言」の人物像③中宮定子を巡る人間模様④「枕草子」の真実) 予習:(分)60(「枕草子」の概要について調べる。中宮定子について調べる。) 復習:(分)60(関白「藤原道隆」の死から中宮白家が没落していく経緯について正しく認識する。)						
	8	【中古の文学】「枕草子2」①(枕草子の解釈②作者「清少納言」と中宮「定子」の関係を正しく理解する。) 予習:(分)60(作者「清少納言」が「枕草子」を執筆する背景について正しく理解する。) 復習:(分)60(序段「春はあけぼの」に込められた、作者「清少納言」の感性を理解する。)						
	9	【中古の文学】「枕草子3」(「枕草子」章段を鑑賞し、作者「清少納言」の人物像に迫る。) 予習:(分)60(「類聚的章段」から作者「清少納言」の感性を抽出する。) 復習:(分)60(「紫式部」との関係を確認するとともに、「をかし」の文学と「あはれ」の文学についても理解する。)						
	10	【中世の文学】「平家物語1」①(中古から中世への文学の流れを知る②「保元・平治の乱」を知る③「平家」の台頭と没落を理解する。) 予習:(分)60(貴族の社会から武士の社会へと変遷する過程を調べる。) 復習:(分)60(「平清盛」と「源頼朝」の関係を理解し、「平家」が滅亡していく状況を確認する。)						
	11	【中世の文学】「平家物語2」(巻第一「祇園精舎」及び巻第十一「先帝入水」を鑑賞し、「無常観」を認識する。) 予習:(分)60(「祇園精舎」を熟読し、その内容をよく理解する。) 復習:(分)60(「平家物語」を通して、平安から鎌倉、鎌倉から江戸へと時代が変遷していった状況を確認する。)						
	12	【中世の文学】「方丈記」①(「愚者文学」を理解する。②「方丈記」の執筆の状況を知る。③作者「鴨長明」の「無常観」を理解する。) 予習:(分)60(第一段「ゆく川の流れは絶えずして」を読み、「無常観」について理解を深める。) 復習:(分)60(作者「鴨長明」の生い立ちを認識し、「鴨長明」の世界観を理解する。)						
	13	【中世の文学】「徒然草」①(作者「兼好」の「無常観」について理解する。②「徒然草」が後世に果たした役割を知る。) 予習:(分)60(「花は盛りには熟し、兼好」の豊かな感性に迫る。) 復習:(分)60(「兼好」と「鴨長明」の「無常観」の違いについて理解する。)						
	14	【近世の文学】「奥の細道」(「月日は百代の過客にして」・「立石寺」他※紀行文における独自の詠嘆的文章の確立) 予習:(分)60(「近世文学」の特徴について調べる。) 復習:(分)60(「松尾芭蕉」が築いた「俳諧」の世界を鑑賞し、自らの感性を磨く。)						
	15	【近代の文学】※明治以降から現代までの文学の流れ(※開国に伴う急速な西洋思想の流入と、「文学」という言語芸術の概念を理解する。) 予習:(分)60(「明治維新」によって、「文学」とどのような影響・変化があったかを調べる。) 復習:(分)60(「日本文学史」を理解し、「文学」が時代と共に変容し、その時代にどのような影響を与えたかを認識する。)						
教科書・教材	特になし。毎時、個別にレジュメや資料(作品)を配布する。							
参考書・ 参考文献等	『日本古典文学大系』(岩波書店)監修:高木市之助他 『概観 日本文学史』(建邦社)編者:岡一男 『新潮日本古典集成』(新潮社)校注:福田秀一他 『図説日本の古典』(集英社)著者:郡司正勝他 『日本古典読本』(筑摩書房)編者:秋山虔他 『シヅメ新日本文学史』(文芸堂)編者:秋山虔・三好行雄 『古典の裏』(笠間書院)著者:松村睦他							
履修上の 注意等	学習レポートの提出あり。(PowerPoint・資料及びweb等による検索が必要) 授業内で小テストあり。(授業内で学習した内容の復習・追補) 小グループによるディスカッション・発表あり。 倫理観を持って意欲的に取り組む。							
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	系列校の高等学校校長及び国語科の教員経験を活かし、日本文学の移り変わりを理解し、さまざまな作品の解釈から自分なりの作品観や価値観を深める内容の科目である。					

【2103】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
日本国憲法			講義	小野昇平	1年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30		2	○	○	▲		期末試験	40	有				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》									
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	
	○	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○		○
当該科目の キーワード	《知識・理解》		憲法の規定の内容									毎回提出されたミニレポートを踏まえて翌週に解説を行う。			
	《汎用的技能》		具体的事例を素材とした講義												
	《態度・志向性》		国民主権、基本的人権										アクティブラーニングの有無 (内容)	有	
授業概要	憲法改正の国民投票や国政選挙の投票権も18歳以上に引き下げられた現代においては、憲法には何が書いてあるのかということよりも、憲法とは何のためにあるのかということについて、「自分のこと」として深く考えることが不可欠です。この講義では、様々な具体例についての講義とミニレポートを通じて憲法の実在意義をしっかりと理解してもらおうと同時に、多様な場面における憲法の役割を論理的に説明できるようにすることと目的とします。											授業中に教員が問いかけを行う。授業内でアンケートに回答してもらう。			
授業の 到達目標	① 憲法が何のためにあるのかを説明できるようになること。 ② 憲法で保障されている様々な自由や権利がどのような場合にどのように問題となるのかを論理的に説明できるようにすること。														
単位認定の要件	①②の観点からの評価の結果が60点以上。														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	憲法とは何なのかを理解しよう 予習:「立憲主義」という言葉の意味を調べてくる。憲法の条文を音読しておく。(120分) 復習:授業で取り上げた憲法の条文をよく読んで中学校や高校の社会の教科書にどう書いてあるか見てみる(60分)													
	2	「私たちの」国と憲法:国会・内閣の役割はなんだろう? 予習:「権力分立」という言葉の意味を調べておく。権力が分立されていない国はどんな国か(実際あるのか)調べておく。(90分) 復習:国会と内閣、裁判所の役割についての憲法の条文を読み返して、それぞれの役割を復習する。(90分)													
	3	国民主権、選挙は何のためにあるのだろうか? 予習:前回の授業で提示された「投票」について調べる。「国民主権」という言葉の意味を調べておく。(90分) 復習:選挙の投票率向上のための取り組みについて調べる(90分)													
	4	憲法9条と自衛隊、自衛権の問題 予習:自衛隊がどのような歴史をたどって作られたのかを調べてくる。(90分) 復習:自衛隊による憲法9条の改正案を見て、授業内容を踏まえて自分の考え(賛成・反対)をまとめる。(90分)													
	5	憲法9条と自衛隊の海外派兵問題 予習:自衛隊が日本以外の地域でどのような活動をしているのか陸上自衛隊HPなどで調べておく。(90分) 復習:授業で見た映像の中に出てきたイラクと南スーダンにおける自衛隊の活動について詳しく調べる。(90分)													
	6	基本的人権と公共の福祉—飲酒対策事件 予習:前回の授業で配布した事例について、憲法の何条が問題となるのか考えてまとめる。(90分) 復習:公共の福祉による人権の制約について、図書館などの本(×Web)できちんと調べておく。(90分)													
	7	性犯罪防止法事件とプライバシーの権利 予習:前回の授業で渡した事例について、憲法の何条が問題となるのか考えてまとめる。(90分) 復習:日本以外の国で性犯罪者の再犯防止のためにどのような制度があるのか調べてみる。(90分)													
	8	一票の較差とは?—投票価値の平等と憲法14条 予習:「一票の較差」という言葉について調べて説明できるようにしておく。(90分) 復習:「一票の較差」に関連する2022年と2023年の裁判についてのニュース記事を探しておく。(90分)													
	9	男女の不平等!?—夫婦同姓制度と憲法14条、24条 予習:どうして夫婦は名字を同じにしなければならないのか、その理由を考えてまとめる。(90分) 復習:授業で配布した参考資料(裁判例についての記事)をよく読んでおく。(90分)													
	10	同性婚が認められないのは憲法違反?—同性婚と憲法13条、14条、24条 予習:なぜ同性婚が認められないのか、その理由を調べておく。同性婚についての自分の考えをまとめる。(90分) 復習:授業で配布した参考資料(裁判例についての記事)をよく読んでおく。(90分)													
	11	ピアフッセンをしたありません!—思想の自由と憲法19条 予習:「思想良心の自由」が何を守っているのか、図書館などの本(×Web)で調べておく。(90分) 復習:授業で扱った事例以外に、思想良心の自由が問題となった事件を調べて、概要をまとめる。(90分)													
	12	剣道は履修できないのですが…—信教の自由と憲法20条 予習:「信教の自由」が何を守っているのか、図書館などの本(×Web)で調べておく。(90分) 復習:授業で扱った事例以外に、信教の自由が問題となった事件を調べて、概要をまとめる。(90分)													
	13	犯罪者が出ている映画は上映しちゃダメ?—表現の自由と憲法21条 予習:「表現の自由」が何を守っているのか、図書館などの本(×Web)で調べておく。(90分) 復習:授業で扱った事例以外に、表現の自由が問題となった事件を調べて、概要をまとめる。(90分)													
	14	教育は誰のため?何のため?—教育を受ける権利と憲法26条 予習:「全国学力・学習状況調査」とはどのようなものか、何のための調査かを調べておく。(90分) 復習:授業で扱った事例のほかに、「教育を受ける権利」が問題とされた事件を調べて概要をまとめる。(90分)													
	15	まとめ—価値問題の調整原理としての憲法 予習:前回の授業で配布した資料をよく読んで概要を説明できるようにしておく。「アラブの春」という言葉について調べておく。(90分) 復習:これまでの授業で扱ったいくつかの事例について、憲法がどのように問題になるかを復習しておく。(90分)													
教科書・教材	特になし。ただし、各自授業の前までに日本国憲法の条文(中高の社会の教科書や条文だけ印刷したもので可)を用意しておくこと。														
参考書・ 参考文献等	初回の講義で紹介する														
履修上の 注意等	積極的に質問をするなど、自ら学ぶ姿勢をとること。														
実務経験との 関連	実務経験の有無	無													

【2104】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
法学			講義	小野昇平	1年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
2	15	30		2					▲		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末試験 期末レポート 70 有 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法	
	—		○	—	—	○	○	—	—		—
	≪知識・理解≫ 様々な法についての知識		≪汎用的技能≫ 自分の主張を論理的に組み立てる			≪態度・志向性≫ 法の背景にある正義					毎回の提出物および期末レポートに対しては総合的なコメントを出す。
	当該科目のキーワード										アクティブラーニングの有無(内容) 有
授業概要		この講義では、「法ニルル／決まり事」について「考えてもらう」ことを目的とする。ニュースや新聞記事などでも目にする身近な問題や社会問題を「法」というレンズを通してみることで、答えのない問題について、より深く「考える」ことができるようになる。また、物事を法的に考え、これを論理的に他人に説明する力を身につける。								意見の発表と他の学生の意見を踏まえたアウトプット	
授業の到達目標		到達目標：①法的なものの考え方を身につけること。 ②具体的な問題について様々な角度から考え、自分の言葉で他人に説明できるようになること。									
単位認定の要件		到達目標①～②の観点からの評価の合計が60点以上であること。									
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		回	内容								
		1	法は何のためにあるのか—いろいろなルールを挙げて考えよう 予習：自分の知っている「ルール」を最低10個考えてくる。(90分) 復習：自分で考えたルールを、授業で学んだ法の役割に当てはめて分類してみる(90分)								
		2	法は何のためにあるのか②—ルールの読み方を学ぼう 予習：授業で紹介した事例において「バナナ」を持ってきていかどうか両方の立場から考える。(90分) 復習：授業で学んだ「おやつバナナ問題」についての多様な考え方を整理しておく。(90分)								
		3	法の使い方①—「要件と効果」 予習：「○は禁止」というルールをいくつか考え、それがどのように使われるかを考えてくる。(90分) 復習：授業の最後の事例について、授業をとっていない人に説明してわかってもらう。(90分)								
		4	法の使い方②—「法と事実」について知る 予習：「首話法廷」で検索し、「三匹のこぶた裁判」の動画、資料に目を通しておく。(90分) 復習：授業の最後の事例について、授業をとっていない人に説明してわかってもらう。(90分)								
		5	法と「国」—行政法①放射能汚染廃棄物の処分場問題 予習：授業で配布した資料にある問いについて考えてくる。(90分) 復習：授業の最後の事例について、授業をとっていない人に説明してわかってもらう。(90分)								
		6	法と「国」—行政法②病院を作るなら医師会と協議しなきゃだめ？ 予習：授業で配布した資料にある問いについて考えてくる。(90分) 復習：授業の最後の事例について、授業をとっていない人に説明してわかってもらう。(90分)								
		7	法と「制裁」—刑法について知ろう 予習：授業で配布した資料にある問いについて考えてくる。(90分) 復習：授業で話した刑法の基本原則について、Webで調べて再確認する。(90分)								
		8	法と「制裁」②—構成要件、違法性、有责性 予習：「死刑」になるのはどのような人物か調べる。死刑制度はあった方がいいか自分の考えをまとめてくる。(90分) 復習：授業内で話した「死刑」についての問題に関するニュース記事を3つ調べる。(90分)								
		9	法と「制裁」③—死刑に意味はあるのだろうか？ 予習：「死刑」になるのはどのような人物か調べる。死刑制度はあった方がいいか自分の考えをまとめてくる。(90分) 復習：授業内で話した「死刑」についての問題に関するニュース記事を3つ調べる。(90分)								
		10	法と日常生活①—民法の概要を知ろう 予習：授業で配布した予習資料をよく読んで自分の考えをまとめてくる。(90分) 復習：「契約」がどのような場合に成立するか、授業内容を踏まえて身近な事例を題材にして考える。(90分)								
		11	法と日常生活②—隣人訴訟を題材に「責任」の意味を考えよう 予習：「不法行為」「過失」という言葉についてWeb等で調べて説明できるようにしておく。(90分) 復習：授業で扱った隣人訴訟以外に「不法行為」が成立しそうな事例を3つ考える。(90分)								
		12	法と「世間」—隣人訴訟の後日談を素材にして考えよう 予習：隣人訴訟について、賠償金の額を考えてくる。隣人訴訟の後に起きた出来事について自分の考えをまとめてくる。(90分) 復習：法や裁判(判決も、訴訟を起こすことも含めて)に関して炎上した事例を調べる。(90分)								
		13	法と「世界」—国際社会と法 予習：いまの世界で起きている「戦争」を調べてくる。(90分) 復習：授業で話した「戦争」のルールについて授業をとっていない人に説明してわかってもらう。(90分)								
		14	法と「平和」—国際社会と法② 予習：「戦争」を防ぐための方法を考えてくる。(90分) 復習：授業で説明した「戦争を防ぐためのルール」について、授業をとっていない人に説明してわかってもらう。								
		15	改めて考える「法」の役割—とよかんらいおんを素材に 予習：資料「とよかんらいおん考」を読んでくる。(90分) 復習：「とよかんらいおん」のあらすじと、そこで語られている「ルール」の役割について授業をとっていない人に説明してわかってもらう。								
教科書・教材		特になし									
参考書・参考文献等		授業中に指示する。									
履修上の注意等		授業では教員の問いかけに対して発言をするなどの積極的な「参加」(≠出席)が必須となる。									
実務経験との関連		実務経験の有無	無								

【2105】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
経済学			講義	兼平拓道	1年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
2	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》					期末試験	70	無			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート		
	○	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	○	授業内小テスト		
														授業内提出物	30	有
当該科目の キーワード	《知識・理解》		マーケットメカニズム 金融システム									授業内提出物は各講義終了後に回収し評価した上で次回の講義時にフィードバックする。				
	《汎用的技能》		ケーススタディ 経済実践力									アクティブラーニングの有無 (内容)	無			
	《態度・志向性》		マネープランニング													
授業概要	私たちが取り巻く経済環境は時々刻々と変化している。そこで、この講義では「いま、何が起っているのか」をテーマに学習を進める。経済学の基本的知識であるマーケットメカニズム、インフレとデフレ、金融システム、金利、株式、為替、財政、家計などをケーススタディによりわかりやすく解説する。															
授業の到達目標	経済学の基本的知識を使って、経済社会システムのダイナミックな変容を読み解き、将来への見通しを的確に立てられる能力を身に付ける。グローバル経済の大きな潮流が家庭生活にどのような影響を与えているのかを分析し、ライフステージにおけるマネープランを設計できる経済実践力を習得する。総仕上げとして国際情勢の変容に伴う日本経済の将来を展望できる応用力を養成する。															
単位認定の要件	評価の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	経済学とは何か～経済学が、日常生活にどのように関わってくるのかについて考える。 予習:(90分)身の周りの経済を考える。 復習:(90分)メディアで経済ニュースを確認する。														
	2	モノの値段はどう決まるのか～経済的基礎条件の分析に必要な、マーケットメカニズムを学ぶ。 予習:(90分)身の回りで、毎日、値段が変化している消費財を探す。 復習:(90分) 価格変動のメカニズムを復習する。														
	3	好況や不況はどう決まるのか～インフレとデフレの仕組みを学びそれぞれのメリットとデメリットを理解する。 予習:(90分)身の回りで値段が上がっている消費財を調べる。 復習:(90分) 家庭でのインフレ対策を考える。														
	4	景気変動はなぜ生じるのか～戦後の経済史を振り返りながら、景気循環の仕組みについて学ぶ。 予習:(90分)戦後の代表的な好景気を調べる。 復習:(90分) 今が、景気循環ではどのあたりにいるのかを考える。														
	5	金融とは何か～金融市場における銀行の役割と企業の資金調達について学ぶ。 予習:(90分)企業はなぜ資金が必要であるかを調べる。 復習:(90分) 市中銀行のホームページを見て銀行の業務内容を再確認する。														
	6	金利はどう決まるのか～金利決定メカニズムを学び、金利上昇局面と金利低下局面の経済動向を分析する。 予習:(90分)金利にはどんな種類があるのかを調べる。 復習:(90分) 金利が1%上昇すると返済負担がどのくらい増えるのかをシミュレーションする。														
	7	日銀は何をしているのか～日本銀行の仕組みを学び、金融政策が経済に与える影響を分析する。 予習:(90分)日本銀行のホームページを見て、業務内容などを調べる。 復習:(90分) ゼロ金利政策のニュースを調べる。														
	8	バブル経済とは何か～バブル経済の発生と崩壊のメカニズムについて学ぶ。 予習:(90分)バブル経済のニュース報道を調べる。 復習:(90分) バブル崩壊で失敗した企業事例を調べる。														
	9	株の仕組みはどうなっているのか～株式投資のインカムゲインとキャピタルゲインの考え方を学ぶ。 予習:(90分)東いど会社の起源を調べる。 復習:(90分) 上場企業を1社ピックアップして、1か月間の値動きのグラフを作成しリスクとリターンを確認する。														
	10	為替とは何か～円高と円安の仕組みを学び、日常生活と関連づけて考える。 予習:(90分)円高と円安に関連する経済ニュースをピックアップする。 復習:(90分) 円安で恩恵を受ける企業と損失を受ける企業を調べる。														
	11	政府と経済とはどんな関係があるのか～政府の財政政策が日本経済の重要な調節機能となっていることを学ぶ。 予習:(90分)公共投資が私たちの生活に与える影響を調べる。 復習:(90分) 財政赤字の削減策を考察する。														
	12	日本の財政と年金はどうなっているのか～日本の財政危機と年金危機について学ぶ。 予習:(90分)日本の直近の予算を調べる。 復習:(90分) 財政赤字の削減策を考察する。														
	13	家計とは何か～ライフステージにおけるマネープランを設計する方法を学ぶ。 予習:(90分)ライフステージに必要なマネーを調べる。 復習:(90分) マネープランニングにおけるポートフォリオを作成する。														
	14	国際経済の問題とは何か～国際情勢の変容と今後の日本経済を展望する。 予習:(90分)ロシアのウクライナ侵攻後の国際情勢をニュースで調べる。 復習:(90分) 直近のエネルギー価格の高騰などを世界各国ごとにまとめる。														
	15	まとめ～経済学の基本的知識と課題を総括する。 予習:(90分)経済学で学んだことをノートなどにまとめる。 復習:(90分) 経済学で学んだ感想や意見をノートなどにまとめる。														
教科書・教材	特になし															
参考書・参考文献等	『日本経済新聞』(日本経済新聞社)『週刊東洋経済』(東洋経済新報社)『週刊ダイヤモンド』(ダイヤモンド社)『週刊エコノミスト』(毎日新聞社)『Harvard Business Review』(ハーバードビジネスレビュー)『ダイヤモンド』(ダイヤモンド社)															
履修上の注意等	日頃から、新聞やテレビなどの経済ニュースに目を通しておくこと。															
実務経験との関連	実務経験の有無	有	金融紙の経済記者としての実務経験を活かし、経済環境の変化等について、基本的知識であるマーケットメカニズム、インフレとデフレ、金融システム、金利、株式、為替、財政、家計などを学ぶ科目である。													

【2107】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科	
社会学			講義	中村光宏	1年	後期	こども発達学科	
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無
2	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目			《知識・理解》 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然	《汎用的技能》 コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力	《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》		期末試験 期末レポート 40 無 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 30 有 その他 計 100 フィードバックの方法
当該科目のキーワード			《知識・理解》 政治、経済、学校・家庭・地域、歴史、宗教、環境などの基本的な知識の理解 《汎用的技能》 課題思考力・問題解決力、能動的学修姿勢、判断力、表現力 《態度・志向性》 課題に対する探究心・イデオロギー・平等性・協調性・学修に取り組む意欲	・授業後に提出するアンケートに「質問」等を記載する。 ・「質問」等をメールで直接研究室に届ける。 ・可能な限り、次の授業の冒頭で応える。		アクティブラーニングの有無(内容) 有		
授業概要			私たち人間は、家庭や学校、地域や企業など「組織」や「集団」をつくって生活しており、その集合体では、個人と個人、集団と集団、あるいは、個人と集団など、人間同士の関係のあり方やイデオロギーの違いによって「生きづらさ」を生み出してしまふこともある。特に現代社会は、急激な科学技術の発達により、様々なシステムや価値観が生まれ、新たな社会問題を引き起こす要因になっている。この授業では、経済、政治、教育、歴史、宗教、文学、家庭、シエンターなど、幅広いテーマから誰もがぶつかる問題を抽出して、問題解決に向けて真剣に考え模索する基本的な姿勢を身に付けさせることを目標とする。				「テーマ」「課題」に応じてグループディスカッションを行い、グループごとに発表する。必要があればディベートを行う。	
授業の到達目標			① 社会生活の中にはびこる課題に対して興味を持ち、問題解決のため真剣に模索する姿勢を身に付ける。 ② 自己主張に固執せず、相手の意見を受け入れながら議論を深めて、より「生きやすい」社会を形成するために意欲的に学修する。 ③ 自らの文化や伝統を改めて認識するとともに、グローバルな視点に立ち世界平和を追求する広い心を養う。 ④ 社会が個の集合体であることを再認識し、人と人の関わり合いを深めると共に、「よりよい社会」を形成するために必要な知識とスキルを磨く。 ⑤ 社会を様々な角度からとらえ、人々の多様性を認めて様々な人々が生きやすい社会を形成するために思考し取り組む。					
単位認定の要件			到達目標①～⑤の合計が60点以上であること。					
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容				
			1	第一章「学校」教育現場における「競争」と「同化」「学校化社会」における「学び」の本質を考える 予習:(分)60分「日本の学校教育制度の変遷について調べておく。」 復習:(分)60分「現代の学校教育における問題点を指摘し、その解決方法について自分の考えをまとめる。」				
			2	「学校」学力評価主義のひずみ 教育現場に果敢に「不登校」の問題について考える 予習:(分)60分「小・中・高における日本全体と青森県の不登校の実態について調べておく。」 復習:(分)60分「日本の教育の現状を正しく理解するとともに、学校が果たす役割について自分の意見をまとめる。」				
			3	「学校」と課外活動 小学校の課外活動(全国大会)は必要か サークル活動の指導現場の実態に迫る「教師の多忙」「体罰」その他 予習:(分)60分「小学校の部活動の実態を調査し、現場で起きている問題について調べておく。」 復習:(分)60分「教育現場で起きている体罰の実態を理解するとともに、その原因と解決策について自分の意見をまとめる。」				
			4	「学校」日本型学校教育の裏側「ブラック校則」はなぜ生まれたのか 1990年代に起きた「校内暴力」「学級崩壊」「学校崩壊」を考える 予習:(分)60分「自分が通ってきた小学校時代を振り返り、父母の様子、教師の様子、児童の様子を整理してまとめておく。」 復習:(分)60分「学校が正常に機能するためには何が必要かについて、自分の考えをまとめる。」				
			5	「学校」「学校」における「いじめ」を考える 「いじめ」の実態とそのメカニズムを考える 「学校」「家庭」「社会」の関わり 予習:(分)60分「近年に学校で起きた「いじめ」で、全国的に問題となった事例について調べておく。」 復習:(分)60分「いじめ」が起きる原因を認識し、「いじめ」を無くすためにはどのような対策が必要か、自分の考えをまとめる。」				
			6	第二章「家庭」家族とは何か～変容する「家族」の価値観を考える 「機能不全家族」とは何か 「定位家族」と「生殖家族」 予習:(分)60分「機能不全家族」の実態について調べておく。具体的な事例と対応策。 復習:(分)60分「核家族」による弊害 DVやヤングケアラーの実態を把握し、社会全体でどのようにケアしていくかについて考える。				
			7	「家庭」「夫婦別姓」について考える ～「選択制夫婦別姓」制度の是非 日本の「戸籍法」における「家制度」について考える 予習:(分)60分「日本における「夫婦別姓制度」を巡る審議状況を調べておく。日本の社会背景を考える。「家制度」とは何か。 復習:(分)60分「夫婦別姓」にした時の子どもをどのようにするか、自分の考えを示すとともに、「家族」とは何かを考える。				
			8	「家庭」「結婚」とは何か ～多様な「結婚」のカタチで少子化に対応できるか～ 「同性婚」「パートナーシップ」制度を考える 予習:(分)60分「日本はなぜ「同性婚」が認められないのか」「パートナーシップ」制度について調べておく。 復習:(分)60分「ダイバーシティ社会における「同性婚」「パートナーシップ」制度の正しいあり方について見解を示す。				
			9	「家庭」「少子化問題」を考える 急速に「核家族化」が進む原因と、それによる社会の変化について考えを深める 予習:(分)60分「日本の「少子高齢化」の現状について調べておく。」 復習:(分)60分「少子高齢化がもたらす社会にどのような変化が生じるかを理解する。少子化対策について考える。				
			10	「家庭」「親子関係」について考える ～青少年の健全育成 子どもの虐待をどのように阻止するか～ 予習:(分)60分「八戸市で起きた「児童虐待死」について詳細を調べておく。また、児童虐待がなぜ繰り返されるのかを考える。 復習:(分)60分「児童虐待死」を社会全体で防ぐためには何が必要か、自身の見解を深める。				
			11	第三章「実社会」「インバウンド」の問題を考える ～「持続可能な観光」のあり方～ 日本は外国人をどのように受け入れるべきか 予習:(分)60分「インバウンド」とは何かを調べておく。「インバウンド」と「経済」の関係を考え、日本の観光ビジネスの在り方考える。 復習:(分)60分「オーバーツーリズム」をどのように回避し、日本社会のマナーやルールを外国人にどう理解してもらうか考える。				
			12	「実社会」「食糧問題」について考える ～日本の「食糧自給率」と「フードロス」の問題を考える～ 「貧困」について理解を深める 予習:(分)60分「世界の食糧事情を調べる。」「発展途上国」の「貧困問題」と「難民」について調べておく。 復習:(分)60分「世界の「貧困」問題を解決するために、日本はどのようなことができるか。実行可能な対策について自らの見解を示す。				
			13	「実社会」「優生思想」を考える ～「命の選別」内なる差別と向き合う～ ヒトラー、やまゆり事件から見る「優生思想」について考える 予習:(分)60分「やまゆり園」による養護施設虐待事件の内容について調べておく。「優生思想」とは何かを調べておく。 復習:(分)60分「優生思想」は誰の心の中にも潜んでおり、それが社会にはびこる「差別」の現況であることを理解する。				
			14	「実社会」「死刑制度」について考える ～犯罪の加害者と被害者の人権～ 日本の「死刑」制度は「憲法」違反ではないのか考える 予習:(分)60分「死刑」制度について、日本と他の先進国との違いについて調べておく。 復習:(分)60分「死刑」制度について、賛成か反対か、自身の見解を明確にする。「犯罪」抑止について、その対策を考える。				
			15	「実社会」「探究」「社会」を生きる ～「実社会」を生き抜いていくために必要な力は何か～ 「社会人基礎力」を高めるための方法を考える 予習:(分)60分「社会人基礎力」とは何かを調べておく。現在の自分に何が足りないかを客観的に認識しておく。 復習:(分)60分「実社会」を力強く生き抜くためには、「自己肯定感」を高める必要があることを認識し、その方法を探究する。				
教科書・教材			特になし					
参考書・参考文献等			社会学をつかむ(有斐閣)西澤晃彦・渋谷望、社会学入門(有斐閣)ストウディア/簡井淳也・前田泰樹、本当にわかる社会学(日本実業出版社)堀内進之介・大河原麻衣・山本祥弘・神代健彦、14歳からの社会学(ちくま文庫)/宮谷真司、社会学の教科書(ちくま学芸文庫)ケン・ブラマー他					
履修上の注意等			世の中の出来事をタイムリーなテーマとして取りあげるため、授業の順番を入れ替えたり新たなテーマを差し替えたりすることがある。「社会」にある諸問題に対して興味関心を持つとともに、その解決のために意欲的に考察し、他者の意見交換しながら自身の考えをしっかりと主張する、真面目な学修態度を基にする。					
実務経験との関連			実務経験の有無	無				

【2108】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
心理学			講義	小林琢哉	1年	前期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無										
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士											
2	15	30		2					期末試験 70 有										
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に自ら設定し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート									
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力		チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト				
	○	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	授業内提出物 30 有	授業内活動		
																計 100			
																フィードバックの方法			
当該科目の キーワード	《知識・理解》		心理学に関する基礎的知識の理解							授業内提出物にコメントを添付して返却する。									
	《汎用的技能》		仮説検証のための方法論							アクティブラーニングの有無(内容) 有									
	《態度・志向性》		心理学の知見を自らに当てはめて考える姿勢							心理実験の模擬体験とグループワーク									
授業概要	この授業では、心理学的なものの方と、自己や社会に関する問題について新しい問いを立てて検証していくための方法論についての基礎知識を理解することを目的とする。認知、記憶、感情、人格、社会、文化などの様々な事象に関する心理学の研究の成果を学ぶ。社会と人間の行動については同調、偏見などの社会状況と人間の行動との関係について理解を深める。認知過程については、推論、認知バイアス、記憶といった認知心理学の主要な研究成果と脳科学や神経科学との接点に関する知見を紹介する。学ぶ。文化と人間の行動については、文化心理学に関する学びを通して、人間の思考と社会規範や文化がどのように関係しているかを検討する。一連の講義を通じて、心理学の知見とそれらを生み出す心理学的な見方・考え方の理解を目指す。																		
授業の 到達目標	① 社会、人格、認知に関する心理学的知見について説明できる。 ② 心理学の研究方法について、その基本的な考え方を理解し説明できる。 ③ 心理学の知見を実生活に当てはめて自己の行動を説明することができる。																		
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	ガイダンス 授業の内容と進め方 予習:(90分)心理学の主要な研究分野にはどんなものがあるかを調べておく。 復習:(90分)授業で取り上げた心理学の研究対象・分野についてまとめる。																	
	2	人格心理学 人格理論と測定方法 予習:(90分)心理学における人格の定義と主要な人格の理論について調べる。 復習:(90分)性格検査の理論と方法についてまとめる。																	
	3	社会心理学①社会的認知 予習:(90分)社会・他者を人がどのように理解しているか考えてみる。 復習:(90分)スキーマ・認知バイアスについて考察をまとめる。																	
	4	社会心理学②印象形成 予習:(90分)他者に対してどのようなことを手掛かりに印象を形成するかを考える。 復習:(90分)印象形成がどのように行われるかをまとめる。																	
	5	社会心理学③説得の過程と態度の変容 予習:(90分)他者を説得するにはどのような方法があるかを考える。 復習:(90分)説得の過程と影響要因についてまとめる。																	
	6	認知心理学①感覚・知覚 物・形の見え方 予習:(90分)錯視・多義図形について調べる。 復習:(90分)人が世界を見る仕組みと錯視の仕組みについて考察をまとめる。																	
	7	認知心理学②注意と意識 予習:(90分)選択的注意、変化の見落としについて調べておく。 復習:(90分)人が外界の対象に注意を向け認知する仕組みと過程について考察しまとめる。																	
	8	認知心理学③推論の過程 予習:(90分)演繹・帰納推論について復習する。 復習:(90分)人が推論を行う過程について考察する。																	
	9	認知心理学④思考と意思決定 予習:(90分)人が様々な問題を解決する際にどのように考えて意思決定をしているのかを考える。 復習:(90分)意思決定や問題解決に関する主要な心理学の理論について考察しまとめる。																	
	10	認知心理学⑤記憶の仕組み 予習:(90分)記憶の種類について調べておく。 復習:(90分)心理学における記憶の理論について考察し、効果的な記憶の方法について考えをまとめる。																	
	11	感情心理学 感情とコミュニケーション 予習:(90分)感情の発生に関する中枢起源説・抹消起源説について調べる。 復習:(90分)コミュニケーションにおける感情の役割について考察をまとめる。																	
	12	文化心理学 文化の中の自己 予習:(90分)文化や社会が人の考え方にどう影響するかを考え、調べる。 復習:(90分)文化と認知の関係について学習した内容をまとめる。																	
	13	脳の心理学 脳科学・神経科学との接点 予習:(90分)フィニアス・ゲイジの事例から、脳と人格、社会性の関係について考える。 復習:(90分)脳と認知機能の関連性について考察しまとめる。																	
	14	心理学研究の方法論 予習:(90分)心理学の研究はどのような方法によって行われているかを調べてみる。 復習:(90分)心理学が研究する内容・対象と研究手法の関係について考察しまとめる。																	
	15	心理学の歴史・実生活との接点 予習:(90分)心理学の研究と生活の接点について考える。 復習:(90分)心理学・教育心理学がどのような過程で成り立ってきたのか、学んだ内容をまとめる。																	
教科書・教材	特になし。授業時に資料を配布する。																		
参考書・ 参考文献等	藤田哲也(編) 絶対役立つ教養の心理学 ミネルヴァ書房																		
履修上の 注意等	理解を助けるために授業時間内に心理学の実験課題等を紹介することがあるので、遅刻しないようにすること。																		
実務経験との 関連	実務経験の有無	無																	

【2109】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
地域活性化論A			講義	市田淳治	1年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
2	15	30		2						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末試験 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他	
	○	—	○	○	—	○	○	○		○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 地域イノベーション、イノベーションデザイン		≪汎用的技能≫ グループディスカッション、グループワーク			≪態度・志向性≫ 地域発展、地域貢献			提出したレポートについて公表を行う	
									アクティブラーニングの有無(内容) 有	
授業概要	本授業は、弘前大、弘前学院大と共通開講されるものであり、3日間のメインテーマは「地域の課題を理解し、地域の発展を考える」である。今年度は、地域に特色のある資源を研究材料に取り上げ、それらを取り巻く産業クラスターの形成と、クラスターから創成される産業イノベーションについて、いくつかの事例を上げて議論する。さらに、地域イノベーションを育成するための施策について修得し、グループディスカッションとプレゼンテーションにより、地域発展のアイデアをまとめる。								グループディスカッション、グループワーク	
授業の到達目標	①地域の状況を具体的に理解できるようになること ②課題の解決のために、学生としてできることは何かを考えることができるようになること ③各テーマに対して、自分の考えを述べるができるようになること									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	I 地域イノベーションをデザインする(柴田学園大学) ①イノベーションを学ぶ意義:地域資源を活用した産業イノベーションの現状と課題(市田)								
	2	②市民社会イノベーションの現状と課題(弘前市役所)								
	3	③イノベーションデザインのケーススタディと手法(兼平)								
	4	④イノベーションデザイン演習(グループワーク)								
	5	⑤イノベーションデザインのプレゼンテーション								
	6	II 弘前大学 ①性とは何か(医学・生物学的立場から)								
	7	②性の多様性と人権・社会での取組を交えて 弘前市パートナーシップ制度の紹介								
	8	③これからの性教育・学校教育の取組と課題								
	9	④グループディスカッション								
	10	⑤発表・まとめ・講評								
	11	III 社会的つながりとウェルビーイング(弘前学院大学) ①社会的つながりが人々にもたらすもの								
	12	②社会の変化と社会的つながりの変化								
	13	③弘前市内の事例								
	14	④社会的つながりを形成するための具体的な方法を考える								
	15	⑤発表、質疑								
教科書・教材	特になし									
参考書・参考文献等	特になし									
履修上の注意等	開講日は8/22～8/24の3日間、各日とも9時30分～18時20分(90分×5コマ×3日間)場所:七ロク4階 市民文化交流館ホール 本学からの履修可能人数は10名程の予定であり、履修希望者多数の場合は、学科ごとの希望者数のバランス等を考慮して抽選を行う。抽選に漏れた学生は後期に開講される地域活性化論Bの受講を勧める。地域活性化論Bについても全学科で50名の履修人数制限があるため、抽選の際には、地域活性化論Aの受講を希望したが抽選に漏れた学生を優先する。									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	主担当者(市田) は、青森県の試験研究機関において、地域資源の有効利用に関する研究開発に携わり、研究成果を地域企業に移転して事業化に取り組んでいる。							

[2110] 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
地域活性化論B			講義	小野昇平・他	1年	後期	こども発達学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無									
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士											
2	15	30		2					期末試験									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	70	有							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト				
	—	—	○	○	○	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	授業内提出物	30	有
																授業内活動		
																その他		
																計	100	
																フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		青森県・弘前市の地域的課題						グループでの発表に対しては、その場でコメントをする。レポートについても総括をする。									
	《汎用的技能》		地域課題の解決						アクティブラーニングの有無 (内容)			有						
	《態度・志向性》		グループワーク															
授業概要	地域に根差した大学の学生として、自らが住む地域の現在、未来を考えることは不可欠である。この講義では、弘前市職員の方などをゲストに迎え、地域活性化のための様々な取り組みについて学び、その上で、グループワーク、グループディスカッションを通じ、若者ができることは何かについて自分たちで考え、調べ、まとめ、発表する。									授業内で、グループディスカッションやグループワークを行う								
授業の 到達目標	①地域の状況を具体的に理解できるようになること ②課題の解決のために、学生としてできることは何かを考えることができるようになること ③各テーマに対して、自分で調べた上で、自分の考えを述べるようになること																	
単位認定の要件	①②③の観点からの評価の合計が60%以上																	
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																
	1	授業の進め方の説明／現代社会の特徴 予習：青森県の地域課題を5つ調べてくる(90分) 復習：授業内で紹介した現代社会の課題に関するニュース記事を5つ集める(90分)																
	2	青森県／弘前市の特徴と課題 予習：授業内で指示した動画を見て、弘前市の特徴を説明できるようにしておく。(90分) 復習：授業内で自分たちが考えた弘前市のいいところを伸ばし、悪いところを改善するために自分に何ができるかをまとめる。(90分)																
	3	青森県／弘前市の産業とデジタルトランスフォーメーション(DX)①青森県／弘前市の産業 予習：農業の六次産業化について説明できるようにしておく。指定された動画を見て内容をまとめる(90分) 復習：授業内で紹介したもの以外に、青森県における農業の六次産業化の具体例を5つ集める。(90分)																
	4	青森県／弘前市の産業とデジタルトランスフォーメーション(DX)②ドローンに何が出来るか 予習：授業内で指定した動画を見て、農業用ドローンに何が出来るのかを調べてくる(90分) 復習：授業内で見た農業用ドローンを使ってどのようなことが出来るか、他にどのようなドローンがあればいいかを考えてくる(90分)																
	5	青森県／弘前市の産業とデジタルトランスフォーメーション(DX)③農業のスマート化 予習：授業内で指定した動画を見て、スマート農業とはどのようなことか、青森県でどのような取り組みがあるかを調べてくる(90分) 復習：授業の内容を踏まえて、りんごの生産におけるスマート農業の利点と限界をまとめる(90分)																
	6	青森県／弘前市の産業とデジタルトランスフォーメーション(DX)④グループディスカッションと発表 予習：6回目の授業で扱った農産物について、その特徴や生産地を調べてくる。(90分) 復習：授業内容を踏まえて、紹介した農産物について、どのように生産しているのか、より効率的に生産できないかを考えてくる(90分)																
	7	青森県／弘前市の人々の健康と栄養①青森県／弘前市の健康課題 予習：青森県の特産物(農産物・海産物)を10個見つけて、全国におけるシェアをそれぞれ調べてくる(90分) 復習：青森県の特産物およびその解決策として紹介された取組等について内容をまとめておく(90分)																
	8	青森県／弘前市の人々の健康と栄養②健康づくりのために必要なこと 予習：青森県の人々の健康課題を年代別(20代、30代…)に調べてくる(90分) 復習：授業内で紹介された青森県の健康課題解決のための取り組みの良いところ、課題をまとめておく(90分)																
	9	青森県／弘前市の人々の健康と栄養③健康課題解決のアイデア 予習：健康課題解決のための青森県以外における「食」に関連した取組にはどのようなものがあるか、5つ調べてくる(90分) 復習：授業内で紹介された取組に自分が大学生として参加するならばどのように参加するかまとめる。(90分)																
	10	青森県／弘前市の人々の健康と栄養④グループディスカッションと発表 予習：9回目の授業で紹介された取組を踏まえて、青森の特産品を生かして健康課題解決のためにできそうなことを考える。(90分) 復習：ほかのグループの発表を聞いて、自分たちのグループのアイデアとの違い、良い点、課題をまとめてくる。(90分)																
	11	青森県／弘前市の子どもたち①子どもをめぐる社会問題と子どもの権利 予習：「子ども」と「大人」の違いを20個考えてくる。「普通」ではない「子ども」「子育て家庭」を10個考えてくる。(90分) 復習：授業で紹介された「子どもの困りごと」から2つ選んで、どのような解決策が制度としてあるのかを調べてまとめておく。(90分)																
	12	青森県／弘前市の子どもたち②未来を担う人づくり 予習：青森県こども若者白書令和4年版を読んで、気になったことを5点まとめる。(90分) 復習：授業内で説明した子どもの困りごと5つについて、子どもにとって何が問題かまとめる。(90分)																
	13	青森県／弘前市の子どもたち③弘前市の困難を抱える子どもの支援 予習：弘前市における困難を抱えた子どもや家庭に対する支援の制度にはどのようなものがあるか調べてまとめる。(90分) 復習：授業の中で聞いた弘前市における子ども・子育て支援の中で自分が「発見」したことをまとめる。(90分)																
	14	青森県／弘前市の子どもたち④グループディスカッションと発表 予習：2100年の日本の「家族」の形を調べて、どんな問題があるのかまとめる。(90分) 復習：ほかのグループの発表を聞いて、自分たちのグループのアイデアとの違い、良い点、課題をまとめてくる。(90分)																
	15	総括：地域活性化のために若者ができること 予習：農業・健康・子どものそれぞれについて、青森県の地域課題を3つずつ整理しておく。(90分) 復習：地域課題解決のために大学生として自分ができるところ、やってみたいことを具体的にまとめる。(90分)																
教科書・教材	特になし																	
参考書・ 参考文献等	河合雅司『未来の年表－人口減少社会でこれから起きること』(講談社現代新書、2017年) 河合雅司『未来の年表2－人口減少社会であなたに起きること』(講談社現代新書、2018年)																	
履修上の 注意等	履修人数の上限は50名。希望者多数の場合は、各学科の学生数、希望者数を考慮しつつ抽選を行うが、夏季休業期間中に集中講義形式で実施される地域活性化論Aの抽選に漏れた学生が優先されるグループワークが必須となるので、積極的にこれに取り組む意識を持つこと。																	
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無																

【2111】 教養科目 人文・社会分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
学園と地域を知る			講義	中村光宏・他	1年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無			
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30	2					期末試験			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末レポート	60	無
	基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力 自己管理能力	チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					授業内小テスト		有
								授業内提出物	20	有	
								授業内活動	20	有	
								その他			
								計	100		
								フィードバックの方法			
											①質問等は、授業終了後のアンケートに記載または副担当者に送付する。 ②講義内容の修得については、アンケート内に記載された小レポートも評価の対象とする。
当該科目の キーワード	《知識・理解》		それぞれの分野についての基礎知識や実勢内容の有効性等を正しく理解する。								
	《汎用的技能》		「地域活性化」や「社会貢献のあり方」を論理的に考え、自身の学修課題と向き合う。								
	《態度・志向性》		意欲と責任感を持って学修し、「地域貢献」を果たすリーダーとして成長する。						アクティブラーニングの有無 (内容)		有
授業概要	<p>本書が目指す教育目標に対して意欲的に取り組むため、柴田学園の「沿革」と創設者の「建学の精神」を深く理解して、その積極的かつ建設的な姿勢を活かして、地域の問題解決のためにリーダーとなって取り組む人材を育成する。毎時、「テーマ」に沿って様々な分野で学修活動を進めるため、必要に応じて地域で活躍する有識者の方々をゲストスピーカーにお招きし、各方面での実践や業績等を講義いただき、それをもとに、「地域活性化のために、自分たちに何ができるのか」をディスカッションしながら、主体的に取り組む姿勢を身に付けさせていく。授業を通じ、地域が抱えている課題を学生自らが認識するようし、グループワークを通じて能動的な学修を展開していく。</p> <p>「テーマ」に応じてグループディスカッションを行い、問題解決のためのアプローチ方法を身に付ける。 1. 予習し議論に備える姿勢 2. 知識と主体的に学ぶ姿勢 3. 考えの異なる他者と議論する姿勢</p>										
授業の 到達目標	<p>①「柴田学園」の沿革とその教育理念を正しく理解し、本書が「地域社会」に果たしてきた功績を再確認する。 ②それぞれの分野で活躍されるゲストスピーカーの方々を取り組みや実践活動等を吸収することにより、学生個々が「社会貢献」できる人材に成長するため「何が必要」「何ができるか」という自身の課題を認識し、2年間・4年間の高等教育現場での「学修」につなげていく。 ③確かな知識と豊かな人間性に基づいた創造力を持って、「地域活性化」を果たすリーダーに成長することを到達目標とする。</p>										
単位認定の要件	「授業の到達目標」中の①～③について、合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	ガイダンス ○学園の沿革と建学の精神～教育即生活(建学の精神)を学ぶ～【担当:中村 光宏】 予習:(分)60分「柴田やす伝」の講読と柴田学園の沿革について調べておく。 復習:(分)60分「100周年を迎えた本学が、さらなる地域貢献で何ができるか」について認識を深める。									
	2	○プロスポーツによる地域活性化～ブランドFCの闘いから～【GS:ブランドFC取締役社長 西澤 雄貴】 予習:(分)60分「ブランドFC」について調べておく。プロスポーツによる地域活性化の実例を調べておく。 復習:(分)60分「プロスポーツ」は、地域とのつながりが最も重要であることを認識する。地域活性化の必要性を学ぶ。									
	3	○キャリアデザイン～本学での学びと社会貢献のための自分デザイン～【担当:中村 光宏】 予習:(分)60分「自己目標を設定する」(目標を達成するために何をすべきかを可視化する) 復習:(分)60分「マインドマップを作る」(思考や情報、記憶などを脳内に近い状態で紙やパソコン上に可視化する)									
	4	○フリーアナウンサーとしての苦悩 女性として・妻として・母として、力強く社会を生きる【GS:フリーアナウンサー 増田 由美子】※交渉中 予習:(分)60分「フリーアナウンサー」の社会進出の状況について調べておく。フリーアナウンサーの仕事について調べておく。 復習:(分)60分「フリーアナウンサー」として青森県を活性化させるために奮闘する姿を認識し、自身の学びのエネルギーとする。									
	5	○郷土の魅力発見～弘前市の文化財(地域が愛される理由)～【GS:弘前市文化財課 担当】※交渉中 予習:(分)60分「弘前市の文化財」「伝統文化」「祭」「史跡」等について調べておく。 復習:(分)60分「弘前市にたくさんの文化財や伝統文化があることを認識し、改めて地域に対する愛着を深める。									
	6	○地域資源を活かしたブランド化～白神植物から乳酸菌・地域ブランド品の開発～【GS:株式会社ラビ代表取締役社長 三浦 和英】 予習:(分)60分「株式会社ラビ」の業務内容について調べておく。 復習:(分)60分「起業」の苦労や商品開発による事業化がいかに困難であるかを深く認識し、将来の自身のキャリアに活かす。									
	7	○芸術活動による地域活性化～りんご娘をプロデュースして～【GS:株式会社リンゴミュージック社長 樋川 新一】※交渉中 予習:(分)60分「りんご娘」と「リンゴミュージック」の活動について調べておく。 復習:(分)60分「リンゴミュージック」立ち上げの苦労を知ること、地方の芸術活動がいかにあるべきかをしっかりと認識する。									
	8	○弘前市の教育・発達障害への対応とインクルーシブ教育～養護学校の現場から～【GS:弘前第一養護学校 校長 佐藤 忠全】※交渉中 予習:(分)60分「インクルーシブ教育」について調べておく。 復習:(分)60分「障がい」のある児童・生徒でも生きやすい社会をつくるために何が必要かをしっかりと認識する。									
	9	○児童養護の現場から～社会福祉法人「愛成会」の取り組み～【GS:社会福祉法人「愛成会」理事長 佐々木 哲】 予習:(分)60分「子どもたちそれぞれの個性を伸ばし、伸び伸び成長させるための革新的な「幼児教育プログラム」 復習:(分)60分「愛成会」の取り組みを理解することで、それぞれの個性を尊重した多様性に対する教育の必要性について学ぶ。									
	10	○地域活性化の取り組み～弘前市相馬地区地域おこし協力隊の一日～【GS:弘前市相馬地区地域おこし協力隊 隊員 榎坂 修基】 予習:(分)60分「地域おこし協力隊」の制度について調べておく。 復習:(分)60分「地域おこし協力隊」の活動と現状を理解し、より地域の活性化に繋がる政策とするためには何が必要かを考える。									
	11	○りんご産業を未来に繋げる～シードル・Kimoriプロジェクト【GS:株式会社百姓堂本舗 代表取締役社長 高橋 哲史】※交渉中 予習:(分)60分 弘前市のりんご産業(収穫量・収益等)について調べておく。シードルとは何かを調べておく。 復習:(分)60分 地域の特産物を商品開発し、ブランド化することの苦労とその有益性について学ぶ。									
	12	○「若者たちへ伝える沖繩戦」～「みらいを紡ぐボランティア」の活動～【GS:フリージャーナリスト 浜田 哲二・律子】※交渉中 予習:(分)60分 太平洋戦争最大の激戦地となった「沖繩」の状況について調べておく。 復習:(分)60分「みらいを紡ぐボランティア」の活動を通じて、ボランティアの意義と社会貢献の本質を学ぶ。									
	13	○「男女共同参画社会」って何(差別のない安心して暮らせる社会)【GS:青森県男女共同参画プラザ館長 篠崎 有香】※交渉中 予習:(分)60分 社会にある差別について調べておく。「男女共同参画」について調べておく。 復習:(分)60分 社会にある「差別」を理解し、全ての人が平等に楽しく生きることの大切さを深く認識する。									
	14	○地域活性化・行政の現場から～世界に発信する魅力ある街・弘前市～【GS:弘前市長 櫻田 宏】※交渉中 予習:(分)60分 自分たちが学んでいる弘前市がどのような街であるか、人口の推移や産業の状況などについて調べておく。 復習:(分)60分 地方行政のトップがどのような思いで街づくりをしているかを知り、それにどのように関わることができるかを考える。									
	15	○研究者としての責任と意義～本学での学びに繋げるために～【GS:柴田学園大学 学長 吉澤 結子】 予習:(分)60分 大学とはどのような学びの場であるかを調べて理解しておく。 復習:(分)60分 本学での4年間の学びが、社会貢献に繋がる有意義なものになるよう、大学生に課せられた使命を理解する。									
教科書・教材	特になし										
参考書・ 参考文献等	特になし										
履修上の 注意等	必要に応じてプリントを配布またはPowerPointを使用 講義中は私語はせず、必要に応じてメモを取ること。質問・意見があれば、毎講義終了後に提出する「アンケート」に記載する。また、「レポート」が出題された場合は、期日までに必ず提出すること。 担当者 mitsuhiro-nakamura@shibata.ac.jp										
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無									

【2121】 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
有機化学			講義	奥野海良人	1年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無		
2	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士			
				2						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然	《汎用的技能》 コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力	《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末試験 80 有 期末レポート 無 授業内小テスト 20 有 授業内提出物 無 授業内活動 無 その他 無 計 100 フィードバックの方法					
	○	—	—	—	—	—	—	—	—	○
当該科目のキーワード	《知識・理解》	化学式・理解・異性体の理解			連絡または面談 アクティブラーニングの有無(内容) 無					
	《汎用的技能》	生体成分・食品成分への適用								
	《態度・志向性》									
授業概要	健康栄養に関係する化学成分は無機質と有機物であるが、多くは有機物(有機化合物)である。我々が毎日食べている食品に含まれる栄養素を理解する上で有機化学は重要な学問である。具体的な栄養素についても触れていく。									
授業の到達目標	様々な有機物の種類と化学構造および性質を体系的に理解する。									
単位認定の要件	筆記試験、授業内小テストの合計が60点以上									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	構造式の書き方と構造異性体 予習:(60分) 水素からセレンまでの原子の電子配置について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分)								
	2	原子構造 予習:(60分) 原子の構造、電気陰性度、極性、化学結合について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	3	化学結合 予習:(60分) 電子式と共有結合オクテット則について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	4	量子論の基礎 予習:(60分) 電子の軌道について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	5	飽和炭化水素とアルカン 予習:(60分) 炭素と水素からなる有機化合物について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	6	化合物群と官能基 予習:(60分) 有機化合物を構成する原子団(官能基)について化学基礎の教科書を読んで調べる。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	7	飽和有機化合物(ハロアルカン) 予習:(60分) ハロアルカンという有機物について、構造と性質の特徴について調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	8	飽和有機化合物(アミン) 予習:(60分) 第1,3回の授業の配位、非共有電子対、水素結合について再度調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	9	飽和有機化合物(アルコール) 予習:(60分) アルコールについて、第1,2回の授業のアルカンとヒドロキシ基について再度調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	10	飽和有機化合物(多価アルコール) 予習:(60分) 多価アルコールとはどのようなものか、また身の回りにどのようなものがあるのか調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	11	飽和有機化合物(エーテル) 予習:(60分) エーテルについて調べ、アルカンとの違いを明らかにしておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	12	不飽和有機化合物(カルボニル化合物とカルボン酸) 予習:(60分) 第3回の授業のカルボニル基、アルデヒド基、ケトン基について再度調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	13	不飽和有機化合物(エステルとアルケン) 予習:(60分) 第6,9回の授業のカルボン酸、アルコールについて再度調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	14	芳香族炭化水素化合物 予習:(60分) 身体ではたらく芳香族炭化水素化合物とはどのようなものがあるのか、調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
	15	有機化学と栄養学のつながり 予習:(60分) 五大栄養素とはどのようなものがあるか調べておく。 復習:(90分) 講義内容とプリントで学習したことを理解し覚えること。								
教科書・教材	講義配布プリント									
参考書・参考文献等	高校時代の化学基礎の教科書									
履修上の注意等	本講義では主に化学構造を扱う。栄養素の構造を理解する上で重要になるため、復習をしっかりと行って知識を身につけてください。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

[2124] 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
生命科学			講義	友田志郎	1年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30		2				▲	期末試験	55	有			
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適応し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	計
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		細胞生物学、分子生物学、生態系、系統進化									小テストは授業時間内で正答を解説する。期末テストについても正答を示す。		
	≪汎用的技能≫													
	≪態度・志向性≫													
授業概要	現代生物学の諸分野の内、細胞、遺伝子、エネルギー、生態系、進化といった分野に重点を置いて、広く概説する。各分野についてパラパラに学ぶのではなく、互いの関連を踏まえながら生命現象全般について総合的に理解できるよう講義する。													
授業の到達目標	①生体分子、DNAの構造と役割など、生命現象を分子レベルで理解する。 ②細胞の構造、細胞内小器官、有性生殖と多様性の関わりなどを理解する。 ③生命とエネルギーの関わりを、その進化的な成り立ちも含めた視点から理解する。 ④地球環境と生態系の成り立ち、生物と生物の関わりを理解する。													
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	生体物質。生体を構成する元素。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	2	糖質、脂質、アミノ酸とタンパク質。核酸 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	3	細胞の構造。細胞内小器官。細胞骨格。細胞周期と体細胞分裂。減数分裂と有性生殖 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	4	遺伝現象。遺伝子の正体。DNAの構造。DNAの複製 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	5	DNA情報の発現。RNAの役割と機能。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	6	タンパク質の合成。DNAの発現制御。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	7	シグナル伝達系。ステロイドホルモン。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	8	代謝。生物とエネルギー。酸素呼吸 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	9	TCA回路。電子伝達系とATP合成。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	10	光合成反応。地球の生命と酸素の役割。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	11	バクテリアのエネルギー代謝 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	12	地球環境と生態系の成り立ち。生態系と物質循環。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	13	生態系とエネルギー。生物相互の関係。競争、共生、捕食。生物群の個体数変動 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	14	動物の行動と適応戦略。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	15	生物の種分化。進化と系統分類。 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
教科書・教材	特になし													
参考書・参考文献等	特になし													
履修上の注意等	試験はノート・資料の持ち込みを前提として行うので、暗記は必要ないが、講義内容をしっかりと理解し、復習時にノートした内容を整理すること													
実務経験との関連	実務経験の有無	無												

[2125] 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
数理科学			講義	友田志郎	1年	後期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
2	15	30		2					期末試験	無				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他	70 30	有 無
	○	—	—	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—
	≪知識・理解≫ 数値解 シミュレーション計算 最適化 機械学習 ニューラルネット 人工知能		≪汎用的技能≫ 数理モデル		≪態度・志向性≫							レポートの結果を配布し、知識の定着に資する。		
	≪知識・理解≫ 数値解 シミュレーション計算 最適化 機械学習 ニューラルネット 人工知能		≪汎用的技能≫ 数理モデル		≪態度・志向性≫							アクティブラーニングの有無(内容)	有	
授業概要	「ビッグデータ」や「人工知能」などの言葉を一般社会でも耳にするようになって久しい。これからの社会では不確定な事象に対して、目的に応じてデータを収集、処理、分析し、判断していく事がますます重要になっていく。本講義ではその為の基礎として、高校までの数学ではあまり取り上げられない「数値解を得ること」「最適化」などの考え方、及び人工知能システムの根幹を成す「機械学習」「ニューラルネット」などについて学び、それらに関する基本的な理解を得ることを目的とする。									授業内でノートパソコンを使用し、計算プログラムを動作させるなどの作業を行う				
授業の到達目標	① 数値解を得るという事に関する理解 ② シミュレーション計算に関する理解 ③ 最適化という事に関する理解 ④ 機械学習・ニューラルネットに関する基本的な理解													
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	解析解と数値解 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	2	プログラム言語Pythonの概説。Python処理システムの導入 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	3	ベクトルと行列。Pythonによる行列計算 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	4	数値解を得る手法。求根法 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げて提出する。												
	5	数値解を得る手法。モンテカルロ法 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	6	Pythonによるリスト処理 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げて提出する。												
	7	シミュレーション計算 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	8	確率モデルとシミュレーション計算 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げて提出する。												
	9	パラメータの最適化。最小二乗法と回帰直線 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	10	パラメータの最適化。勾配法 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	11	神経細胞とニューラルネット 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	12	Pythonでのクラスの扱い。グラフ表示 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	13	ニューラルネットの学習原理。パーセプトロン 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	14	誤差逆伝搬法 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。												
	15	深層学習と人工知能 予習:(分) 復習:(180分) 講義中にノートした内容を再整理し、しっかりと理解する。授業内で出された課題を仕上げて提出する。												
教科書・教材	特になし													
参考書・参考文献等	特になし													
履修上の注意等	授業内で各自がノートパソコンを使用する必要があるため、ノートパソコンを持参すること。													
実務経験との関連	実務経験の有無	無												

[2126] 教養科目 自然分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
統計学			講義	小林琢哉	1年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
2	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士			
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末試験 70 有 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法	
	○	—	○	○	○	○	○	○		
	≪知識・理解≫ 記述統計・推測統計の基礎知識		≪汎用的技能≫ データ分析の基礎的技能			≪態度・志向性≫ 仮説検証型の思考				授業内で実施する課題に正解と解説を付けて返却する。
	≪知識・理解≫ 記述統計・推測統計の基礎知識		≪汎用的技能≫ データ分析の基礎的技能			≪態度・志向性≫ 仮説検証型の思考				アクティブラーニングの有無(内容) 有
授業概要	本授業の目的は、課題を発見し解決していくために必要なリサーチエッセンスの設定、適切なデータ解析方法の選択と実行・データ解析の実行による仮説検証ができるようになることである。授業においては、期待値など統計学の基礎となる確率の概念の理解から始め、正規分布などの統計分布について理解を深める。そのうえで、記述統計量とその意味について、サンプルデータをグラフによる視覚的意味・数値による要約をする方法について学ぶ。記述統計に関する基礎的な知識の理解を活かして、標本と母集団の関係、信頼区間の推定・仮説検定といった各種のデータ分析について、調査データを例に学習していく。								データ解析の練習	
授業の到達目標	①統計手法の基本となる考え方を理解できる。 ②目的に合った統計手法でデータ分析ができる。 ③授業内で自学学習ができる。									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	統計に関する知識と日常生活の関係 予習:(90分)統計学が社会科学分野で必要とされる理由は何かを考える。 復習:(90分)様々な事象について予測、効果の推定を行う際に何が必要かを考察しまとめる。								
	2	記述統計①尺度の水準とデータの関係 予習:(90分)データの種類とそのまとめ方について調べる。 復習:(90分)4つのデータの水準とその集計方法について調べ、まとめる。								
	3	記述統計②質的変数・量的変数の度数分布とグラフ化 予習:(90分)データを約・可視化する方法について調べる。 復習:(90分)データの水準ごとのグラフ化方法を確認する。								
	4	記述統計③代表値・散布度によるデータの要約と変換 予習:(90分)データの代表値・散布度とは何かについて調べる。 復習:(90分)標準化、標準得点の算出方法を復習する。								
	5	推測統計①母平均・母分散の推定 予習:(90分)標本のデータと母集団の関係について調べる。 復習:(90分)復習課題のサンプルデータを用いて 母平均・母分散の算出方法を学ぶ。								
	6	推測統計②信頼区間の推定 予習:(90分)観測データから母集団の平均を推定する方法について調べる。 復習:(90分)サンプルデータの母集団の95%、99%信頼区間を算出する。								
	7	二変数の関係 相関係数と決定係数 予習:(90分)1対のデータの関連性を推測する方法は何か調べる。 復習:(90分)相関係数の算出しその意味について学ぶ。								
	8	統計的検定①χ ² 乗検定 予習:(90分)名義尺度データの検定方法を学ぶ。 復習:(90分)χ ² 乗検定の実施方法と検定結果の解釈の仕方を確認する。								
	9	統計的検定②F検定とt検定 予習:(90分)2つのデータの分散、平均値の際の検定方法について調べる。 復習:(90分)標本に応じた適切な検定の手法を選択し、平均値の差の検定を実施しその結果を解釈する。								
	10	統計的検定③対応のある場合のt検定 予習:(90分)対応のあるデータの平均値を比較する方法を学ぶ。 復習:(90分)対応のあるデータのt検定を実施し、その結果を解釈する。								
	11	統計的検定④等分散性の検定と一元配置分散分析 予習:(90分)3標本以上のデータについて平均値の差を検定する場合の検定方法を調べる。 復習:(90分)一元配置分散分析の方法を習得しサンプルデータの分析結果を解釈する。								
	12	統計的検定⑤一元配置分散分析と多重比較 予習:(90分)分散分析の結果有意差が認められた場合の事後分析の方法にはどのようなものがあるか調べる。 復習:(90分)一元配置分散分析と多重比較を、サンプルデータを用いて適切に実施できるようにする。								
	13	統計的検定⑥二元配置分散分析 予習:(90分)データに影響する要因が2種類ある場合にはどのような検定方法があるかを調べる。 復習:(90分)復習課題のサンプルデータを使用して、二元配置分散分析を実施し分散分析表を作成する。								
	14	統計的検定⑦二元配置分散分析の低位検定 予習:(90分)交互作用、単純主効果の検定について調べる。 復習:(90分)サンプルデータを使用して二元配置分散分析と低位検定を適切に行う方法を確認する。								
	15	統計的検定⑧回帰分析 予習:(90分)説明変数を用いて目的変数を予測できるかどうかを推測するにはどのような方法があるかを調べる。 復習:(90分)サンプルデータを用いて、回帰分析を実施しその結果を解釈する方法を確認する。								
教科書・教材	特になし。授業内にデータファイルと資料を配布する。									
参考書・参考文献等	吉田寿夫 本当にわかりやすいごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本 同後千春・富永敦子 統計学がわかる ハンパカーションでむりなく学ぶ、やさしい統計学									
履修上の注意等	表計算ソフトExcelを使って実際に統計量を算出するので、Excelの使い方に慣れておくこと。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

【2131】 教養科目 基礎技術分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
論文技術 I			演習	船水周	1年	前期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士							
1	15	30	1												
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力 を総合的に 利用し、自ら 設定した課題へ 適用し、その 課題を解決 する能力》	期末試験					
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシー	論理的 思考力	問題 解決力	自己 管理能力		チーム ワーク	リーダー シップ	倫理観	社会的 責任	生涯 学習力	期末レポート
当該科目の キーワード	《知識・理解》		序論・本論・結論							授業内小テスト	30	有			
	《汎用的技能》		根拠・意見・理由・事実							授業内提出物	30	有			
	《態度・志向性》		疑問・反論							授業内活動					
授業概要	この科目は、大学におけるレポート・論文の書き方について、基礎的な知識と技能を身に付けることをめざす。レポート・論文は、小・中学校で書いてきたような感想文とは違い、与えられたテーマや課題に沿って、型を活用すれば、誰でも書くことができるものである。肝心なことは、模範になるレポート・小論文をしっかりと読むこと、自分で実際に書いてみることを、そして、推敲することである。こうした経験が単位の取得に欠かせないことを知ってほしい。									①時間内に教師が答えを発表し、学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用や口頭により、全体に解説する。	アクティブラーニングの有無 (内容)	有			
授業の到達目標	①感じたままに書く感想文と根拠をもとに主張を書くレポート・論文との違いを理解する。 ②構成やパラグラフの知識・技能を使い、相手に伝わる文章を書く。 ③資料収集と提示の仕方(引用・表記)、論文の要件(問い・答え・論証)がわかる。 ④学習した知識・技能を使い、様式や要件に沿ったレポート・論文を書き上げる。									演習、個人・ペア・グループワーク 学習等					
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容・ 時間含む)	回	内 容													
	1	レポート・論文を書く準備をしよう(5つの構成要素、パラグラフの考え方1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	2	「引用」とは何かを知らう(やっではないといけない盗用、引用のルール・種類、パラグラフの考え方2) 予習:(20分)教科書の該当箇所等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと。													
	3	「参考文献のリスト」とは何かを知らう(参考文献のリストの書き方・確認事項、ナンバリング1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	4	「報告型学習レポート」「ブック(読書)レポート」「論文を知らう(基本形、ナンバリング2) 予習:(20分)教科書の該当箇所等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	5	レポート・論文に必要な考える方法を知る(発散型思考・収束型思考・思考スキルの基礎、ロジックツリー1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	6	読んで理解する(的確な情報を抜き出す・自分の言葉で言い換える・グラフや図を読み取る、ロジックツリー2) 予習:(20分)教科書の該当箇所等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	7	他者の主張を正しくつかむ(要約について知る・要約文の書き方を学ぶ、箇条書き 他) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと。													
	8	論理的な表現を知る①(事実と意見の区別・論理的な文章を書くための考え方1、ピラミッドストラクチャー1) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	9	論理的な表現を知る②(事実と意見の区別・論理的な文章を書くための考え方2、ピラミッドストラクチャー2) 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	10	「課題発見力」(自分の問題意識をもつ・論点を考える・論点を絞り探索方針を決める 他) 授業内小テスト① 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	11	「情報探査力」(情報を入手する・文献を入手する 他) 授業内小テスト② 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	12	「情報整理力」(文献を取捨選択する・文献を整理保存する 他) 授業内小テスト③ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	13	「課題考察力」(論文構成力)(考察を深める・論文の骨子をつくる 他) 授業内小テスト④ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	14	「文章構成力」(執筆する・章立てを確定し文章を推敲する 他) 授業内小テスト⑤ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
	15	卒業論文に向けて(卒業論文とレポート・論文との違いを知る・卒業論文への準備をする 他) 授業内小テスト⑥ 予習:(20分)教科書の該当箇所、資料等を予め読んだり調べたりしておくこと 復習:(40分)提示課題について、授業で学習した知識やスキルを使い、文章等を書くこと													
教科書・教材	桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版』(実教出版) レジューメ														
参考書・ 参考文献等	石井一成『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』(ナツメ社) 戸田山和久『新版論文の教室』(NHK) 鷲田小彌太『論文レポートはどう書くか』(日本実業社) 初年次教育テキスト編集委員会編『フレッシュマンセミナーテキスト第2版』(東京電気大学出版局) 結城浩『数学文章作法 基礎編』(筑摩書房) 沼崎一郎『はじめての研究レポート作成術』(岩波書店) 伊藤羊一『1分で話せ』(SB Creative)														
履修上の 注意等	教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。														
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター・研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、レポートや論文を書くための形式やルールを理解させ、論理的な文章の書き方の基礎を身に付けてもらう。												

【2132】 教養科目 基礎技術分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
論文技術Ⅱ			演習	船水周	1年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
1	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末試験							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート	40
当該科目の キーワード	《知識・理解》		論理・文脈						①時間内に教師が答えを発表し、学生に自己採点させる。 ②提出物等の結果は、ICTの活用や口頭により、全体に解説する。							
	《汎用的技能》		目的意識・相手意識・方法意識													
	《態度・志向性》		疑問・反論													
授業概要	<p>大学4年間はもちろん、社会人になると一層求められるのが、文章を理解し、表現する力である。この科目は、日常的に書く機会が多い感想文や作文を含めた、さまざまな文章について、型を使えば誰でも書ける、という実感をもたせることをねらいとしている。相手によく伝わる文章表現の基礎知識を理解したり、縮約・要約技能に習熟したりする学習も行うことになる。自分の文章表現力をさらに磨いていく機会として積極的に取り組むことを期待している。</p>												演習、個別・ペア・グループワーク 学習等			
授業の 到達目標	<p>①相手によく伝わる文章表現の基礎知識を知り、適切に使うことができる。 ②文章の的確な読み書きに欠かせない技能である、縮約と要約ができる。 ③文章・論文・型を使って相手に伝わるように書くことができる。</p>															
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・ 時間含む)	回	内 容														
	1	【文章表現の基礎知識1】(箇条書き・原稿用紙の使い方・主観、客観表現 →実践練習) 予習:(20分)教科書の「ことばのドリル」Part1(12頁)、Part2(13頁)を事前にやっておくこと 復習:(40分)「箇条書き」「原稿用紙の使い方」「主観、客観表現」の知識・技能を使って、提示課題を解くこと														
	2	【文章表現の基礎知識2】(主題・粗筋・要点・要旨・趣旨・プロット →実践練習) 授業内小テスト① 予習:(20分)教科書の「ことばのドリル」Part8(23頁)を事前にやっておくこと 復習:(40分)「主題」「粗筋」「要点」「要旨」「趣旨」「プロット」の意味の違いを整理しておくこと														
	3	【文章表現の基礎知識3】(文脈・キーワード・形式段落・意味段落・文章構成 →実践練習) 授業内小テスト② 予習:(20分)教科書の「ことばのドリル」Part9(24頁)を事前にやっておくこと 復習:(40分)「文脈」「キーワード」「形式段落」「意味段落」「文章構成」の意味の違いを整理しておくこと														
	4	【文章をまとめる技能1】(縮約練習・新聞コラム →実践練習) 授業内小テスト③ 予習:(20分)「縮約」について調べ、200字程度に文章でまとめておくこと 復習:(40分)「縮約」の知識・技能を使って、課題として示された文章を縮約すること														
	5	【文章をまとめる技能2】(要約練習・新聞コラム →実践練習) 予習:(20分)「要約」について調べ、200字程度に文章でまとめておくこと 復習:(40分)「要約」の知識・技能を使って、課題として示された文章を要約すること														
	6	【文章をまとめる技能3】(要約練習:文学的文章 要約プラス意見・感想 →実践練習) 予習:(20分)事前に配布された文学的文章を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「要約」の知識・技能を使って、課題として示された文学的文章を要約し、意見・感想を書くこと														
	7	【文章をまとめる技能4】(要約練習:説明的文章 要約プラス意見・感想 →実践練習) 予習:(20分)事前に配布された説明的文章を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「要約」の知識・技能を使って、課題として示された説明的文章を要約し、意見・感想を書くこと														
	8	型で書く文章1(紹介文:「です・ます」4段構成)「PREP法」→実践練習) 予習:(20分)教科書の紹介文1(26-28頁)、紹介文2(32-34頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「です・ます」4段構成で、紹介文1(私の好きなこと・もの)か紹介文2(私の故郷)のいずれかの文章を書くこと														
	9	型で書く文章2(賛成・反対意見文1:「だ・である」YES、BUT型)「5段構成」→実践練習) 予習:(20分)教科書の賛成・反対の意見文1(38-40頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「だ・である」YES、BUT型「5段構成」で、身近な問題をテーマに文章を書くこと														
	10	型で書く文章3(賛成・反対意見文2:同上プラス「対策や提案」→実践練習) 予習:(20分)教科書の賛成・反対の意見文2(44-49頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「だ・である」YES、BUT型「5段構成」+「対策や提案」で、「社会的な問題」をテーマに文章を書くこと														
	11	型で書く文章4(before/afterの文章1:①「時間軸中心の構成」②「5段構成」③「自分の変化」→実践練習) 予習:(20分)教科書の賛成・反対の意見文2(53-60頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「時間軸中心の構成」「5段構成」で、○になる(を)する前と後など、自分の変化を書くこと														
	12	型で書く文章5(before/afterの文章2:上記①②プラス「社会の変化」「情報収集」→実践練習) 予習:(20分)教科書の賛成・反対の意見文2(64-66頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)「時間軸中心の構成」「5段構成」「情報収集」で、○になる(ができる)前と後など、社会の変化を書くこと														
	13	型で書く文章6(対立項と時間軸のある文章 →実践練習) 授業内小テスト④ 予習:(20分)教科書の対立項と時間軸のある文章(70-71頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)教科書の対立項と時間軸のある文章(72-74頁)のグラフと表などから自分が書くべき分野を選んでくること														
	14	型で書く文章7(対立項と時間軸のある文章の続き →実践練習) 授業内小テスト⑤ 予習:(20分)教科書の対立項と時間軸のある文章(75頁)の文章設計図に必要事項を記入しておくこと 復習:(40分)対立項と時間軸の両方を使って、実際に文章を書くこと														
	15	型で書く文章8(敬語の使い方:敬語の識別・実践のポイント/メール/手紙 他) 授業内小テスト⑥ 予習:(20分)教科書の敬語の識別(86頁)、敬語の実践(91-93頁)を丁寧に読んでおくこと 復習:(40分)授業で学習した敬語の使い方に関するポイントを箇条書きで整理しておくこと														
教科書・教材	板東実子『大学生のための文章練習帳』第2版(国書刊行会) レジュメ															
参考書・ 参考文献等	西田みどり『接続語を使えば誰でも書ける』(知友社)プレゼンテーション研究会『学生のためのプレゼンテーション・トレーニング』(実教出版)倉八順子『日本語の作文帳』(古今書院)桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版』(実教出版)齋藤孝『新聞力』(筑摩書房)齋藤孝『読書力』(岩波新書)都築学『レポートの書き方』(有斐閣)															
履修上の 注意等	教科書の該当部分等、予習して授業に臨む。															
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	公立小学校教諭・教頭・校長、教育センター研究員、小・中・高での授業、内地留学、教育雑誌・書籍・新聞コラムの執筆等の実務経験をもとに、読み手に伝わる文章について具体的に理解させ、論理的な文章の書き方の基本を身に付けてもらう。													

【2133】 教養科目 基礎技術分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
情報機器の操作 I			演習	奈良拓哉	1年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無								
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士									
1	15	30	1			○	○		期末試験								
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート							
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力		チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力			
	○	—	—	—	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	計	100	
当該科目の キーワード	《知識・理解》		情報化社会							課題は提出時に評価のポイントを事前に示し、内容が不足する場合は再提出を求める。タッチタイプの技術習得の状況は、個別に管理する記録表で、随時確認できる。							
	《汎用的技能》		コンピューターリテラシー							アクティブラーニングの有無 (内容)	有						
	《態度・志向性》		情報倫理														
授業概要	タッチタイプ等の初歩的技術の習得にはじまり、日本語ワードプロセッサの理解を深める内容へと展開する。レイアウトデザインのポイントを学びながら、効率よく書類を作成する能力を養う。総合的にパーソナルコンピューター全般の理解と操作技能の習得を実践的に学ぶ。									実習							
授業の 到達目標	パーソナルコンピューターおよび日本語ワードプロセッサの基本的な操作技術を習得し、書類作成における表現能力の向上を目指す。																
単位認定の要件	全ての課題・レポートが提出されていること。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	授業概要、PCの初期設定等の確認、タッチタイプの方法について等 予習:(0分) 復習:(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う															
	2	ソフトウェアを利用したタッチタイプについて等 予習:(0分) 復習:(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う															
	3	Googleサービスの利用について等 予習:(0分) 復習:(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う															
	4	IMEの操作について、短文・長文の入力(文節の移動や変更)等 予習:(0分) 復習:(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う															
	5	情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン(厚生労働省)について、長文入力練習等 予習:(0分) 復習:(45分) キーボード操作に慣れ親しむためタッチタイプの練習を行う															
	6	ページ設定、印刷、校正記号について等 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する															
	7	センタリング、右寄せ、両端揃え、均等割り付け、罫線等 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する															
	8	表操作、インデント等 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する															
	9	FONT、単語登録、オートコレクト、検索・置換等 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する															
	10	通信文の概要(ビジネス文章の構成、頭語と結語、時候のあいさつ等) 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する															
	11	通信文の作成 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する															
	12	文章と図形や写真との関係、コピー&ペースト、ドラッグ&ドロップ等 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する															
	13	Web上のデータを利用した書類作成(文字・文章の活用) 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する															
	14	Web上のデータを利用した書類作成(図・写真等の活用) 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する															
	15	校閲、差し込み印刷、数式エディタについて、まとめ 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する															
教科書・教材	特になし。																
参考書・参考文献等	随時参考資料を配布する。																
履修上の注意等	毎回の授業時には各自のパーソナルコンピューターを持参すること。 操作技術の習得には毎時間の積み重ねが必要なので、その都度復習すること。																
実務経験との関連	実務経験の有無	無															

【2134】 教養科目 基礎技術分野			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
情報機器の操作Ⅱ			演習	奈良拓哉	1年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30	1		○	○			期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》
	○	—	—	○	○	○	○	○	○	期末レポート 授業内小テスト 50 有 授業内提出物 30 有 授業内活動 20 有 その他 計 100 フィードバックの方法
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		情報化社会 コンピュータリテラシー 情報倫理			授業内小テストは、終了後に正答を解説する。提出物は内容が不足する場合に、説明後に再提出を求める。タッチタイプの技術習得の状況は、個別に管理する記録表で、随時確認できる。				
授業概要	表計算ソフトウェアの「計算機能」、「グラフ作成機能」、「データベース機能」などの基本的な仕組みと特徴を理解しながら、データの集計や整理・編集方法を実践的に学ぶ。							実習		
授業の到達目標	Microsoft Excel の基本的な操作方法を学び、他のソフトウェアと連携しながら書類を作成する能力を養う。総合的にパーソナルコンピュータ全般の理解と操作技術の向上を目指す。									
単位認定の要件	全ての課題・レポートが提出されていること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	表計算ソフトの概要 予習:(0分) 復習:(45分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	2	表操作、オートフィル、相対参照、絶対参照等 予習:(25分) オートフィルや相対参照、絶対参照の操作を確認する 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	3	関数を用いた集計(SUM、AVERAGE、COUNT、MAX、MIN、RANK)等 予習:(20分) テキストの「関数事典」で、上記関数の使い方を確認する 復習:(25分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	4	グラフ作成の基礎 予習:(25分) グラフの形状がどういったデータの表現に適するか確認する 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	5	グラフを活用した資料作成 予習:(25分) コピー&ペーストや貼り付けの種類を確認する 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	6	IF関数について等 予習:(25分) IF関数の使い方を確認する 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	7	VLOOKUP(近似値検索)等 予習:(25分) VLOOKUP(近似値検索)の使い方を確認する 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	8	VLOOKUP(完全一致検索)等 予習:(25分) VLOOKUP(完全一致検索)の使い方を確認する 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	9	TODAY、ISNUMBER 予習:(25分) 上記関数の使い方を確認する 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	10	COUNTIF、COUNTIFS等 予習:(25分) 上記関数の使い方を確認する 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	11	IF、VLOOKUP、COUNTIF等 予習:(25分) これまで授業で扱ってきた関数について確認する 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	12	Web上のデータを利用したデータ処理(気象庁のデータ活用) 予習:(25分) コピー&ペーストの操作方法を確認する 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	13	LEFT、RIGHT、MID、LEN、FIND等 予習:(25分) 上記の文字列関数について使い方を調べる 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	14	SUMIF、SUMIFS、ピボットテーブル、並べ替え等 予習:(25分) 上記内容について使い方を調べる 復習:(20分) 授業で行ったPCの操作等を確実に覚えるため、内容を振り返り操作する								
	15	授業内小テスト、まとめ等 予習:(45分) 授業内小テストに向け、これまで授業で扱ってきた関数や操作方法を確認する 復習:(0分)								
教科書・教材	できるポケット 時短の王道 Excel 関数全事典 改訂3版 2021/2019/2016/2013 & Microsoft 365対応									
参考書・参考文献等	随時参考資料を配布する。									
履修上の注意等	毎回の授業時には、各自のパーソナルコンピュータを持参すること。 操作技術の習得には毎時間の積み重ねが必要なので、その都度復習する。									
実務経験との関連	実務経験の有無	無								

[2141] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科										
英語A I			演習	FitzpatrickChristopher	1年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無							
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士								
1	15	30	1						○	期末試験	60	有					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用的に活用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
	○	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—		—	—	—	○	授業内小テスト
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		英語の知識全般、保育の英語専門用語									期末試験		60	有		
	≪汎用的技能≫		英語の運用能力向上、専門用語運用能力									授業内小テスト		20	有		
	≪態度・志向性≫		出席の重要性、課題の管理、小テスト準備、グループワーク									授業内提出物		10	有		
授業概要	1学期7または8ユニットを学習する。それぞれのユニットは2つか3つの短い対話を聞きリスニングで始まり、様々なトピックを扱った文法と語彙のアクティビティが続き、ボキャブラリーと文法のプリントを授業中に行うこともある。期末試験の前は既出学習内容の理解を確かなものにするため、十分な時間をもって復習を行う。										授業で学ぶ文章パターンを使い、実生活に即したトピックをペアワーク、小グループを通して、または教師と話し合い、文章で表現する。						
授業の到達目標	保育関連のテキストを使うことにより英語に対する興味を高め、専門分野に対する視野を広げる手助けをする。語彙力と基礎的な文法理解が向上し、それに伴って発音の向上が望まれる。										質問等がある場合は申し出ること。内容に応じて適切な対応をする。						
単位認定の要件	全ての評価観点の合計が60点以上。																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容															
	1	Introduction (導入) テキストの紹介、授業構成の説明 Unit 1 "Be" Verb — be動詞 予習:(20分)シラバスを読む テキストのpgs.8—9を読む 復習:(25分)pgs.8—13(特にpg.13, "Be" Verb Chart)の振り返り															
	2	Unit 2 Simple Present Tense — 現在形 予習:(15分)pgs.14—15を読む 復習:(30分)pgs.14—19の振り返り、特に一般的な真理や事実を述べる用法															
	3	Unit 3 Simple Past Tense — 過去形 予習:(15分)pgs.20—21を読む 復習:(30分)pgs.20—25の振り返り、特に否定文と疑問文															
	4	Unit 4 Pronouns — 代名詞 予習:(15分)pgs.26—27を読む 復習:(30分)pgs.26—31の振り返り、特にpg.31, Chart of Pronoun Types															
	5	Unit 5 Prepositions — 前置詞 予習:(15分)pgs.32—33を読む 復習:(30分)pgs.32—37の振り返り、特に時を表す前置詞と場所を表す前置詞															
	6	Unit 6 Progressive Tenses — 進行形 予習:(15分)pgs.38—39を読む 復習:(30分)pgs.38—43の振り返り、特に過去進行形と疑問文															
	7	Unit 7 Nouns and Articles — 名詞と冠詞 予習:(15分)pgs.44—45を読む 復習:(30分)pgs.44—49の振り返り、特に可算名詞と不可算名詞															
	8	Unit 8 Modals — 助動詞 予習:(15分)pgs.50—51を読む 復習:(30分)pgs.50—55の振り返り、特に可能性の度合いについて															
	9	Unit 9 Suggestions and Commands — 提案と命令 予習:(15分)pgs.56—57を読む 復習:(30分)pgs.56—61の振り返り、特にpg.61, Reference Material															
	10	Unit 10 Simple Future Tense — 未来形 予習:(15分)pgs.62—63を読む 復習:(30分)pgs.62—67の振り返り、特に近い未来を表す現在形と現在進行形															
	11	Unit 11 Question Words and Tag Questions — 疑問詞と不加疑問文 予習:(15分)pgs.68—69を読む 復習:(30分)pgs.68—73の振り返り、特に付加疑問文															
	12	Unit 12 Adjectives — 形容詞 予習:(15分)pgs.74—75を読む 復習:(30分)pgs.74—79の振り返り、特に形容詞になる現在分詞と過去分詞															
	13	Review (ユニット1から6までの復習) 保育に関する補助教材 予習:(30分)pgs.8—43を読む 復習:(30分)既習事項に関する質問をまとめる															
	14	Review (ユニット7から12までの復習) 補足アクティビティによる復習 保育に関する補助教材 予習:(30分)pgs.44—79を読む 復習:(30分)既習事項に関する質問をまとめる															
15	期末試験に向けての復習 予習:(15分)期末試験に向けて質問をまとめる 復習:(時間指定なし)試験に向けて勉強する																
教科書・教材	Grammar Plus (Second Edition) 南雲堂																
参考書・参考文献等	授業で指示する																
履修上の注意等	授業で指示する																
実務経験との関連	実務経験の有無	有	長年にわたり国内や海外の様々な教育機関で、異なった年齢を対象に教鞭をとってきたESLの経験豊富な教員が授業を担当する。英語論文やその他英語文献を編集/校正した経験も多数ある。2011年東日本大震災後、青森に避難した家庭の子供たちに英語を教えた経験を通して子供を教育するという領域の理解を深めた。														

[2142] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科											
英語A II			演習	FitzpatrickChristopher	1年	後期	こども発達学科											
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無								
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士									
1	15	30	1						○	期末試験	60	有						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		《汎用的技能》 コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				《態度・志向性》 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート					
	○	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—		—	—	—	○	授業内小テスト	20
																授業内提出物	10	有
																授業内活動	10	有
																その他		
																計	100	
																フィードバックの方法		
																質問等がある場合は申し出ること。内容に応じて適切な対応をする。		
																アクティブラーニングの有無(内容)		有
																授業で学ぶ文章パターンを使い、実生活に即したトピックをペアワーク、小グループを通して、または教師と話し合い、文章で表現する。		
																1学期7または8ユニットを学習する。それぞれのユニットは2つか3つの短い対話を聞きリスニングで始まり、様々なトピックを扱った文法と語彙のアクティビティが続き、ボキャブラリーと文法のプリントを授業中に行うこともある。期末試験の前は既学習内容の理解を確かなものにするため、十分な時間をもって復習を行う。		
																授業の到達目標 保育関連のテキストを使うことにより英語に対する興味を高め、専門分野に対する視野を広げる手助けをする。語彙力と基礎的な文法理解が向上し、それに伴って発音の向上が望まれる。		
																単位認定の要件 全ての評価観点の合計が60点以上。		
																授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		
																回		
																1 Unit 13 Comparatives — 比較 予習:(20分)シラバスを読む テキストのpgs.80—81を読む 復習:(25分)pgs.80—85の振り返り、特に比較級と最上級		
																2 Unit 14 Adverbs — 副詞 予習:(15分)pgs.86—87を読む 復習:(30分)pgs.86—91の振り返り、特に頻度を表す副詞		
																3 Unit 15 Infinitives — 不定詞 予習:(15分)pgs.92—93を読む 復習:(30分)pgs.92—97の振り返り、特に不定詞の用法による違い		
																4 Unit 16 Gerunds — 動名詞 予習:(15分)pgs.98—99を読む 復習:(30分)pgs.98—103の振り返り、特に主語になる動名詞と目的語になる動名詞		
																5 Unit 17 Conjunctions — 接続詞 予習:(15分)pgs.104—105を読む 復習:(30分)pgs.104—109の振り返り、特に最もよく使われる接続詞の用法		
																6 Unit 18 Passive Voice — 受動態 予習:(15分)pgs.110—111を読む 復習:(30分)pgs.110—115の振り返り、特に能動態から受動態への書き換え		
																7 Unit 19 Word Parts — 語源 予習:(15分)pgs.116—117を読む 復習:(30分)pgs.116—121の振り返り、特に接頭辞と接尾辞		
																8 Unit 20 Adjective Clauses — 形容詞節 予習:(15分)pgs.122—123を読む 復習:(30分)pgs.122—127の振り返り、特に人物や場所を説明するための形容詞節		
																9 Unit 21 Adverb Clauses — 副詞節 予習:(15分)pgs.128—129を読む 復習:(30分)pgs.128—133の振り返り、特に時を表す用法		
																10 Unit 22 Conditionals — 仮定法 予習:(15分)pgs.134—135を読む 復習:(30分)pgs.134—139の振り返り、特に二種類の異なった仮定法		
																11 Unit 23 Noun Clauses — 名詞節 予習:(15分)pgs.140—141を読む 復習:(30分)pgs.140—145の振り返り、特に主語になる名詞節と目的語になる名詞節		
																12 Unit 24 Present Perfect — 現在完了 予習:(15分)pgs.146—147を読む 復習:(30分)pgs.146—151の振り返り、特に過去時制と現在完了の違い		
																13 Review (ユニット13から18までの復習) 保育に関する補助教材 予習:(30分)pgs.80—115を読む 復習:(30分)既習事項に関する質問をまとめる		
																14 Review (ユニット19から24までの復習) 補足アクティビティによる復習 保育に関する補助教材 予習:(30分)pgs.116—151を読む 復習:(30分)既習事項に関する質問をまとめる		
																15 期末試験に向けての復習 予習:(15分)期末試験に向けて質問をまとめる 復習:(時間指定なし)試験に向けて勉強する		
																教科書・教材 Grammar Plus(Second Edition) 南雲堂		
																参考書・参考文献等 授業で指示する		
																履修上の注意等 授業で指示する		
																実務経験との関連 実務経験の有無 有 長年にわたり国内や海外の様々な教育機関で、異なった年齢を対象に教鞭をとってきたESLの経験豊富な教員が授業を担当する。英語論文やその他英語文献を編集/校正した経験も多数ある。2011年東日本大震災後、青森に避難した家庭の子供たちに英語を教えた経験を通して子供を教育するという領域の理解を深めた。		

[2143] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
英語B I			演習	杉本久美子	1年	前期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無			
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士				
1	15	30	1			○	○		期末試験	70	有	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適した課題へ適用し、その課題を解決する能力》			
	○		○	—	○	○	—	○	—	—	○	○
	○		○	—	○	○	—	○	—	—	○	○
	○		○	—	○	○	—	○	—	—	○	○
当該科目のキーワード		≪知識・理解≫ 英語の基礎文法定着と外国の文化理解		≪汎用的技能≫ ペア、グループによる外国語活動		≪態度・志向性≫ 継続的学習態度の育成		期末試験は採点后返却し解答の説明を行う。授業内活動についても、実施ごとに説明と所見を伝える。				
授業概要		これまで学んだ英語の知識を定着させ、専門的英語を学ぶ前段階としての準備を行う。また自分の持つ英語力を使って、積極的にコミュニケーションをとる姿勢を養う。						アクティブラーニングの有無(内容) 有				
授業の到達目標		英語学習の基本となる文法の基礎固めを行う。習得した文法を基に英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)の向上を図る。特にこの授業で使用するテキストは、文法の定着だけでなくその応用として会話表現も学ぶ内容となっているため、英語によるコミュニケーション能力の育成に重点を置き、主体的に考えを述べる姿勢を養うことを目標とする。						ペアワーク、問題解決型学習等				
単位認定の要件		授業内活動(30%)と期末試験(70%)の合計が60点以上であること。										
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容									
		1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法などについて) Unit 1 導入 予習:(30分) 使用テキストの内容確認。※2回目以降は授業内にて指示。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。※各回同様。									
		2	Unit 1 Where are you from? ① Grammar: Subjective-verb Agreement 主語と動詞の一致 予習:(30分) 復習:(30分)									
		3	Unit 1 Where are you from? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)									
		4	Unit 2 How are you doing ① Grammar: Be Verb & Do Verb Be動詞と一般動詞 予習:(30分) 復習:(30分)									
		5	Unit 2 How are you doing ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)									
		6	Unit 3 How Many classes do you have? ① Grammar: Countable Nouns 数えられる名詞 予習:(30分) 復習:(30分)									
		7	Unit 3 How Many classes do you have? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)									
		8	Review 1 (Units 1-3) 予習:(30分) 復習:(30分)									
		9	Unit 4 How much food do you need for your party? ① Grammar: Uncountable Nouns 数えられない名詞 予習:(30分) 復習:(30分)									
		10	Unit 4 How much food do you need for your party? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)									
		11	Unit 5 How many people are there in your family? ① Grammar: There is / There are / It is / They are の表現とIt is / They are との違い 予習:(30分) 復習:(30分)									
		12	Unit 5 How many people are there in your family? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)									
		13	Unit 6 When is your report due? ① Grammar: Cardinal & Ordinal Numbers 数 予習:(30分) 復習:(30分)									
		14	Unit 6 When is your report due? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)									
		15	Review 2 (Units 4-6) これまでの内容の復習問題 前期授業総括 予習:(30分) 復習:(30分)									
教科書・教材		『Project English アクティブに学ぶ英語コミュニケーション』 Vivian Morooka 足立綾 著 NAN'UN-DO ¥2300+税										
参考書・参考文献等		特になし										
履修上の注意等		授業内活動(ペア、グループ等)には積極的に取り組むこと。										
実務経験との関連		実務経験の有無	無									

[2144] 外国語科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
英語B II			演習	杉本久美子	1年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士							
1	15	30	1			○	○		期末試験	70	有					
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他	30	有		
	—		○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	○	計	100	
	フィードバックの方法															
	当該科目のキーワード ≪知識・理解≫ 英語の基礎文法定着と外国の文化理解 ≪汎用的技能≫ ペア、グループによる外国語活動 ≪態度・志向性≫ 継続的学習態度の育成											期末試験は採点后返却し解答の説明を行う。授業内活動についても、実施ごとに説明と所見を伝える	アクティブラーニングの有無(内容)	有		
授業概要	これまで学んだ英語の知識を定着させ、専門的英語を学ぶ前段階としての準備を行う。また自分の持つ英語力を使って、積極的にコミュニケーションをとる姿勢を養う。										ペアワーク、問題解決型学習等					
授業の到達目標	英語学習の基本となる文法の基礎固めを行う。習得した文法を基に英語の4技能(聞く・話す・読む・書く)の向上を図る。特にこの授業で使用しているテキストは、ドラマ内容の把握と表現練習の構成となっているため、英語によるコミュニケーション能力の育成に重点を置き、主体的に考えを述べる姿勢を養うことを目標とする。															
単位認定の要件	授業内活動(30%)と期末試験(70%)の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	授業概要説明(使用テキスト、授業展開方法、成績評価方法について)Unit 7 導入 予習:(30分) 前期学習内容の確認 ※2回目以降は授業内にて指示。 復習:(30分) 本時の学習内容の復習と定着を図る。各回同様。														
	2	Unit 7 How was your weekend? ① Grammar: Past Tense 過去形 予習:(30分) 復習:(30分)														
	3	Unit 7 How was your weekend? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)														
	4	Unit 8 What time is your first class? ① Grammar: Time 時間の表現 予習:(30分) 復習:(30分)														
	5	Unit 8 What time is your first class? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)														
	6	Unit 9 Have you ever been to Kyoto? ① Grammar: Present Perfect 現在完了形 予習:(30分) 復習:(30分)														
	7	Unit 9 Have you ever been to Kyoto? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)														
	8	Review 3 (Units 7-9) これまでの内容の復習 予習:(30分) 復習:(30分)														
	9	Unit 10 Can I ask you a favor? ① Grammar: Auxiliary Verbs 助動詞 予習:(30分) 復習:(30分)														
	10	Unit 10 Can I ask you a favor? ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)														
	11	Unit 11 I'm going to visit my grandparents. ① Grammar: Future Tense 未来形 予習:(30分) 復習:(30分)														
	12	Unit 11 I'm going to visit my grandparents. ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)														
	13	Unit 12 I'm on the train. ① Grammar: Prepositions 前置詞 予習:(30分) 復習:(30分)														
	14	Unit 12 I'm on the train. ② Grammar & Practice, Conversation 予習:(30分) 復習:(30分)														
	15	Review4 (Units 10-12) これまでの内容の復習 / 後期授業総括 予習:(30分) 復習:(30分)														
教科書・教材	『Project English アクティブに学ぶ英語コミュニケーション』 Vivian Morooka 足立綾 著 NAN'UN-DO ¥2300+税															
参考書・参考文献等	特になし。															
履修上の注意等	授業内活動(ペア、グループ等)には積極的に取り組むこと。															
実務経験との関連	実務経験の有無	無														

【2161】 保健体育科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
体育 I			講義	神和人	1年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
1	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士			
			1		○	○	○		期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 70 有 授業内提出物 授業内活動 30 無 その他	
	○	—	○	○	—	—	—	○	○	
	計 100									
	フィードバックの方法									
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		運動における内部構造を理解し、その機能が運動のメカニズムに影響するのかを学ぶ。 個々の技術習得が集団的スキルに反映することを習得し、生涯楽しむことを学ぶ。 個々の協力が周囲に影響を与えることを自覚しスポーツの意義と態度を学ぶ。						小テストにおいてポイント説明と採点解説 アクティブラーニングの有無(内容) 有	
授業概要	スポーツが低学年の児童から成人まで健康で実施できる基礎と運動が及ぼす身体の変化を学ぶ。また、各スポーツについては技術・戦略・協力・態度を学び生涯取り組んでいける知識を学ぶ								各種目や技術・戦術・チームワーク おけるポイントを学ぶ	
授業の 到達目標	種目ごとに特性性を考慮し、対応できる能力を養い体得する。また、個人手技術及び集団技術を学び臨時に動きができるようたいとする。									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	本授業のガイダンス(目的・概要・計画) 前期の内容説明と注意事項 予習:20(分)次週より体力測定のため身体を準備させる 復習:(分)								
	2	体力測定(機能・能力) 体力測定の実施(立幅び・握力・長座体前屈など) 予習:30(分)身体の柔軟性・関節の可動域を伸ばす 復習:30(分) 今まで使用していない筋群を使用したためフォローする								
	3	体力測定(持久力) 体力測定の実施(シャトルラン) 予習:30(分)心肺機能を弱めるため事前にランニング・筋肉を伸ばす 復習:20(分) 追い込みをかけたのでストレッチ・軽めのジョギング・ウォーキングで調整をはかる								
	4	体づくり運動(柔軟性・筋力) 柔軟性・呼吸循環器系を高める運動の実施 予習:30(分)関節可動域を広げ筋肉を伸ばす。心拍数を日常生活より高めるため、事前にウォーキングなどの実施 復習:30(分) ストレッチングの実施								
	5	体づくり運動(歩く・走る・投てきのフォーム指導) 投てきフォーム・ランニングフォームの実施 予習:30(分)ストレッチングの実施・可動域の広域性 復習:30(分)ストレッチングの実施								
	6	バドミントンのガイダンス(歴史・ルール・ショット) バドミントンの内容説明 予習:30(分)利き腕のストレッチング・下腿・大腿部周辺 復習:30(分) 使用した筋群のストレッチング								
	7	バドミントンの基本技術習得(ハイクリア・ヘアピン) ラケット・シャトルを使用したの馴れとショットを打つ 予習:30(分)実際にラケットを握り、シャトルと自分の身体の間隔をつかむ 復習:30(分) ストレッチングの実施、J 普段使用しない前腕部筋群を使うため筋肉痛にならないよう各自で行う								
	8	バドミントンの基本技術習得(ドライブ・ドロップ・サーブ) シャトルをコントロールするための実践 予習:30(分)ラケット・シャトルでの感覚を覚える 復習:30(分) ラケット・シャトル、自分の身体との間隔を覚える								
	9	バドミントンの基本技術習得(スマッシュ・レシーブ) バドミントンの難度の高いショットのポイント 予習:30(分)高い打点で打てる感覚を養う 復習:30(分) 打点のポイントを把握する								
	10	バドミントンの基本技術習得(ゲーム方法・テスト練習) ゲーム方法の説明・テスト方法の説明 予習:30(分)実際に今まで実施したショット活用する 復習:(分) ゲーム方法を把握してスムーズなゲーム流れを学ぶ								
	11	バドミントン(テスト) 今までのショットを活用し、ゲーム展開の実践 予習:30(分)ゲーム方法をペア同志学ぶ 復習:30(分) ゲーム展開とショットの技術説明								
	12	マット運動:前転・後転・開脚前転・開脚後転 予習:30(分)柔軟性を高める 復習:20(分) 身体が丸くなるポイント説明								
	13	マット運動:三点倒立・倒立・倒立前転 予習:30(分)柔軟性を高める・手の位置 復習:20(分) 身体バランス								
	14	水泳実習ガイダンス 水泳実習の要項説明・班づくり 予習:30(分)水泳実習で使用する準備 復習:(分) 要項内容に記載物の準備								
	15	水泳実習 水泳実習 予習:30(分)準備物の確認 復習:30(分) ストレッチング								
教科書・教材	特になし									
参考書・参考文献等	授業内で適宜資料を配布する。									
履修上の注意等	水泳実習を2日間実施する。									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	アルペンスキーオリンピック世界選手権大会等での日本チームトレーナーとしての経験を活かし、スポーツに関する知識等を学ぶ内容の科目である。							

[2162] 保健体育科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
体育Ⅱ			実技	神和人	1年	後期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
1	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士									
			1		○	○	○		期末試験							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に自ら設定し、適切な課題へ適用し、その課題を解決する能力》					
	○	—	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	期末試験		期末レポート		授業内小テスト		70	有	授業内提出物		授業内活動		30	無	その他	
	計		100		フィードバックの方法											
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		集团的・個人的スポーツの技術を学び、それが応用できるよう理解する。 技術習得(個人・集団)を学びその技術が多様に反映されるよう学ぶ。 各スポーツの展開内容を理解し楽しむことを学ぶ。							授業内試験においてポイント説明と終了後の採点解説 アクティブラーニングの有無(内容)			有			
授業概要	各種スポーツの特異性を考慮し技術習得とチームの仲間意識を高め、協力する態度を養う。										チームワークと戦術の組み立てと個々の技術をチーム内で確認					
授業の到達目標	個人の到達には個人差があるが、問題点を明確にし修復店や個人能力に合わせたものにする。															
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容														
	1	体づくり運動(柔軟性・筋力) 夏休み明けの授業 予習:30(分)個々におけるストレッチング 復習:30(分)簡単な体づくり運動の実施														
	2	体づくり運動(敏捷性・巧緻性) 素早い動き・正確な動作 予習:30(分)動ける身体の準備 復習:30(分)簡単な運動の実施														
	3	ソフトバレーボールにおけるガイダンス ソフトバレーボールの概要説明 予習:30(分)事前にボールとの馴れ 復習:30(分)コートの広さとボール感覚の把握														
	4	ソフトバレーボールの基本技術習得(レシーブ・パス) ボールのレシーブ・トスの方法を学ぶ 予習:30(分)ボールを身体前でレシーブ・頭上でのトス・パス 復習:30(分)構えの方法・レシーブ方法														
	5	ソフトバレーボールの基本技術習得(サブ・アタック) 難度のアタック方法のポイント説明 予習:30(分)ジャンプ力とタイミング 復習:30(分)タイミングの把握														
	6	ソフトバレーボールの基本技術習得(ゲーム) テストに向けたゲーム説明 予習:30(分)チームごとに実戦 復習:30(分)チーム戦略														
	7	ソフトバレーボール・テスト ゲーム方式でのテスト 予習:30(分)チームごとの実践 復習:30(分)攻撃・守備体制のフォーメーション														
	8	バasketボールのガイダンス(歴史・ルール・ゲーム・テスト方法) バasketボールの概要説明 予習:30(分)事前資料配布に伴う内容把握 復習:30(分)ボール慣れ														
	9	バasketボールの基本技術習得(シュート・ドリブル) バasketボール初日につきボールコントロールとシュート 予習:30(分)ボール慣れ 復習:30(分)ドリブル・シュート														
	10	バasketボールの基本技術習得(パス・レイアップ) パスのポイント説明とレイアップシュートの方法 予習:30(分)シュート力を高める 復習:30(分)ボールをコントロールとシュート力														
	11	バasketボールの基本技術習得(オフェンス・ディフェンス) 来週のテストに向けてポイントの説明 予習:30(分)チームごとにオフェンス・ディフェンスの役割分担を確認 復習:30(分)チームごとに実戦														
	12	バasketボール・テスト チームに分かれゲームの実施 予習:30(分)テストを想定してのオフェンス・ディフェンスの役割確認 復習:30(分)戦術で正しい動きであったかの確認														
	13	スキー実習ガイダンス スキー実習における説明と持ち物の確認 予習:30(分)個々でスキーを滑れる学生は実施 復習:15(分)準備物の確認														
	14	スキー実習(本学スキー山での滑走) スキー初体験から上級者までの班ごとに実戦 予習:30(分)個々でスキーを滑れる学生は実施 復習:30(分)ストレッチングと学んだことの整理														
	15	スキー実習(鯉ヶ沢スキー場) 実習2日目、各班でのテストの実施 予習:30(分)個々のストレッチング 復習:30(分)使用した筋肉のケアと、個々に本実習で学んだことを生かす														
教科書・教材	特になし															
参考書・参考文献等	授業内で適宜資料を配布する。															
履修上の注意等	スキー実習を2日間実施する。															
実務経験との関連	実務経験の有無	有	アルペンスキーオリンピック世界選手権大会等での日本チームトレーナーとしての経験を活かし、スポーツに関する知識等を学ぶ内容の科目である。													

【2201】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
家政学原論			講義	工藤寧子	1年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30	2								
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》
	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		家政学についての理解								授業内小テストは試験後に解説を行う。授業内提出物・活動は、授業内でコメントをする。
	≪汎用的技能≫		生活課題を解決に導く生活力								
	≪態度・志向性≫		生活者視点での社会的役割								
授業概要	家政学の全体像をつかみ、総合的に日常生活と家政学の関係を考えられる視点を育成する。また、生活や社会の諸問題について関心をもち、問題を見つけ問題解決に導く生活力を高める。さらに、持続可能な暮らしを実現するために、生活者の視点から社会において果たす役割について考える。									グループワーク、グループディスカッション	
授業の到達目標	① 家政学の全体像がわかる。 ② 生活課題をとりえ、解決する生活力を高める努力ができる。 ③ 現代生活の諸問題を理解できる。 ④ 持続可能な暮らしを実現するための社会的役割がわかる。										
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	ガイダンス 授業概要 予習:(0分) 復習:(180分) 授業目標の確認。新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。									
	2	家政学とはなにか 予習:(0分) 復習:(180分) 家政学とはなにかを自身の言葉でまとめる。									
	3	家政学の歴史 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 家政学の歴史についてまとめる。									
	4	家政学と家族 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自身の意見をまとめる。									
	5	生活課題(家族) 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 他者の意見をもとに自身の意見をまとめる。									
	6	家政学と家庭経営 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自身の意見をまとめる。									
	7	生活課題(家庭経営) 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 他者の意見をもとに自身の意見をまとめる。									
	8	消費者教育[ゲスト講師:金融トラブル等] 予習:(90分) 授業目標を確認する。 復習:(90分) 生活を振り返り、自身の課題をまとめる。									
	9	生活課題(消費者教育) 予習:(0分) 復習:(180分) 他者の意見をもとに自身の課題と解決策をまとめる。									
	10	持続可能な生活と社会 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 諸問題に対して自身の意見をまとめる。									
	11	生活課題(持続可能な生活と社会) 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 他者の意見をもとに自身の意見をまとめる。									
	12	家政学の視点とは 予習:(60分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(120分) これまでの授業内容を振り返る。									
	13	働き方と家庭生活[ゲスト講師:キャリア支援教育] 予習:(90分) 授業目標を確認する。 復習:(90分) 生活を振り返り、自身の課題をまとめる。									
	14	将来の働き方と暮らし方、ジェンダーについて 予習:(90分) 新聞や情報誌に目を通し、社会の状況を把握する。 復習:(90分) 他者の意見をもとに自身の意見をまとめる。									
	15	まとめ 予習:(180分) これまでの授業内容を振り返る。 復習:(0分)									
教科書・教材	授業時に資料を配布する。										
参考書・参考文献等	日本家政学会家政学原論部会『やさしい家政学原論』建帛社										
履修上の注意等	家庭生活に関心をもち、自分の意見を述べられるようにする。										
実務経験との関連	実務経験の有無	無									

【2202】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
教育原理			講義	齋藤雅俊	1年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士				
2	15	30	2		○	○	○				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》 期末レポート 授業内小テスト 授業内提出物 授業内活動 その他 計 100 フィードバックの方法
	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○	
	≪知識・理解≫ 教育の本質と目的、これまでの歩みについての理解		コメントページ返却								
	≪汎用的技能≫ 前項目について口頭、文章等で説明		アクティブラーニングの有無(内容) 無								
≪態度・志向性≫		「教育とは何か」という本質的な問いを念頭に置きつつ、西洋教育史(古代ギリシャ時代から現代まで)や日本教育史(近代公教育の始まる明治期を中心に現代まで)における教育観や教育思想の変遷を概観しながら理解を深め、教師として現実の教育実践において出会うであろう様々な出来事に関して「人間と教育」のより全体的な脈絡の中で考察していく。									
授業の到達目標		教育実践のための基礎力を身につけるために、 ①教育の本質と目的、意義と理念について理解する。 ②これまでの教育史の歩みについて理解する。 ③前項目について理解・修得したことを授業内で口頭発表したり、試験・レポート等で論述できる。									
単位認定の要件		期末試験(55点)＋コメントページ等授業内提出物(3点×15回分)＝60点以上									
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容								
		1	教育学の基本的概念の理解(1):語源・字義などからみる教育の意味、目的・目標。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		2	教育学の基本的概念の理解(2):個性・自主性の尊重、それらの教育観をふまえて、学校と教員・家庭はどうあるべきか。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		3	教育学の基本的概念の理解(3):素質・環境などの要因について、それらをふまえて、学校と教員・家庭はどうあるべきか。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		4	教育学の基本的概念の理解(4):教育の「場(家庭・学校・社会)」について、特徴と役割、それらをめぐる現代の教育課題。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		5	教育に関する歴史と思想(1):古代ギリシャ時代の教育(ソクラテス・プラトン・アリストテレスなど) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		6	教育に関する歴史と思想(2):ヘレニズム期～ローマの教育 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		7	教育に関する歴史と思想(3):中世の教育(キリスト教と教育、大学の成立など) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		8	教育に関する歴史と思想(4):15～6世紀の教育(ルネサンスと人文主義の教育、宗教改革と公教育の父……ルター) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		9	教育に関する歴史と思想(5):17世紀の教育(自然科学の発展と合自然の教育、実学主義、コメニウスらによる学校教育制度の試み) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		10	教育に関する歴史と思想(6):18世紀の教育(啓蒙主義と教育、市民教育の普及と近代公教育制度の芽生え……コンドルセ) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		11	教育に関する歴史と思想(7):19世紀の教育(新人文主義の教育、近代公教育制度の成立、幼児教育の発展と幼稚園・保育所の成立) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		12	教育に関する歴史と思想(8):20世紀以降の教育(児童中心主義、教育の現代化) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		13	教育に関する歴史と思想(9):日本における教育(古代～終戦まで) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		14	教育に関する歴史と思想(10):日本における教育(戦後民主主義と教育制度改革) 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
		15	まとめ、現代社会における教育課題と今後の展望。 予習:Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。(60分) 復習:授業内で分らなかったことがあればインターネット等で検索する。(60分)								
教科書・教材		牛渡淳『改訂 教育学原論』中央法規									
参考書・参考文献等		上記以外の文献等も適宜参照する。また、パワーポイントによるまとめプリントを配布する。なお、配布物が多いため、各自綴じるためのファイルを用意すること。									
履修上の注意等		新聞・テレビ等の教育関連情報に関心をはらうこと。また、欠席の不正(中抜け、無断退出、代返、コメントページ代筆等)の他、成績評価に関わる全ての不正については単位認定を不可とする場合がある。									
実務経験との関連		実務経験の有無	無								

【2203】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
教育心理学			講義	小林琢哉	1年	後期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無										
2	15	30	必修	選択	小学校	幼稚園	保育士												
			2		○	○			期末試験	80	無								
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》					《獲得した能力 を総合的に 利用し、自ら 設定し、適 した課題へ適 用し、その 課題を解決 する能力》	期末レポート							
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーショ ンスキル	数量的スキ ル	情報リテラシ ー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシ ップ		倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	20	有		
	○	—	○	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	○	授業内提出物		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		教育心理学の基礎知識									期末試験							
	《汎用的技能》		心理学的な考え方									授業内提出物の学生のコメント に対して次回の講義で解説を行う。							
	《態度・志向性》		心理学的知見を実生活に応用する姿勢									アクティブラーニングの有無 (内容)		有					
授業概要	本講義では、将来教職に就くものとして必要となる、教育における諸問題を心理学的観点から説明できる素養を習得することを目的とする。人間の心身の発達及び学習の過程について、教育心理学における分野における基礎知識を得る過程で、教育に関わる心理学的なものの方・考え方を養う。											心理実験・調査の体験及びグループワーク							
授業の到達目標	①乳幼児期から青年期にかけての心身の発達に関する規定要因及びその相互作用、運動・言語・認知・社会性の発達に関する代表的な理論についてその内容を具体的に理解する。 ②学習の代表的な理論と、主体的学習を支える指導方法と動機づけ・集団形成・評価について発達過程と関連付けて理解する。																		
単位認定の要件	授業内提出物及び期末試験の合計が60点以上であること。																		
授業計画 (予習、復習の 内容・時間含む)	回	内 容																	
	1	発達①発達の原理、遺伝・環境要因の影響に関する体系的な理論 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 発達の原理について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	2	発達②運動と遊び 粗大運動・微細運動の発達、一人遊びから共同遊びへ 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 運動の発達について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	3	発達③言語 言語発達の過程、母語と第二言語獲得の基礎 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 言語発達の仕組みと過程について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	4	発達④認知 ビヤジエ理論、ウィゴツキーの社会構成主義、素朴理論 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) ビヤジエの認知発達理論、ウィゴツキーの発達理論について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	5	発達⑤社会性 道徳性・向社会的行動の発達、アイデンティティ形成、人格の発達 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 道徳性の発達について、コールバーグ理論を中心に教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	6	学力①新しい学力 情報活用能力を含む21世紀型スキル 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 生きる力、情報活用能力などの新しい学力について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	7	学力②学力・知能の定義と測定方法 知能の構造・検査方法 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 知能測定の歴史、知能検査の種類などについて教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	8	学習過程①学習の仕組み 行動主義・認知主義の学習理論 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 心理学における学習の理論について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	9	学習過程②記憶の仕組み 記憶の種類と忘却の過程、作業記憶の発達と学習支援 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 記憶の二重貯蔵モデル、作業記憶モデルについて教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	10	指導方法①学習理論に基づいた授業方法 プログラム学習・発見学習 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 行動主義心理学の授業理論について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	11	指導方法②学習理論に基づいた授業形態の理解 協調学習、ジグソー学習など 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 認知主義の学習理論に基づく授業設計について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	12	学級集団 集団の種類・形成と成員への心理的影響 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 集団の形成過程、学級集団の理解について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	13	動機づけの理論 外発的動機づけ・内発的動機づけ・達成動機 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 動機づけの種類、知能観との関係について、教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
	14	教育評価①測定と評価の方法 教育統計、目標に準拠した評価、ポートフォリオ評価 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) 教育評価の分類、方法について教科書と授業資料を整理して内容を確認する。																	
15	教育評価②評価に影響する要因の理解 適性処遇交互作用など 予習:(90分)シラバスに記載されている授業内容について教科書・書籍・Web上の資料等を使用して調べる。 復習:(90分) テスト結果を変動させる要因について、授業資料を整理して内容を確認する。																		
教科書・教材	古川 聡(編) 教育心理学をきかめる10のチカラ 福村出版																		
参考書・参考文献等	授業中にプリントを配布する。																		
履修上の注意等	授業時間中に無断で退出したものは単位不認定とする。																		
実務経験との関連	実務経験の有無	無																	

【2205】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
保育原理			講義	安川由貴子	1年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
2	15	30	2					○	期末試験 50 無					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》					期末レポート 20 無			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト 授業内提出物 10 有 授業内活動 20 有 その他
	○	○	—	—	—	○	—	—	—	○	○	○	—	計 100
当該科目の キーワード	《知識・理解》		保育に関する基本的知識の理解									ミニ発表用の提出物は、印刷して 授業時に共有する。コメント・ペ ーパーの内容や質問は授業内で適 宜共有する。		
	《汎用的技能》		保育の現状や課題を踏まえた考察力											
	《態度・志向性》		保育士としての倫理観や態度の育成										アクティブラーニングの有無 (内容) 有	
授業概要	保育の意義や目的、保育に関する法令及び制度を理解し、保育に求められる社会的役割を理解する。日本の保育の現状や課題について理解を深めるとともに、保育所保育指針における保育の基本を学び、保育士に求められる基本的な姿勢を培う。また、諸外国及び日本の保育の思想と歴史についても学び、保育のあり方について多面的に理解する視点を身に付ける。										グループディスカッション、発表			
授業の 到達目標	1.保育の意義及び目的について理解する。 2.わが国における保育に関する法令及び制度を理解する。 3.保育所保育指針における保育の基本について理解する。 4.保育の思想と歴史の変遷について理解する。 5.保育の現状と課題について考察する。													
単位認定の要件	到達目標に対し、総合的に評価して合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容 ・時間含む)	回	内 容												
	1	ガイダンス、保育の場についての理解、自らを振り返りこれからの私を考える 予習:(90分)自らの乳幼児期の経験について振り返り、どのような保育・教育を目指していきたいかを考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	2	保育の意義と目的①保育の理念と概念、子どもの最善の利益と保育 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	3	保育の意義と目的②子ども家庭福祉と保育、保育の社会的役割と責任 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	4	保育に関する法令及び制度①子ども家庭福祉の法体系における保育の位置付けと関係法令 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	5	保育に関する法令及び制度②子ども・子育て支援新制度 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	6	保育に関する法令及び制度③保育の実施体系 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	7	日本の保育の現状と課題 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	8	保育所保育指針における保育の基本①保育所保育指針の位置付けと保育所の役割 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	9	保育所保育指針における保育の基本②保育の目標、保育の方法 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	10	保育所保育指針における保育の基本③保育の環境、保育における養護 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	11	保育所保育指針における保育の基本④子ども理解に基づく計画・実践、記録・評価・改善の過程とその循環 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	12	諸外国の保育の思想と歴史①西欧における保育施設の誕生 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	13	諸外国の保育の思想と歴史②フレーベル、モンテッソーリ 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	14	日本の保育の思想と歴史 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
	15	諸外国の保育の現状 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。												
教科書・教材	レジュメ、資料を配布する。厚生労働省『保育所保育指針(平成29年告示)』フレーベル館。													
参考書・ 参考文献等	厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館。授業内に適宜紹介する。													
履修上の 注意等	保育の問題を考える際に、保育所保育指針を繰り返し参照する習慣を身に付けること。ミニ発表やグループワークも適宜取り入れるので、積極的な参加を期待します。													
実務経験との 関連	実務経験の有無	無												

【2206】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
保育の心理学			講義	秋臺美紀	1年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30	2					○	期末試験						
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に自ら設定し、自ら課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート				
	○	○	—	○	—	—	—	○	—		—	—	—	—	計
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		子どもの心身発達の理解							第15回目の講義で試験を実施し、講義内でその解説を行う。コメントペーパーは確認後返却し、講義内においてフィードバックする。					
	≪汎用的技能≫		年齢段階を踏まえた保育者のかかわり方の検討												
授業概要	≪態度・志向性≫														
	身体・運動機能、認知機能、自己概念、対人関係、コミュニケーション・社会性といった人間の心身機能の各側面に焦点を当て、これらの発達の変化について概観する。心身機能の発達プロセスに関する基礎理解をもとに、年齢段階に応じた子どもへの関わり方について考える力の修得を目標とする。										グループワーク				
授業の到達目標	年齢段階に応じた子どもへの関わり方について考える力を修得するために、 ①心身発達の諸側面に関する基礎用語を理解できる。 ②各年齢段階の特徴を理解できる。 ③子どもの発達を促す環境や対応について理解できる。														
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	保育と心理学の関係について考える、保育観のグループワーク 予習:(90分)保育に対するイメージを考え、保育現場の問題を調べる。 復習:(90分)保育を行うにあたり心理学を学ぶ意義を明確にする。													
	2	生涯発達とは何か 予習:(90分)生涯発達の考え方について調べる。 復習:(90分)エリクソンの発達段階論について確認する。発達課題と危機を理解する意義について理解する。													
	3	愛着の形成 予習:(90分)愛着とはなにか、愛着の構築が人間に及ぼす影響を調べる。 復習:(90分)愛着が人の発達においてどのような役割を果たすのか確認すること。また愛着障害の特徴について把握する。													
	4	知覚の発達 予習:(90分)お腫のなかで胎児がどのように発達するのか調べてみる。 復習:(90分)胎児と乳児の視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の特徴について確認する。													
	5	乳幼児の体と心の発達の関係 予習:(90分)乳児の運動機能はどのように成長するのか調べる。 復習:(90分)神経系の発達の仕組みと運動の関係(不随意運動と随意運動)を理解する。													
	6	認知機能の発達(ピアジェの認知発達段階:感覚運動期) 予習:(90分)ピアジェは認知発達理論において人間の認知がどのように発達していくと考えたのか調べる。 復習:(90分)感覚運動期の特徴(物の永続性、AnotEエラー)について理解する。													
	7	認知機能の発達(ピアジェの認知発達段階:前操作期・具体的操作期・形式的操作期) 予習:(90分)小学生のときの学習方法について、中・高・大学生の学習方法との違いを考え調べる。 復習:(90分)小学校低学年の認知の特徴、小学生が物事を理解するにはどのようなことに気を付ければよいか理解する。													
	8	会話の発達 予習:(90分)心理学における共同注意について調べ、会話において意図の理解がどのように関係するか調べる。 復習:(90分)共同注意、言葉を話すプロセス、指さしは何を意味するか理解する。													
	9	自己理解の発達 予習:(90分)ナイサーによる5つの自己概念について調べる。 復習:(90分)乳児が自己理解に至る過程、感情発達モデル、自己制御について理解する。													
	10	他者理解の発達 予習:(90分)心の理論とはなにか、また心の理論の獲得を調べる方法を調べる。 復習:(90分)心の理論と誤信念課題、思いやりの嘘、道徳的判断の発達について理解する。													
	11	発達の障害①(発達障害) 予習:(90分)発達障害について調べる。発達障害の方と接した経験について考えてみる。 復習:(90分)自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症のそれぞれの特徴と支援の考え方を理解する。													
	12	発達の障害②(共生社会を考える) 予習:(90分)発達障害を抱える方の実際の書籍を読んだり動画を見て、どのような生きづらさを抱えているか調べる。 復習:(90分)自閉スペクトラム症の特徴、周囲の理解と対応においてどのようなことが重要か、考える。													
	13	発達の障害③(インクルーシブ保育) 予習:(90分)インクルーシブ保育について調べること。 復習:(90分)発達特性を持つ子どもに対して、どのような支援ができるのか自分の考えをまとめる。													
	14	保育者の発達について考える 予習:(90分)対人援助職のバーンアウトについて調べる。 復習:(90分)バーンアウトしないために自分自身でどのようなことに気を付けるべきか考える。													
	15	まとめ、解説、保育観のグループワーク 予習:(90分)授業で得た知識について振り返り、自分自身の成長した点を考える。 復習:(90分)授業で身につけた知識をどのように生かしていくかを考える。													
教科書・教材	特になし。														
参考書・参考文献等	坂上裕子ら(著)「問いからはじめる発達心理学 生涯にわたる育ちの科学」(有斐閣) 遠藤利彦ら(著)「乳幼児のこころ 子育て・子育ての発達心理学」(有斐閣アルマ)														
履修上の注意等	配布資料はよく整理し保管しておくこと。														
実務経験との関連	実務経験の有無	無													

【2207】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
ピアノ基礎 I			演習	一戸智之	1年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士								
1	15	30	1													
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》						期末試験	80	有		
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	期末レポート		
	○	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	授業内小テスト	10	有
														授業内提出物	10	有
														授業内活動	10	有
														その他		
														計	100	
														フィードバックの方法		
														毎時間提出を課している実技レッスン記録表は、担当教員が毎週のレッスン時に確認し、返却する。前期末実技試験終了後、教員による講評と履修者全員で振り返りを行うとともに、個別的指導を通じて各々の課題を明確化し、継続的な取り組みを促進する。		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		音楽理論、音楽用語、基礎的なピアノ奏法									アクティブラーニングの有無 (内容)		有		
	《汎用的技能》		鍵盤楽器の基礎的表現、伴奏法													
	《態度・志向性》		計画的、協調学習													
授業概要	保育・初等教育において子どもの音楽的活動を豊かに展開していくために必須とされるピアノの基礎的な奏法を学習し、教材の伴奏等ができる基礎力を養成するとともに、様々な拍子やリズムの形態など、音楽理論および音楽用語等の知識を高め、鍵盤楽器の特性について深く掘り下げていく。また、各人の音楽能力に応じた少人数のグループによる協調学習を取り入れ、学習者基盤の学びを通して教育現場で即応できる汎用的な奏法力を養成する。なお、受講者のピアノ/実技経験は個人によって格差があるため、使用テキストはあらかじめ本人の希望申告による教員との相談によって決定する。											グループワーク、グループディスカッション、協調学習				
授業の 到達目標	①第15回目の最終授業日までにバイエルピアノ教則本35番まで終了し、前期15回の授業を通じて基礎的なピアノ奏法及びピアノ表現に関する基礎知識や技能の修得がなされ、ピアノ演奏技能を問う前期期末実技試験において、これらの学習成果に基づいた適切な演奏ができていく。 ②毎週提出を課しているレッスン記録表の活用が十分になされている。 ③予習・復習をして毎週の授業に臨んでいる。 ④音楽的感性と表現力を養い、幼児・児童期の音楽教育の目的を理解している。															
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。															
授業計画 (予習、復習の内容 ・時間含む)	回	内 容														
	1	本授業の目的、概要と計画 予習:(80分)入門者及び初心者にはテキスト(全訳バイエルピアノ教則本)を購入し、9ページまでを通読しておく。中級者以上はこれまで演奏した曲を練習しておく。 復習:(80分)テキスト9ページまで再読し、譜表の読み方、譜表と鍵盤の位置、音符と休符の種類と長さについて理解する。														
	2	音部記号、音符と休符の長さ、連符番号について 予習:(80分)音符と休符の種類と長さについて理解する。「全訳バイエルピアノ教則本」10～11ページを練習する。中級者以上は各自指定された曲を練習する。 復習:(80分)5指の正しいフォームを意識しながら、音符の長さやリズムを正確に弾けるように練習する。														
	3	右手の指の打鍵練習、鍵盤と音名の関係 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」13及び15ページを練習する 復習:(80分)5指の正しいフォームを意識し、音符と休符の長さやリズムを正確に弾けるように練習する。														
	4	左手の指の打鍵練習、スラーとレガートについて 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」17及び19ページを練習する 復習:(80分)5指の正しいフォームを意識し、スラーとレガートを保つことができるよう練習する。														
	5	両手による打鍵練習、反復記号、フレーズについて 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.3～7を練習する 復習:(80分)5指と手首の正しいフォームを意識し、フレーズ感のある演奏を目指す。														
	6	拍子記号について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.8～9を練習する 復習:(80分)5指と手首の正しいフォームを意識し、スラーの位置に気を付けながら練習する。														
	7	速度記号について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.10～11を練習する 復習:(80分)左手3の指の正しいフォームを意識し、スラーの位置に気を付けながら練習する。														
	8	ユニゾン奏の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.12～15を練習する 復習:(80分)正しいテンポ感を保ち、レガートとメソスタッカートの違いを意識しながらフレーズ感のある演奏を目指す。														
	9	2度音程の順次進行から3度音程へ 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.16～18を練習する 復習:(80分)右手の旋律を歌いながら練習する。No.18は左手の重音の正しい奏法を意識しながら練習する。														
	10	6度の響きとアーティキュレーション、旋律+伴奏の形式、分散和音の伴奏形の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.19～21を練習する 復習:(80分)スタッカートとスラーの違いを意識しながら練習する。No.21は左手の分散和音をレガートで弾けるように練習する。														
	11	平行進行と反進行の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.22～25を練習する 復習:(80分)左右の音量のバランスに注意し、旋律のレガートを心掛けフレーズ感のある演奏を目指す。														
	12	タイの奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.26～29を練習する 復習:(80分)No.28は、テンポ感と指のフォームに注意しながら練習する。No.39は、タイの奏法を確認する。														
	13	加線について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.30～33を練習する 復習:(80分)加線の読み方を理解する。														
	14	左手のポジションについて 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」No.34～35を練習する 復習:(80分)No.35は、左手の連指のポジションを確認する。これまでピアノ奏法について学修したポイントを整理する。														
	15	前期期末実技試験に向けてのリハーサル及び注意事項の確認 予習:(90分)これまで学修したピアノ奏法のポイントについて確認・整理し、試験課題曲に生かしながら練習する。 復習:(90分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、協調学習を通して改善すべき点を明確化し共有する。														
教科書・教材	入門者及び初心者には「全訳バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社)を中心に使用する。すでにバイエル終了程度の実力を有する受講者は、以下の教材を各人の演奏レベルに応じて選曲し、より高度な汎用的ピアノ技能の獲得を目指す。また、適宜、オリジナルの技能習得テキストや歌唱教材を併用し、グループ学習を促進する。主要テキスト:「全訳バイエルピアノ教則本」「ブルグミュラー25の練習曲」 「ソナチネアルバム I」 「モーツァルトソナタアルバム I・II」(以上、全音楽譜出版社)															
参考書・ 参考文献等	「この一冊でわかるピアノ実技と楽典」(音楽之友社)															
履修上の 注意等	①使用テキストは、初回の授業の中で各人との相談によって決定します。 ②各回の内容については、各人の学習状況により変更する場合があります。															
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	ピアノ指導者協会における指導及び専属ピアニストとして演奏の経験を持つ教員が、ピアノの基礎的な知識と技能、教材の伴奏方法などについて指導する。													

【2208】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
ピアノ基礎Ⅱ			演習	一戸智之	1年	後期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
1	15	30	1						期末試験 70 有 期末レポート 授業内小テスト 10 有 授業内提出物 10 有 授業内活動 10 有 その他 計 100 フィードバックの方法		
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、その課題を解決する能力》
	○	—	—	○	—	—	○	○	—	—	—
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		音楽理論、音楽用語、基礎的なピアノ奏法								
	≪汎用的技能≫		鍵盤楽器の基礎的表現、伴奏法								
	≪態度・志向性≫		計画的、協調学習								
授業概要	保育・初等教育において子どもの音楽的活動を豊かに展開していくために必須とされるピアノの基礎的な奏法を学習し、教材の伴奏等ができる基礎力を養成するとともに、様々な拍子やリズムの形態など、音楽理論および音楽用語等の知識を高め、鍵盤楽器の特性について深く掘り下げていく。また、各人の音楽能力に応じた少人数のグループによる協調学習を取り入れ、学習者基盤の学びを通して教育現場で即応できる汎用的な奏法力を養成。なお、受講者のピアノ/奏技経験は個人によって格差があるため、使用テキストはあらかじめ本人の希望申告による教員との相談によって決定する。										
授業の到達目標	①第15回目の最終授業日までにバイエルピアノ教則本60番まで終了し、前期15回の授業を通じて基礎的なピアノ奏法およびピアノ表現に関する基礎知識や技能の修得がなされ、ピアノ演奏技能を問う前期期末実技試験において、これらの学習成果に基づいた適切な演奏ができる。 ②毎週提出を課しているレッスン記録表の活用が十分になされている。 ③予習・復習をして毎週の授業に臨んでいる。 ④音楽的感性と表現力を養い、幼児・児童期の音楽教育の目的を理解している。										
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	前のフレーズの終わりの音と、次のフレーズのはじめの音が重なっている場合の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.36～37を練習する 復習:(80分)右手のスラーのかかり方に注意しながら練習する。									
	2	A-B-A-B形式の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.38～39を練習する 復習:(80分)左手のレガートを保ちながら右手の旋律をよく響かせながら練習する。									
	3	ユニゾン奏法の練習 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.40～43を練習する 復習:(80分)№.40は、スラーとフレーズを意識して練習する。№.41～43は、スラーのかかり方に注意し、全体に柔和にまとめる。									
	4	オクターブ記号について、8分音符の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.44～45を練習する 復習:(80分)オクターブ記号、8分音符の奏法について理解し、粒をそろえて無理なく弾けるよう練習する。									
	5	反復記号について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.46～47を練習する 復習:(80分)左手の分散和音の連指番号とタイに気を付けながら練習する。反復記号を理解する。									
	6	付点4分音符と付点2分音符の奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.48～50を練習する 復習:(80分)付点4分音符と付点2分音符の違いを理解し、正しいリズムで演奏できるよう練習する。									
	7	後期中間実技試験に向けてのリハーサル及び注意事項の確認 予習:(90分)これまで学修したピアノ奏法のポイントについて確認・整理し、試験課題曲に生かしながら練習する。 復習:(80分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、協調学習を通して相互に課題を明確化し共有する。									
	8	後期中間実技試験及び振り返り(最低到達目標はバイエルピアノ教則本50番とする) 予習:(90分)試験課題曲について改善すべき点を確認し、弾き直しがないように十分練習する。 復習:(80分)グループワークを通して試験課題曲の演奏を振り返り、改善点を洗い出し、第9回目以降の到達目標及び練習計画を立てる。									
	9	8分の6拍子と4分の4拍子について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.52～53を練習する 復習:(80分)8分の6拍子と4分の4拍子の違いを理解し、正しい拍子感で演奏できるようにする。									
	10	へ音記号の読み方 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.54～55を練習する 復習:(80分)へ音記号について理解する。右手と左手はアクセントが付かないようめらかに演奏できるようにする。									
	11	強弱記号について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.56～57を練習する 復習:(80分)リズムが崩れないよう強弱の変化を意識しながら練習する。									
	12	クレシェンド、ディミヌエンド、デクレシェンドの奏法 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.58～59を練習する 復習:(80分)クレシェンド、ディミヌエンド、デクレシェンドの奏法を理解する。									
	13	8分の3拍子について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.59～60を練習する 復習:(80分)№.60はこれまで学修した内容が網羅されていることから、正確に読譜できるよう練習する。									
	14	メトロノームの活用について 予習:(80分)「全訳バイエルピアノ教則本」№.61～62を練習する 復習:(80分)メトロノームの活用方法について理解する。									
	15	後期期末実技試験に向けてのリハーサル及び注意事項の確認 予習:(90分)これまで学修したピアノ奏法のポイントを確認・整理し、試験課題曲に生かしながら練習する。 復習:(90分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、協調学習を通して改善すべき点を明確化し共有する。									
教科書・教材	入門者及び初心者には「全訳バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社)を中心に使用する。すでにバイエル終了程度の実力を有する受講者は、以下の教材を各人の演奏レベルに応じて選曲し、より高度な汎用的ピアノ技能の獲得を目指す。また、適宜、オリジナルの技能習得テキストや歌唱教材を併用し、グループ学習を促進する。主要テキスト:「全訳バイエルピアノ教則本」「ブルグミュラー25の練習曲」/ソナチネアルバムⅠ /「モーツァルトソナチネアルバムⅠ・Ⅱ」(以上、全音楽譜出版社)										
参考書・参考文献等	「この一冊でわかるピアノ実技と楽典」(音楽之友社)										
履修上の注意等	①使用テキストは、初回の授業の中で各人との相談によって決定します。 ②各回の内容については、各人の学習状況により変更する場合があります。										
実務経験との関連	実務経験の有無	有	ピアノ指導者協会における指導及び専属ピアニストとして演奏の経験を持つ教員が、ピアノの基礎的な知識と技能、教材の伴奏方法などについて指導する。								

【2211】 専門教育科目 専門に関する科目		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科							
被服の基礎実習		実習		葛西美樹・工藤寧子		1年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無				
			必修		選択			小学校	幼稚園	保育士					
1	8	30	1								期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力					≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》				
	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—				○	○
	≪知識・理解≫ 基礎知識の習得		授業内提出物はコメントを記し返却する。												
	≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		応用能力 アクティブラーニングの有無(内容) 有												
授業概要		日々の生活において布を用いた製作に関する技能の習得は、我々の暮らしをより豊かにするために必要なスキルである。また、免許・資格を取得するための実習時や就職後も実践・活用できる応用能力を身に付けることを目指す。										グループワーク			
授業の到達目標		1. 道具の使い方を身に付ける 2. 基本の縫い方を身に付ける 3. 身に付けた知識・技能を実践できる応用力の習得													
単位認定の要件		到達目標1～3の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容												
		1	授業の概要、実習室の使用方法 (葛西・工藤) 手縫いの基礎(玉結び、玉どめ、並縫い) 予習:(0分) 復習:(45分) 並縫いを終わらせる												
		2	A班 布の絞り方の基礎 (葛西) → ミシンの使い方 基礎 (工藤) B班 ミシンの使い方 基礎 (工藤) → 布の絞り方の基礎 (葛西) 予習:(0分) 復習:(90分) 布の絞り強さを確認する												
		3	A班 染色 (葛西) B班 小物入れの製作①(布の裁断、しるし付け、かがり縫い) (工藤) 予習:(0分) 復習:(50分) かがり縫いを終わらせる												
		4	A班 小物入れの製作①(布の裁断、しるし付け、かがり縫い) (工藤) B班 染色 (葛西) 予習:(0分) 復習:(50分) かがり縫いを終わらせる												
		5	A班 衣服の保健衛生的機能の理解(実験) (葛西) B班 小物入れの製作②縫製(ミシン縫い、返し縫い、ステッチ、ボタン付け) (工藤) 予習:(45分) ミシンの使い方を確認 復習:(45分) 実験レポートの作成												
		6	A班 小物入れの製作②縫製(ミシン縫い、返し縫い、ステッチ、ボタン付け) (工藤) B班 衣服の保健衛生的機能の理解(実験) (葛西) 予習:(45分) ミシンの使い方を確認 復習:(45分) 実験レポートの作成												
		7	オリジナル名札の製作①縫製(手縫い・ステッチの応用) (葛西・工藤) 予習:(40分) オリジナル名札のデザインを考える 復習:(70分) 名札の手縫い部分を終わらせる												
		8	オリジナル名札の製作②仕上げ、発表 (葛西・工藤) 予習:(90分) 名札のステッチの種類や配色を考える 復習:(0分)												
教科書・教材		授業時に資料を配布する。													
参考書・参考文献等		特になし													
履修上の注意等		前時の課題を終えてくること。提出期限を守ること。													
実務経験との関連		実務経験の有無	無												

【2212】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
調理の基礎実習			実習	山田和歌子	1年	前期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無								
			必修	選択				小学校	幼稚園	保育士									
1	8	30	1								期末試験	無							
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》					《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	無						
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化	文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク		リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト	無		
	○	○	—	○	—	—	○	○	—	○		○	—	—	○	○	授業内提出物	50	有
	○	○	—	○	—	—	○	○	—	○		○	—	—	○	○	授業内活動	50	有
											計	100							
											フィードバックの方法								
当該科目のキーワード			《知識・理解》		基礎知識の習得								授業内提出物はコメントを付して次回以降の講義内で解説・返却する。授業内活動(実習)は授業内で評価を行い、解説する。						
			《汎用的技能》		コミュニケーション能力の向上								アクティブラーニングの有無(内容)		有				
			《態度・志向性》		応用能力														
授業概要			日々の生活において調理に関する技能の習得は、暮らしをより豊かにするために必要なスキルである。免許・資格を習得するため、実習時や就職後も実践・活用できる応用力を身に付けることを目指す。									グループディスカッション							
授業の到達目標			調理の基礎的な操作である炊飯やだしの取り方、食材の切り方などの調理技術を習得し、日常食の調理技術を実践を通して身につける。日々の食事に関心を寄せ、献立・調理法への理解を深める。																
単位認定の要件			提出物、実習への取り組みを総合的に判断し、60%以上の習得とする																
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)			回	内 容															
			1	ガイダンス 講義概要、実習心得、実習室の使い方 予習:(30分) シラバスを読み、授業概要と授業の到達目標を理解する 復習:(30分) 配布プリント等を読み、次回以降の実習が円滑に進むようシミュレーションを行う															
			2	炊飯の原理、だしのとり方、野菜の切り方、ごはん、豚汁 予習:(30分) 混合だしのとり方、食材の切り方と名称を調べ理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる															
			3	日本料理① いわしのかば焼き丼 豆腐となめこのみそ汁 きゅうりとわかめの酢の物 予習:(30分) いわしの手開き、煮干しだしのとり方を理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる															
			4	日本料理② 炊き込みご飯 かきたま汁 ほうれん草のお浸し 予習:(30分) 炊飯方法(味付き飯)、青菜の茹で方のポイントを理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる															
			5	西洋料理① スパゲッティ・ナポリタン グリーンサラダ オレンジゼリー 予習:(30分) ドレッシングについて、寒天の調理法について理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる															
			6	西洋料理② チキンピラフ ポテトポタージュ ヨーグルトサラダ 予習:(30分) 濃度のあるスープの作り方について理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる															
			7	中国料理① 涼麺 牛奶豆腐 中国茶 予習:(30分) 麺の調理、茶葉に適したお茶の淹れ方について理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる															
			8	おやつ献立 クレープ ティーパンチ まとめ 予習:(30分) 小麦粉の調理性、卵の調理性について理解する 復習:(30分) 実習内容、調理のポイント、感想などを実習ノートにまとめる															
教科書・教材			食品解説つき 八訂準拠 ビジュアル食品成分表 その他必要な資料は適宜印刷して配布します																
参考書・参考文献等			改訂 調理学実習 第3版 流れと要点がわかる 調理学実習(光生館) NEW調理と理論第二版(同文書院)																
履修上の注意等			食物アレルギーがある場合は必ず申し出ること。状況により、メニューや食材が変更になる場合があります。なお、実習費は別途集めます。																
実務経験との関連			実務経験の有無	無															

【2220】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
基礎ゼミ I			演習	齋藤雅俊・他	1年	前期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30	1						期末試験	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート 40 無 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 30 無 その他 計 100 フィードバックの方法
	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		大学の学び・進路選択に関わる知識							コメントペーパー、ワークシート等授業内提出物、期末レポートの返却 アクティブラーニングの有無(内容) 有
	≪汎用的技能≫		学びをより深めるために必要なスキル							
	≪態度・志向性≫		主体的で対話的な学びに向かう態度							
授業概要	10年20年とAI・オートメーション化がどれだけ進展しようとも、決してなくなる職(医療、福祉、教育・保育)の一角を担う人材となるためには、知識・技能もさることながら、なによりも「人間力」を豊かに涵養する必要がある。機械では代用できないこうした力をこれからの4年間で身につけていくための「最初の一歩」となるスタートカリキュラムが本授業である。これから卒業まで苦楽を共にする仲間との親睦を深めながら、グループワーク等を通して大学の学びに必要な基礎を培う。									
授業の到達目標	①大学の学びに必要な知識・技能・態度といった学士力の基礎を身につけることができる。 ②グループワーク等を通して教員・保育士に必要な不可欠な協調性といった人間力を培うことができる。 ③学内外のさまざまな行事や活動に積極的に参加する重要性や意義を理解できる。 ④意欲や希望をもって自らの研究テーマ、進路や将来について考えを深めることができる。									
単位認定の要件	期末レポート(40点) + ワークシート等授業内提出物(30点) + 授業内活動(30点) = 60点以上									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	新入生オリエンテーション① こども発達学科紹介、学生生活・授業の履修等について(こども発達学科長、学生課・学務課長 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	2	新入生オリエンテーション② 授業の履修登録票の記入について(学務課協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	3	新入生オリエンテーション③ 図書館の利用について リファレンスの仕組み・利用法等(図書館長、図書館職員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	4	大学における学びとは?…3つのポリシー、一年次前期の概要等(学務課協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	5	小・幼・保 課程履修ガイダンス…課程履修・学外実習・4年間のスケジュール等についての概説(小・幼教職課程委員会・保育士課程委員会教員、学務課協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	6	「研修会」準備① 事前ガイダンス(クラス主任、学生課協力教員) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	7	「研修会」準備② グループワーク(冊子作成等)(クラス主任、学生課協力教員) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	8	「研修会」講話(クラス主任 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	9	「研修会」座談会(グループディスカッション等)(研修会参加教員) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	10	「研修会」反省と振り返り・アンケート記入等(クラス主任 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	11	ポートフォリオガイダンス① ポートフォリオとは?(学務課協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	12	ポートフォリオガイダンス② 実際に記入してみよう(学務課協力教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	13	進路ガイダンス…4年間を通した就職活動の見通しについて(学生課協力教員、小・幼教職課程委員会・保育士課程委員会教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	14	メンタルヘルスについて① 一人で悩まないで…学生支援室・保健室の利用等(学生支援室教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
	15	メンタルヘルスについて② 一年次前期終了を迎えて…ストレスチェックと簡単なメンタルケア(学生支援室教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)								
教科書・教材	授業中に、適宜紹介する。									
参考書・参考文献等	授業中に、適宜紹介する。									
履修上の注意等	授業内における活動が重要であるため、積極的な出席・参加を求める。なお、欠席する場合の欠課届はクラス主任に提出すること。開講日時が異動する回が多いため、掲示板を常に確認する癖をつけること。									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	研修会の講話の際、実務家教員が担当した場合は自分の経験を踏まえた講話を行う。							

【2221】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科					
基礎ゼミⅡ			演習	齋藤雅俊・他	1年	後期	こども発達学科					
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士					
1	15	30	1									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末試験		
	○	—	○	○	○	○	○	○		○	○	○
当該科目の キーワード	≪知識・理解≫		大学の学び・進路選択に関わる知識						ワークシート、コメントペーパー等 授業内提出物の返却			
	≪汎用的技能≫		学びをより深めるために必要なスキル									
	≪態度・志向性≫		主体的で対話的な学びに向かう態度									
授業概要	10年20年とAI・オートメーション化がどれだけ進展しようとも、決してなくなる職(医療、福祉、教育・保育)の一角を担う人材となるためには、知識・技能もさることながら、なによりも「人間力」を豊かに涵養する必要がある。機械では代用できないこうした力をこれからの4年間で身につけていくための「最初の一歩」となるスタートカリキュラムが本授業である。これから卒業まで苦楽を共にする仲間との親睦を深めながら、グループワーク等を通して大学の学びに必要な基礎を培う。							メンタルヘルス回でのグループワーク等				
授業の 到達目標	①大学の学びに必要な知識・技能・態度といった学士力の基礎を身につけることができる。 ②グループワーク等を通して教員・保育士に必要な不可欠な協調性といった人間力を培うことができる。 ③学内外のさまざまな行事や活動に積極的に参加する重要性や意義を理解できる。 ④意欲や希望をもって自らの研究テーマ、進路や将来について考えを深めることができる。											
単位認定の要件	期末レポート(40点)＋ワークシート等授業内提出物(30点)＋授業内活動(30点)＝60点以上											
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容										
	1	後期オリエンテーション…前期の振り返りと後期の概要等について(クラス主任 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	2	メンタルヘルスについて③ 大学祭等の集団活動に際して…人間関係を円滑にする対人スキル(学生支援室教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	3	メンタルヘルスについて④ 自信・意欲・自己肯定感を高めるためには?(学生支援室教員 他) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	4	小論文・レポートの書き方① 小論文と感想文の違い、論文作法等(学務課協力教員) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	5	小論文・レポートの書き方② 例文参照・解説(学務課協力教員) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	6	小論文・レポートの書き方③ 実際に書いてみよう(学務課協力教員) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	7	学外実習に向けて身につけておきたい基本的マナーについて(小・幼教職課程委員会・保育士課程委員会教員) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	8	卒業研究 研究室配属について…2年次以降の学びに向けて(こども発達学科長、こども発達学科長補佐、クラス主任) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	9	研究室配属に向けて① こども発達学科各教員の研究領域と各研究室配属学生の卒業研究テーマ(こども発達学科教員グループA)※第9～13回はこども発達学科教員を5グループに分け実施する。2年次にじっくり研究テーマを考える手がかりとする。 予習:(なし) 復習:(なし)										
	10	研究室配属に向けて② こども発達学科各教員の研究領域と各研究室配属学生の卒業研究テーマ(こども発達学科教員グループB) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	11	研究室配属に向けて③ こども発達学科各教員の研究領域と各研究室配属学生の卒業研究テーマ(こども発達学科教員グループC) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	12	研究室配属に向けて④ こども発達学科各教員の研究領域と各研究室配属学生の卒業研究テーマ(こども発達学科教員グループD) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	13	研究室配属に向けて⑤ こども発達学科各教員の研究領域と各研究室配属学生の卒業研究テーマ(こども発達学科教員グループE) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	14	卒業研究 研究発表会(見学)(クラス主任) 予習:(なし) 復習:(なし)										
	15	卒業研究 研究発表会(振り返り)(クラス主任) 予習:(なし) 復習:(なし)										
教科書・教材	授業中に、適宜紹介する。											
参考書・ 参考文献等	授業中に、適宜紹介する。											
履修上の 注意等	授業内における活動が重要であるため、積極的な出席・参加を求める。なお、欠席する場合の欠課届はクラス主任に提出すること。開講日時が異動する回が多いため、掲示板を常に確認する癖をつけること。											
実務経験との 関連	実務経験の有無	有	研究室配属に向けての説明の際、実務家教員が自分の経験を踏まえた講話を行う。									

[2231] 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科				
家庭管理学			講義	宮野洋子	1年	前期	こども発達学科				
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無		
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士			
2	15	30		2					期末試験	無	
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	<<知識・理解>> 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		<<汎用的技能>> コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			<<態度・志向性>> 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					期末レポート 30 有 授業内小テスト 20 有 授業内提出物 25 有 授業内活動 25 有 その他
	○		○			○					計 100
	フィードバックの方法										
当該科目のキーワード	<<知識・理解>> 自分、家族、生活		<<汎用的技能>> 生活課題を解決する能力			<<態度・志向性>> 持続可能な生活を実践しようとする態度					授業内小テスト・提出物は、採点し、授業内でコメントする。グループ活動は、活動終了時に授業内でコメントする。期末レポートは、採点后コメントを付けて返却する。
授業概要	生活者の日々の営みである暮らしには諸科学の知見が反映され、生活者はそれらの恩恵を享受してきた。一方、暮らしは時代とともに変遷し、近年では少子高齢化、女性の就業率の高まり、個の尊重などを背景に、生活者が求める“より望ましい暮らし”や“より快適な暮らし”は今まで以上に多様化している。本講義では、暮らしの変遷を概観し、暮らしが家庭や地域とのかかわりなどを含む様々な要素から成り立っていることを理解し、暮らしについて総合的・多面的に学習する。								グループディスカッション、グループワーク		
授業の到達目標	①生活(暮らし)について理解する。 ②生活管理・生活経営について理解する。 ③①と②を踏まえ、自分の生活をみつめ、“より望ましい快適な生活”にするための課題を見出し、それを実践しようとする。										
単位認定の要件	到達①~③をはかる授業内小テスト、提出物、期末試験等の合計が60点以上。										
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容									
	1	オリエンテーション 予習:シラバスを読み各講義の内容を理解する(90分) 復習:本日の講義からキーワードを1つ選択し、自分で調べまとめる(90分)									
	2	「生活」「生活する」を考える 予習:自分のこれまでの生活における変容等について実生活を踏まえてまとめる(90分) 復習:「生活」とはなにかを考えまとめる(90分)									
	3	生活の変容 予習:あなたの家族を中心に考え、家族についてまとめる(90分) 復習:本日の講義からキーワードを1つ選択し、まとめる(90分)									
	4	生活の基盤をつくる① 家族・家庭 予習:自分のおくすかいを調べまとめる(90分) 復習:講義した家族の定義と自分の考える家族とを対照しまとめる(90分)									
	5	生活の基盤をつくる② 家計の管理とライフプランニング 予習:自分の生活時間を「日・1週間ごと」に記録する(90分) 復習:講義中に提示するキーワードについてまとめる(90分)									
	6	生活の基盤をつくる③ 生活時間の変化と管理 予習:衣生活における課題等をまとめる(90分) 復習:事前に調査した生活時間とグループの人のそれを対照し、自分の生活時間についてレポートする(90分)									
	7	生活を営む① 衣生活の経営 予習:衣生活の管理における自身の課題を明らかにする(90分) 復習:講義中に提示するキーワードについてまとめる(90分)									
	8	生活を営む② 衣生活の管理 予習:自身の食生活実態(1週間の時間と内容)を記録する(90分) 復習:衣生活管理で重要と思われることをまとめる(90分)									
	9	生活を営む③ 食生活の実態 予習:現状の食生活をより向上させるための解決方法を検討しまとめる(90分) 復習:望ましい食生活と自身の食生活を対照し、問題・課題を明らかにする(90分)									
	10	生活を営む④ 食生活の管理 予習:「現在住んでいる家」の長所・短所を述べ、「住みたい家」をその理由とともに具体的にまとめる(90分) 復習:前時の課題解決方法を検証し、それ以外の方法についても検討しまとめる(90分)									
	11	生活を営む⑤ 住生活の経営・管理 予習:「住みたい家」をその理由とともに具体的にまとめる(90分) 復習:自身が考える快適な/望ましい住生活を具体的に記入する(90分)									
	12	生活の基盤をつくる④ 生活のなかのジェンダー・婚姻と法律 予習:ジェンダーについて調べ、自身の考える男女共同参画社会についてまとめる(90分) 復習:男女共同参画社会実現に向けて必要と思われることをまとめる(90分)									
	13	生活の基盤をつくる⑤ 生活環境 予習:身近な環境問題をあげ、レポートを作成する(90分) 復習:講義中に提示するキーワードについてまとめる(90分)									
	14	生活の基盤をつくる⑤ 生活環境 予習:衣食住などの身近な環境問題をあげ、問題点をまとめる(90分) 復習:講義中に提示するキーワードについてまとめる(90分)									
	15	これからの生活を展望する 予習:自身の生活で最も重要視していることを明らかにする(90分) 復習:これからの生活について様々な視点から検討しまとめる(90分)									
教科書・教材	特になし。										
参考書・参考文献等	特になし。講義内で適時資料等を提示。										
履修上の注意等	・授業計画(順序)は変更される場合がある。 ・予習・復習の内容は、講義の進み具合等により変更される場合がある。 ・新聞記事やニュース等に常に興味をもち、その内容について自分の考えや意見が言えるようにすること。										
実務経験との関連	実務経験の有無	無									

【2232】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
被服学			講義	葛西美樹	1年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
2	15	30		2					期末試験 30 有					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》					
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力		チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力
	○	—	○	—	—	—	○	—	—	—	—	○	○	○
当該科目の キーワード	《知識・理解》		快適な衣生活の基礎的学習							期末試験は試験後に正答を提示する。授業内小テスト、提出物、活動は授業内でコメントする。				
	《汎用的技能》		衣生活の課題への関心と解決											
	《態度・志向性》		持続可能な社会を築く一員であることの自覚											
授業概要	衣服の起源や役割、安全性、機能性など、ヒトが生理的、心理的、物理的に調和された快適な衣生活を送るための基礎的事項を学ぶ。特に生涯を通して健康で安全に生活するために、ライフステージの特徴を理解し適切な衣服の選択の重要性について理解を深める。また、多様化の進む複雑な現代の衣生活に目をむけ、真に豊かで、合理的な衣生活の構築を目指し学習する。													
授業の到達目標	① 衣服の機能を知る。 ② 衣服素材の種類や特徴について知る。 ③ 様々な環境に応じて適切に衣服を選択し、管理できる実践力、応用力を身につける。													
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容												
	1	授業概要、到達目標など 予習:(20分) シラバスを確認する。 復習:(160分) 授業内容を振り返る。												
	2	衣服と生活 1. 衣服の機能 予習:(90分) 小・中・高で学習した衣服の機能について確認する。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	3	衣服と生活 2. 衣服と繊維素材の起源、衣服の変遷 予習:(90分) 自身が知っている繊維素材についてまとめる。 復習:(90分) 授業内容を振り返り、衣服の変遷と構成の関係を理解する。												
	4	衣服と素材 1. 繊維 予習:(0分) 復習:(180分) 繊維の種類と特徴について覚える。(小テストの予定あり)												
	5	衣服と素材 2. 糸 3. 布 予習:(0分) 復習:(180分) 糸標本・三原組織の標本を完成させる。												
	6	現代生活と衣服 予習:(90分) トレンドファッションについて雑誌や広告を見る。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	7	衣服と印象(色彩とデザイン) 予習:(90分) 自分の好きな色が持つイメージについて調べる。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	8	衣服素材の性能 予習:(90分) 自身が知っている衣服素材の性能についてその意味を調べる。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	9	衣服素材と季節 予習:(90分) 季節と関係のある性能について調べる。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	10	衣服の管理 予習:(90分) 自身の衣服の管理方法について考える。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	11	衣服と表示 予習:(90分) 自身の衣服のタグの写真を撮る。 復習:(90分) 繊維に応じた衣服の管理方法についてレポートにまとめる。												
	12	衣服と安全性 予習:(40分) 子ども服の安全性について、指定した動画を視聴する。 復習:(140分) 授業内容を振り返る。												
	13	ライフステージに応じた衣服の選択 予習:(90分) 高齢者の身体的特徴について調べる。 復習:(90分) 授業内容を振り返る。												
	14	衣服と社会環境 予習:(90分) 自身の衣生活を振り返る。 復習:(90分) 授業内容を振り返り、課題を完結する。												
	15	持続可能な社会を目指した衣生活 予習:(90分) SDGsと衣服について調べる。 復習:(90分) 衣服が直接または間接的に社会環境に及ぼす影響について考え、まとめる。												
教科書・教材	特になし													
参考書・参考文献等	特になし													
履修上の注意等	衣生活の課題を見つけ解決するための方策を考えるなど、衣服に興味をもち、その理解に努めることを期待する。発表や演習など、グループワークを行なうこともある。													
実務経験との関連	実務経験の有無	無												

【2233】 専門教育科目 専門に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科									
食物学			講義	吉村小百合	1年	前期	こども発達学科									
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無						
			必修		選択		小学校	幼稚園	保育士							
2	15	30			2					期末試験		無				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に自ら設定し、適切な課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	100	有		
	○		—		○		—		—			—		授業内小テスト		無
	—		○		—		—		—			—		授業内提出物		無
	—		—		—		—		—			—		授業内活動		無
—		—		—		—		—		—		その他		無		
—		—		—		—		—		—		計	100			
フィードバックの方法																
当該科目のキーワード		≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫		食・栄養と健康 食に係わる問題の理解 食に関する興味を持ち、食への関心を高める							連絡、面談、提出物等への解答					
授業概要		食生活・食文化、栄養素、生活習慣病等の関わりについて食物学を学び、食に対する理解を深め、青森県の短命についても考える力を身に付ける。									アクティブラーニングの有無(内容)		無			
授業の到達目標		食生活と生活習慣病の関係、栄養素について、食と安全を理解し、課題解決に向けて考える力を身に付ける。														
単位認定の要件		評価が60を超えること														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容													
		1	ガイダンス・子どもの食生活と現状 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		2	食品とは 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		3	食品の機能と味覚 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		4	食と栄養 たんぱく質、アミノ酸 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		5	炭水化物 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		6	脂質 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		7	ビタミン 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		8	ミネラル 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		9	体内における栄養成分の役割および関わり 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		10	エネルギー代謝、食べ物の消化と吸収 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		11	食と安全 食中毒など 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		12	食品の安全 添加物など 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		13	子どもの発達と適した食事および食品～胎児期、乳児期～ 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		14	子どもの発達と適した食事および食品～幼児期、学童期の食生活指針～ 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
		15	短命県青森を少しでも改善する教育(生活習慣病、メタボリックシンドローム) 予習:(90分)授業内容について事前に学習する。内容は前もってPDFを配布する。 復習:(90分)授業内容について振り返りを行う。													
教科書・教材		特になし														
参考書・参考文献等		栄養科学イラストレイテッド「食品学Ⅰ」(羊土社)水品善之 他 編 子どもの食生活 《第6版》(みなみ書房)上田玲子 他 編著														
履修上の注意等		スライドのPDFをあらかじめ配布します。各自スライドを見れるように、準備の上受講するようにしてください。 PCもしくはタブレット、印刷物で持ち込み可														
実務経験との関連		実務経験の有無 無														

【2309】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科			
生活			演習	齋藤昭	1年	後期	こども発達学科			
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無	
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士		
1	15	30		1	○					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定し、自ら課題へ適し、その課題を解決する能力》	
	○	—	○	—	—	○	—	—		—
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫ 生活科の目標・内容 幼児教育との接続		≪汎用的技能≫ 双方向性の伝達と表現			≪態度・志向性≫ 学び合う態度			期末試験 期末レポート 50 有 授業内小テスト 授業内提出物 30 有 授業内活動 20 無 その他 計 100 フィードバックの方法	
授業概要	文部科学省発行の「小学校学習指導要領解説(生活編)」をテキストとして使用し、生活科の目標、学年目標、内容の理解および指導計画の作成等、生活科という教科の全体像の理解を図る。そして、「主体的・対話的で深い学び」という視点から生活科の授業づくりについて考えていく。また、幼児教育と小学校の円滑な接続について、スタートカリキュラムの内容についての理解も深めていく。更に、生活科を核とした教科等横断的な指導について考え、生活科の果たす役割について考えていく。								グループディスカッション、グループワーク	
授業の到達目標	①生活科の目標・内容・指導法を理解する。 ②生活科の授業づくりを「主体的・対話的で深い学び」という観点で考えていく。 ③スタートカリキュラムの内容と指導法を理解する。 ④生活科を核とした教科等横断的な学習のあり方を考えていく。									
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。									
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容								
	1	生活科とは 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	2	生活科の授業づくり 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	3	スタートカリキュラムとは 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	4	「内容(7) 動植物の飼育栽培」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	5	「内容(5) 季節の変化と生活」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	6	「内容(4) 公共物・公共施設」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	7	「内容(3) 地域と生活」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	8	「内容(1) 学校と生活」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	9	「内容(2) 家庭と生活」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	10	「内容(10) 生活や出来事の伝え合い」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	11	「内容(9) 自分の成長」の内容と指導法 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	12	「内容(6) 自然と物を使った遊び」の内容と指導法1(物を使ったおもちゃづくり) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	13	「内容(6) 自然と物を使った遊び」の内容と指導法2(グループで運営するゲームランド) 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	14	生活科学習の「指導と評価の一体化」・生活科と各教科等との関連 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
	15	これからの生活科学習 予習:(15分)Googleクラスルームに掲載した講義資料に目を通し、自分の考えや疑問点をまとめておく。 復習:(30分) 講義資料をもとに講義内容を復習する。								
教科書・教材	小学校学習指導要領解説(生活編)									
参考書・参考文献等	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校 生活) 国立教育政策研究所教育課程研究センター									
履修上の注意等	生活科の学習内容を実際に体験していく中で内容理解と指導法について考えていきます。講義内容は事前にGoogleクラスルームに掲載するので、目を通して自分の考えや疑問点をまとめてから講義に臨んでください。									
実務経験との関連	実務経験の有無	有	小学校現場における指導経験のある教員が、その経験を活かして、実際に学習内容を体験していただくことを大事にし、教材研究の仕方や授業展開の仕方などについて、具体的な授業場面をもとに指導する。							

[2310] 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
音楽 I			演習	一戸智之・諏訪才子	1年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
1	15	30		1		○								
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》					期末試験			
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシー	論理的 思考力	問題 解決力	自己 管理能力	チーム ワーク	リーダー シップ	倫理 観	社会的 責任	生涯 学習 能力	《獲得した能力 を総合的に 利用し、自ら 設定した課題へ 適し、その 課題を解決 する能力》
当該科目の キーワード	《知識・理解》		音楽理論、歌唱法、ピアノ伴奏法、小打楽器の奏法								授業内小テスト	80	有	
	《汎用的技能》		歌唱表現、ピアノ表現、弾き歌いの技能								授業内提出物			
	《態度・志向性》		音楽に対する感性、音楽を愛好する心情								授業内活動	20	有	
授業概要	音楽活動全般の基礎となる読譜力を養い、歌唱及びピアノ伴奏の初歩的な技能を習得する。実践演習では、保育及び初等教育において必須とされる歌唱や弾き歌いの個別指導を多く取り入れ、教育現場を想定した実践的技能的獲得を目指す。併せて、小打楽器等を活用し、様々な拍子やリズムの形態についての基本を体得し、基礎的な音楽理論を体系的に学修するとともに、教材研究を通して曲意及び楽曲の構造と形式について深く掘り下げて理解を図り、音楽表現の喜びを体感しながら音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む。									その他				
授業の 到達目標	①音楽活動全般の基礎となる読譜力を養い、歌唱、ピアノ伴奏、弾き歌いの技能を習得する。 ②初等音楽教育において必要とされる基礎的な音楽理論を理解し、音楽表現力を体得する。 ③歌唱教材及び鑑賞教材の曲意と楽曲の構造を理解する。 ④表現および鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。									計	100			
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。									フィードバックの方法				
授業計画 (予習、復習の内容・ 時間含む)	回	内 容									実技試験は全員による演奏会形式 で実施し、教員による講評と履修者 全員で振り返りを行うとともに、個 別的指導を通じて各々の課題を明 確化し、継続的な取り組みを促進 する。筆記試験は採点し返却する。			
	1	歌唱・弾き歌い：コールユーブンゲン巻1 第1章～7章 他 音楽理論：楽譜の意味(基礎)(担当：諏訪) 予習：(20分)テキストの楽典(楽譜の基礎)について、下読みする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。									アクティブラーニングの有無 (内容)			有
	2	歌唱・弾き歌い：「チューリップ」「ぶんぶんぶん」「ちょうちょう」の読譜と歌唱 音楽理論：楽譜の意味(応用)(担当：一戸) 予習：(60分)五線譜表の読み方、音符と休符の長さについて理解を深める。 復習：(60分)課題曲の旋律と伴奏譜の読譜をし、歌詞の表す情景や気持ちを感じ取りながら歌唱・ピアノ練習をする。												
	3	歌唱・弾き歌い実践演習：「コールユーブンゲン」「チューリップ」「ぶんぶんぶん」「ちょうちょう」他 (担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)課題曲についてグループで互いの歌声や伴奏を聴いて、声を含ませて歌う練習をする。 復習：(60分)課題曲についてグループで呼吸及び発音の仕方について話し合いながら歌唱・ピアノ練習をする。												
	4	歌唱・弾き歌い：コールユーブンゲン巻1 第8章～13章 他 音楽理論：音名と階名(基礎)(担当：諏訪) 予習：(60分)課題曲の読譜をし、歌唱(階名唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。												
	5	歌唱・弾き歌い：「チューリップ」「ぶんぶんぶん」「ちょうちょう」グループ発表 音楽理論：音名と階名(応用)(担当：一戸) 予習：(60分)課題曲について再度、音程やリズムを確認し、どのように歌うかについて思いや意図をもちながら練習をする。 復習：(60分)各グループで本時のグループ発表の振り返り(良かった点や改善すべき点等の確認)を行う。												
	6	歌唱・弾き歌い実践演習：「コールユーブンゲン」「チューリップ」「ぶんぶんぶん」「ちょうちょう」他、個人発表(担当：一戸、諏訪) 予習：(90分)課題曲のこれまで学修したポイントを整理し、独唱及び弾き歌い(ピアノを弾きながら歌う)の練習をする。 復習：(60分)各グループで本時の個人発表の振り返りを行う。												
	7	歌唱・弾き歌い：コールユーブンゲン巻1 第14章～20章 他 音楽理論：音符の長さ、リズムと拍子(基礎)(担当：諏訪) 予習：(60分)課題曲の読譜をし、歌唱(階名唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。												
	8	歌唱・弾き歌い：「春の小川」「こいのぼり」「たなばたさま」の読譜と歌唱 音楽理論：音符の長さ、リズムと拍子(応用)(担当：一戸) 予習：(60分)課題曲についてグループで読譜と歌唱練習をする。 復習：(60分)課題曲の旋律と伴奏譜の読譜をし、歌詞の表す情景や気持ちを感じ取りながら歌唱・ピアノ練習をする。												
	9	歌唱・弾き歌い実践演習：「コールユーブンゲン」「春の小川」「こいのぼり」「たなばたさま」他、グループ発表(担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)課題曲について再度、音程やリズムを確認し、どのように歌うかについて思いや意図をもちながら歌唱・ピアノ練習をする。 復習：(60分)各グループで本時のグループ発表の振り返りを行う。												
	10	音楽鑑賞：楽曲の総合理解(ICT機器を用いた動画鑑賞)(担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)音楽を形づくっている要素及び音符、休符、記号や用語について各自、確認・整理する。 復習：(60分)レポート課題に取り組む。												
	11	歌唱・弾き歌い：コールユーブンゲン巻1 第21章～26章 他 音楽理論：音階と調(基礎)(担当：諏訪) 予習：(60分)課題曲の読譜をし、歌唱(階名唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。												
	12	歌唱・弾き歌い：「春の小川」「こいのぼり」「たなばたさま」個人発表 音楽理論：音階と調(応用)(担当：一戸) 予習：(90分)課題曲のこれまで学修したポイントを整理し、弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)各グループで本時の個人発表の振り返りを行う。												
	13	歌唱・弾き歌い実践演習：「試験課題曲」他 (担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)これまで学修した歌唱法、ピアノ伴奏法のポイントを確認・整理し、試験課題曲の練習をする。 復習：(60分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、グループディスカッションを通して歌唱・ピアノ伴奏表現力の向上を目指す。												
	14	コールユーブンゲン巻1のまとめ：個人発表 音楽理論のまとめ：小テスト(担当：一戸、諏訪) 予習：(90分)試験課題曲を暗譜し、総合的に仕上げる。既習の音楽理論について総合的に確認する。 復習：(60分)個人発表を振り返り、改善点を中心に練習する。音楽理論の小テストを自己採点する。												
	15	弾き歌い：個人発表(担当：一戸、諏訪) 予習：(90分)試験課題曲を練習し、総合的に仕上げる。 復習：(60分)個人発表を振り返り、改善点を洗い出し、後期に向けて各自、理論と実践の両面から学修目標を設定し練習計画を立てる。												
教科書・教材	「この一冊でわかるピアノ実技と楽典 増補版」「コールユーブンゲン巻1」「最新 学生の音楽通論」(以上、音楽之友社)「五線譜ノート」(各自用意してください)													
参考書・ 参考文献等	「小学校学習指導要領 音楽」「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」													
履修上の 注意等	授業内で配布する楽譜や資料等は大切に保管し、次年度以降の学外実習等に役立ててください。													
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無												

【2311】 専門教育科目 教科に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科																		
音楽Ⅱ			演習	一戸智之・諏訪才子	1年	後期	こども発達学科																		
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無																
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士																	
1	15	30		1	○																				
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》			期末試験																
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》	期末レポート	授業内小テスト	80	有	授業内提出物	授業内活動	20	有	その他	計	100
当該科目の キーワード	《知識・理解》		音楽理論、歌唱法、ピアノ伴奏法、リコーダーの奏法									実技試験は全員による演奏会形式で実施し、教員による講評と履修者全員で振り返りを行うとともに、個別的指導を通じて各々の課題を明確化し、継続的な取り組みを促進する。筆記試験は採点し返却する。	アクティブラーニングの有無 (内容)	有											
	《汎用的技能》		歌唱表現、ピアノ表現、弾き歌いの技能																						
	《態度・志向性》		音楽に対する感性、音楽を愛好する心情																						
授業概要	音楽活動全般の基礎となる読譜力を養い、歌唱、ピアノ伴奏、リコーダーの初歩的な技能を習得する。実践演習では、保育及び初等教育において必須とされる歌唱や弾き歌いの個別指導を多く取り入れ、教育現場を想定した実践的技術の獲得を目指す。併せて、小打楽器や鍵盤ハーモニカ等を活用し、様々な拍子やリズムの形態についての基本を体得し、基礎的な音楽理論を体系的に学習するとともに、教材研究を通じて曲意及び楽曲の構造と形式について深く掘り下げて理解を図り、音楽表現の喜びを体感しながら音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む。												グループワーク、グループディスカッション、グループ発表												
授業の到達目標	①音楽活動全般の基礎となる読譜力を養い、歌唱、ピアノ伴奏、リコーダー、弾き歌いの技能を習得する。 ②初等音楽教育において必要とされる基礎的な音楽理論を理解し、音楽表現力を体得する。 ③歌唱教材及び鑑賞教材の曲意と楽曲の構造を理解する。 ④表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。																								
単位認定の要件	到達目標①～④の合計が60点以上であること。																								
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容																							
	1	歌唱・弾き歌い：コールユーブンゲン巻1 第27章～30章他 音楽理論：5度圏(基礎) (担当：諏訪) 予習：(20分)テキストの楽典(5度圏)について、下読みする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。																							
	2	歌唱・弾き歌い：「虫のこえ」「とんぼのめがね」「たやけこやけ」の読譜と歌唱 音楽理論：5度圏(応用) (担当：一戸) 予習：(60分)5度圏について実際にピアノを弾きながら確認し、理解を深める。 復習：(60分)課題曲の旋律と伴奏譜の読譜をし、歌詞の表す情景や気持ちを感じ取りながら歌唱・ピアノ練習をする。																							
	3	歌唱・弾き歌い実践演習：「コールユーブンゲン」「虫のこえ」「とんぼのめがね」「たやけこやけ」グループ発表 (担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)課題曲について再度、音程やリズムを確認し、どのように歌うかについて思いや意図をもちながらグループ練習をする。 復習：(60分)各グループで本時のグループ発表の振り返りを行う。																							
	4	歌唱・弾き歌い：コールユーブンゲン巻1 第31章他 音楽理論：近親調、さまざまな記号(基礎) (担当：諏訪) 予習：(60分)課題曲の読譜をし、歌唱(暗名唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。																							
	5	鍵盤ハーモニカの奏法 音楽理論：近親調、さまざまな記号(応用) (担当：一戸) 予習：(60分)鍵盤ハーモニカの奏法について確認・理解する。 復習：(60分)鍵盤ハーモニカの奏法のポイントを整理し、課題曲の豊かな表現力の向上を目指す。																							
	6	歌唱・弾き歌い実践演習：「コールユーブンゲン」「虫のこえ」「とんぼのめがね」「たやけこやけ」個人発表(応用) (担当：一戸、諏訪) 予習：(90分)課題曲のこれまで学修したポイントを整理し、弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)各グループで本時の個人発表の振り返りを行う。																							
	7	歌唱・弾き歌い：コールユーブンゲン巻1 第32章～34章他 音楽理論：音程とは、音程の種類、音程の判別方法(基礎) (担当：諏訪) 予習：(60分)課題曲の読譜をし、歌唱(暗名唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。																							
	8	リコーダーの奏法 音楽理論：音程とは、音程の種類、音程の判別方法(応用) (担当：一戸) 予習：(60分)リコーダーの奏法について確認・理解する。 復習：(60分)リコーダーの奏法のポイントを整理し、課題曲の豊かな表現力の向上を目指す。																							
	9	歌唱・弾き歌い実践演習：「コールユーブンゲン」「ふるさと」「もみじ」「雪」の読譜と歌唱 (担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)課題曲の音程やリズムを確認し、どのように歌うかについて思いや意図をもちながらグループ練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイントを整理し、歌詞の表す情景や気持ちを感じ取りながら歌唱・ピアノ練習をする。																							
	10	音楽鑑賞：楽曲の総合理解(ICT機器を用いた動画鑑賞) (担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)音楽を形づくっている要素及び音符、休符、記号や用語について各自、確認・整理する。 復習：(60分)レポート課題に取り組む。																							
	11	歌唱・弾き歌い：コールユーブンゲン巻1 第35章～36章他 音楽理論：コードネームとI、IV、V、V7の和音(基礎) (担当：諏訪) 予習：(60分)課題曲の読譜をし、歌唱(暗名唱等)・弾き歌いの練習をする。 復習：(60分)課題曲のポイント(音程、リズムなど)を中心に練習する。																							
	12	鍵盤ハーモニカとリコーダーによる合奏(グループ発表) 音楽理論：コードネームとI、IV、V、V7の和音(応用) (担当：一戸) 予習：(90分)課題曲についてグループワークを行い、どのように演奏するかについて思いや意図をもちながら練習する。 復習：(60分)各グループで本時のグループ発表の振り返りを行う。																							
	13	歌唱・弾き歌い実践演習：「試験課題曲」他 (担当：一戸、諏訪) 予習：(60分)これまで学修した歌唱法、ピアノ伴奏法のポイントを確認・整理し、試験課題曲の練習をする。 復習：(60分)各グループで試験を想定したリハーサルを行い、グループディスカッションを通して歌唱・ピアノ伴奏表現力の向上を目指す。																							
	14	コールユーブンゲン巻1のまとめ：個人発表 音楽理論のまとめ：小テスト (担当：一戸、諏訪) 予習：(90分)試験課題曲を唱譜し、総合的に仕上げる。既習の音楽理論について総合的に確認する。 復習：(60分)個人発表を振り返り、改善点を中心に練習する。音楽理論の小テストを自己採点する。																							
	15	弾き歌い：個人発表 (担当：一戸、諏訪) 予習：(90分)試験課題曲を練習し、総合的に仕上げる。 復習：(60分)個人発表を振り返り、改善点を洗い出し、2年次に向けて各自、理論と実践の両面から学修目標を設定し練習計画を立てる。																							
教科書・教材	「この一冊でわかるピアノ実技と楽典 増補版」「コールユーブンゲン巻1」「最新 学生の音楽通論」(以上、音楽之友社)「五線譜ノート」(各自用意してください)																								
参考書・参考文献等	「小学校学習指導要領 音楽」「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」																								
履修上の注意等	授業内で配布する楽譜や資料等は大切に保管し、将来の学外実習等に役立ててください。																								
実務経験との関連	実務経験の有無	無																							

【2503】 専門教育科目 領域に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科												
子どもの人間関係			演習	吉田裕美子	1年	後期	こども発達学科												
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無									
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士										
1	15	30		1				○	○	期末試験									
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》				《態度・志向性》				《獲得した能力 を総合的に 利用し、自ら 設定した課題へ適 用し、その 課題を解決 する能力》	期末レポート							
	基礎知識の体系的 理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーション スキル	数量的 スキル	情報リテラシー	論理的 思考力	問題 解決力	自己 管理能力	チーム ワーク	リーダー シップ		倫理 観	社会的 責任	生涯 学習力	授業内小テスト	70	有		
	○	—	○	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	—	授業内提出物	20	有
																	授業内活動	10	有
																	その他		
																	計	100	
																	フィードバックの方法		
当該科目の キーワード	《知識・理解》		各年齢段階の人間関係の理解								ノートやレポートなどの提出物にコメントをつけて返却し、授業中に解説する。								
	《汎用的技能》		事例検討、ロールプレイ、保育カンファレンス								アクティブラーニングの有無 (内容)			有					
	《態度・志向性》		グループワーク																
授業概要	実践場面における具体的な事例を通して、乳幼児期にとっての人の関わりの意味について個人の考えをまとめたり、グループで討議 する中で探っていく。										グループディスカッション、グループ ワーク								
授業の 到達目標	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「人間関係」のねらいと内容を理解する。乳幼児期における人の関わりを踏まえ、幼稚園や保育所における人間関係の大切さや、保育者の援助について理解する。 子どもの人間関係を指導するスキルを向上させるために、 ①乳幼児の人間関係の発達プロセスについて理解できる。 ②グループワークに参加し、人間関係の指導に関する意見交換を行い、他者の考えを知る。 ③他者との意見交換を通じて、様々な子どもの人間関係を支援・対応するための着眼点を理解する。																		
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること																		
授業計画 (予習、復習の内容 ・時間含む)	回	内 容																	
	1	保育の基本と人との関わり 予習:(30分) 領域「人間関係」のねらいと内容についての理解 復習:(15分) 子どもを取り巻く社会的背景について今求められていること																	
	2	領域「人間関係」のねらいと内容 予習:(30分) 自己紹介カードについて自己分析、人間関係についての悩み、質問その他について 復習:(15分) 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園における教育・保育の基本と目標について																	
	3	乳幼児期の子どもの人間関係の発達(「0歳～2歳」) 予習:(30分) 発達とは何か 復習:(15分) DVD鑑賞「言葉を育てる 語りかけ育児」から何を学んだか、望ましい関わり方、望ましくない関わり方とは何か																	
	4	自立心の芽生えと人間関係—3歳児の育ちと人との関わり— 予習:(30分) 3歳児の発達の特徴、遊びの特徴について 復習:(15分) 事例を通して3歳児の関わり方について学ぶ																	
	5	自立心の芽生えと人間関係—4歳児の育ちと人との関わり— 予習:(30分) 4歳児の発達の特徴、遊びの特徴について 復習:(15分) 事例を通して4歳児の関わり方について学ぶ																	
	6	自立心の芽生えと人間関係—5歳児の育ちと人との関わり— 予習:(30分) 5歳児の発達の特徴、遊びの特徴について 復習:(15分) 事例を通して5歳児の関わり方について学ぶ																	
	7	遊びの中での人との関わり(1)「遊びの意義と重要性」 予習:(30分) 遊びの意味と重要性を探る～自分が子どもの頃に遊んだことを思い出して～ 復習:(15分) 自分が好きだった遊び、自分に影響を与えた人や物、自分の育ちや性格から、自分にどのような影響を与えたか																	
	8	遊びの中での人との関わり(2)「遊びを読み取る」 予習:(30分) 子どもの遊びの場面を読み取り、想像して、イメージして、関係性をみる 復習:(15分) テーマ「遊びとは何か」、「遊びの始まりとは」、「見立て遊びとは」について考える																	
	9	遊びの中での人との関わり(3)「トラブルを通して成長する」(「協同する経験を重ねる」) 予習:(30分) 「絵カードを使って遊ぶこと」は遊びしよう」「いすとりゲームをしよう」 復習:(15分) 集団での遊びについて、遊びのポイントや関わり方について考える																	
	10	遊びの中での人との関わり(4)「トラブルを通して成長する」 予習:(30分) いざこざやけんかなどの発生とその意味 復習:(15分) いざこざやけんかなどのトラブルを通して成長する力とは																	
	11	人との関わりが難しい子どもへの支援(「特別なニーズをもつ子ども」) 予習:(30分) 「人と関われない、関わらない子どもたち」についてどう関わるか 復習:(15分) 保育の中で気になる子どもたちとどう関わるのか、保育者同士の人間関係について理解する																	
	12	園・家庭・地域の生活と人との関わり 予習:(30分) 地域子育て支援とは何か 復習:(15分) 園・家庭・地域との連携について																	
	13	小学校生活と領域「人間関係」 予習:(30分) 保育所・幼稚園での遊び、小学校へのつながりについて 復習:(15分) それぞれの教育・保育指針や目標を理解する																	
	14	人間関係をめぐる諸問題 予習:(30分) 現代的な諸課題に対応した保育と人間関係 復習:(15分) 子どもの多様さと保育、それぞれの文化の多様性を尊重する、ジェンダーフリーの保育を目指す																	
	15	まとめ 予習:(30分) 人間関係を築くために 復習:(15分) 筆記試験																	
教科書・教材	特になし																		
参考書・ 参考文献等	内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育要領・保育要領解説」(フレーベル館)																		
履修上の 注意等	グループワークに積極的に参加し、他者の意見を聞き自分の意見をまとめること。																		
実務経験との 関連	実務経験 の有無	無																	

【2701】 専門教育科目 教育の基礎的理解・実践等に 関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
教職の理解			講義	齋藤雅俊・他	1年	前期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件			免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無					
			必修	選択		小学校	幼稚園	保育士						
2	15	30		2	○	○			期末試験					
学士力の分類 当該科目で育成 できる主要な 分類項目	《知識・理解》		《汎用的技能》			《態度・志向性》					期末レポート			
	基礎知識の体系的理解	多文化・異文化 文化・社会・自然	コミュニケーションスキル	数量的スキル	情報リテラシー	論理的思考力	問題解決力	自己管理能力	チームワーク	リーダーシップ	倫理観	社会的責任	生涯学習力	授業内小テスト
	○	—	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	授業内提出物 80 無
													授業内活動 20 無	
													その他	
													計 100	
													フィードバックの方法	
当該科目の キーワード	《知識・理解》		生きる力								各担当者が行う。			
	《汎用的技能》		主体的対話的で深い学び											
	《態度・志向性》		学び続ける教師、チーム学校								アクティブラーニングの有無 (内容)			
													有	
授業概要	教育のあり方、及び教員としての意識の向上を図るためには、教育の理論と実践を関係づけ、さらに生き生きとした生の教育現場への理解が必要である。本講義では教職の意義及び教員の役割、並びに教員の職務などについて、各人の切り口で、それぞれ実際面での工夫や苦心も交えて講じて、教職の現実についての理解を深めていく。また、「チーム学校」として、専門性に基づく体制の在り方と機能的連携、教員一人ひとりの力の発揮とともに、校外との連携についても触れる。特に、最終回では全体を総括して、社会における教育の重要性、教職に対する期待と心構えを説く。									グループワークのある回等				
授業の 到達目標	教職に対する心構えを培う。教職を目指す学生として、教職の意義、教員の役割、教員の職務、学校現場での教員、求められる教師像、教職への進路選択に指標となる内容等について理解する。													
単位認定の要件	到達目標①～③の合計が60点以上であること。													
授業計画 (予習、復習の内容 ・時間含む)	回	内 容												
	1	オリエンテーション:「教職」とは何か、教師の役割と職責について(齋藤 雅俊) 予習:(60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。												
	2	現在の学校教育(1):子どもの個性・可能性を引き出し、伸ばす教師とは(齋藤 雅俊) 予習:(60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分) 授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。												
	3	現在の学校教育(2):確かな学力を育むために(小林 琢哉) 予習:(90分)予習の内容を速読し、評価の方法について調べておく。 復習:(90分) これまでの自分の学習経験と授業の内容を比較しながら、確かな学力を育むためには何が必要かを考察する。												
	4	現在の学校教育(3):学び続ける教師をめざして(小林 琢哉) 予習:(90分)教師にとっての学びとは何か、調べておく。 復習:(90分)教師が学び成長し続けるためには何が必要か、考察をまとめる。												
	5	現在の学校教育(4):子どもに寄り添う教育、生活指導・生徒指導のあり方とは(秋臺 美紀) 予習:(90分)生徒指導とは何かを調べる。生徒指導の基礎の箇所を読んでおく。 復習:(90分)生徒指導の定義を改めて読み、生徒指導の定義、目的について理解を深める。												
	6	学校間の連携(1):生活指導・生徒指導における幼小中高の連携について(秋臺 美紀) 予習:(90分)幼小中高の各段階の発達の特性について調べる。 復習:(90分)幼小中高で生じる問題と連携の具体的な取り組みについて理解を深める。												
	7	学校間の連携(2):発達障害と生徒指導について(秋臺 美紀) 予習:(90分)幼小中高で生じる発達障害特性を抱える児童・生徒の困り感について調べる。 復習:(90分)発達障害特性を抱える児童・生徒への支援方法について自分の考えをまとめる。												
	8	家庭との連携(1):保護者との信頼関係の構築(秋臺 美紀) 予習:(90分)保護者と教員との関わりにはどのような場面があるか調べる。 復習:(90分)保護者と信頼関係を構築する方法について理解を深め、自分自身のコミュニケーション上の課題を考える。												
	9	家庭との連携(2):不適応行動における連携の実践(秋臺 美紀) 予習:(90分)不登校支援における保護者との連携方法について調べる。 復習:(90分)不登校支援における考え方、保護者の協力を得るために必要な点について自分の考えをまとめる。												
	10	地域社会との連携(1):生涯学習社会における学校、家庭、地域社会との連携、協働に関わる施策や施設について(安川由貴子) 予習:(90分)地域社会との連携・協働がなぜ必要なのかを考え、自身の経験を振り返る。 復習:(90分)地域社会との連携・協働の必要性や意義について、自分の考えをまとめる。												
	11	地域社会との連携(2):地域社会に関わった学校にむけて(コミュニティスクール、地域学校協働活動の実践)(安川由貴子) 予習:(90分)地域社会との連携・協働の実践例について調べる。 復習:(90分)学校と地域社会との連携・協働のあり方や課題について、自分の考えをまとめる。												
	12	教育現場における現代的課題(1):ICTを活用した教育について(小林 琢哉) 予習:(90分)現代の教育でICTがどのように活用されているか調べておく。 復習:(90分)これからの教育におけるICT活用の意味について考察する。												
	13	教育現場における現代的課題(2):キャリア教育と人間形成(齋藤 雅俊) 予習:(60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。												
	14	教育現場における現代的課題(3):多様な教育機会の保障(齋藤 雅俊) 予習:(60分)Googleクラスルームにおいてある授業の資料を読んでおく。 復習:(60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。												
15	まとめ:現代の教員に求められる資質・能力と教職の道への挑戦(齋藤 雅俊) 予習:なし 復習:(60分)授業内で分からなかったことがあればインターネット等で検索する。													
教科書・教材	オムニバス方式の授業のため、毎回担当者が資料等を用意する。													
参考書・ 参考文献等	特定の参考書は使用しないが、「教職とは何か」と言う問いに関わる本を自主的に探して読むこと。													
履修上の 注意等	特になし													
実務経験との 関連	実務経験 の有無	有	(秋臺)スクールカウンセラーの経験のある教員が、児童生徒の発達の特性を踏まえた問題行動、支援、保護者との連携方法について講義する。											

【2804】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科								
保育者論			講義	安川由貴子	1年	後期	こども発達学科								
単位数	授業回数	時間数	卒業要件		免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無							
			必修	選択	小学校	幼稚園	保育士								
2	15	30		2				○	期末試験	40	無				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力			≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力					《獲得した能力を総合的に利用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート	25	無	
	○	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	期末試験											40	無		
	フィードバックの方法											100			
当該科目のキーワード	≪知識・理解≫		保育者に関する基本的知識の理解									ミニ発表用の提出物は、印刷して授業時に共有する。コメント・ペーパーの内容や質問は授業内で適宜共有する。			
	≪汎用的技能≫		保育者としてのコミュニケーション力や思考力の向上									アクティブラーニングの有無(内容)		有	
	≪態度・志向性≫		保育者としての姿勢や責任感												
授業概要	国家資格としての保育士の制度的な位置づけを理解し、有資格者として要求されている保育者の役割と倫理、専門的な知識や技能について理解し、考察する。また、保育者のさまざまな協働の内容や実際についての理解を深め、保育者の資質向上に向けた専門性の発達とキャリア形成について見直しをもてるようにする。										グループディスカッション、発表				
授業の到達目標	1.保育者の役割と倫理について理解する。 2.保育士の制度的な位置づけを理解する。 3.保育士の専門性について考察し、理解する。 4.保育者の協働について理解する。 5.保育者の資質向上とキャリア形成について理解する。														
単位認定の要件	到達目標に対し、総合的に評価して合計が60点以上であること。														
授業計画 (予習、復習の内容・時間含む)	回	内 容													
	1	ガイダンス、目指す保育者像について、保育士の仕事 予習:(90分)自分の目指す保育者像について、保育士の仕事について考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	2	保育者の役割と倫理①保育者の役割と職務内容 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	3	保育者の役割と倫理②保育者の倫理 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、今後の自らの保育者としての関わりについて考え、ミニレポートを作成すること。													
	4	保育士の制度的な位置づけ(児童福祉法における保育士) 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	5	保育士の専門性①保育士の資質・能力 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	6	保育士の専門性②養護及び教育の一体的展開 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	7	保育士の専門性③家庭との連携と保護者に対する支援 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	8	保育士の専門性④計画に基づく実践と省察・評価 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	9	保育士の専門性⑤保育士の質の向上 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	10	保育者の協働①保育における職員間の協働 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	11	保育者の協働②専門機関及び専門機関との連携・協働の内容 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	12	保育者の協働③専門機関及び専門機関との連携・協働の実践 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	13	保育者の協働④地域における連携・協働 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	14	保育者の資質向上とキャリア形成①資質向上に関する組織的取組 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
	15	保育者の資質向上とキャリア形成②保育者の専門性の発達とキャリア形成、保育者の組織とリーダーシップ 予習:(90分)テーマについて情報収集し、問題意識を持ち考えてくること。 復習:(90分)授業の振り返りを通して、内容理解に努めること。また、新たに出てきた用語や疑問について、自ら調べる姿勢を大切にすること。													
教科書・教材	レジュメ、資料を配布する。厚生労働省『保育所保育指針(平成29年告示)』フレーベル館。厚生労働省編『保育所保育指針解説』フレーベル館。														
参考書・参考文献等	ミネルヴァ書房編集部編『保育小六法』ミネルヴァ書房。柏友霊峰監修、全国保育士会編『改訂2版 全国保育士会倫理綱領ガイドブック』全国社会福祉協議会、2018年。授業内に適宜紹介します。														
履修上の注意等	知識を身に付けるだけでなく、自分がどのような保育士になりたいか、そのために何を学ぶ必要があるかという視点をもって受講すること。ミニ発表やグループワークの機会にも、積極的な参加を期待します。														
実務経験との関連	実務経験の有無	無													

【2808】 専門教育科目 保育士に関する科目			授業形態	担当教員名	開講年次	開講時期	開講学科							
乳児保育 I			講義	吉田裕美子	1年	後期	こども発達学科							
単位数	授業回数	時間数	卒業要件				免許・資格			単位認定の方法と フィードバックの有無				
			必修	選択			小学校	幼稚園	保育士					
2	15	30		2					○	期末試験				
学士力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目	≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然		≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力				≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力				《獲得した能力を総合的に活用し、自ら設定した課題へ適し、その課題を解決する能力》	期末レポート		
	○	—	—	○	—	—	—	—	○	○		—	○	授業内小テスト
授業内提出物 20 有 授業内活動 10 有 その他												計	100	
当該科目のキーワード												フィードバックの方法		
当該科目のキーワード		≪知識・理解≫ ≪汎用的技能≫ ≪態度・志向性≫	乳児保育の基礎知識 乳児保育の援助 乳児保育の役割と責任				ノートやレポートなどの提出物にコメントをつけて返却し、授業中に解説する。			アクティブラーニングの有無(内容)	有			
授業概要		乳児保育の歴史について知り、乳児の育つ環境の大切さ、乳児保育の果たす役割を知る。テキストに加え「保育所保育指針」を参考にして巻末のワークシートを使用し、理解を深める。乳児の発達保障、保護者の支援、地域社会の子育て支援を学び、これからの社会における乳児保育のあり方を考える。							グループディスカッション、グループワーク					
授業の到達目標		乳児保育の基本を習得するために、 ①乳児保育の意義、目的と役割を知る。 ②乳児保育の内容や体制を理解する。 ③職員間の協働や関係機関との連携を理解する。												
単位認定の要件		到達目標①～③の合計が60点以上であること。												
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		回	内 容											
		1	乳児保育とは何か 予習:(90分) 乳児保育の意義と目的 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		2	「保育所保育指針」における乳児保育の理念と概念 予習:(90分) 小規模保育と家庭的保育について 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		3	乳児保育の歴史 予習:(90分) 乳児保育に関わる制度を理解する 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		4	乳児保育の基礎知識(1)「0歳児の発達の特徴、発達過程」 予習:(90分) 0歳児の発育・発達を踏まえた生活・遊びの援助の実際 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		5	乳児保育の基礎知識(2)「1歳以上3歳未満児の保育に関わるわらわら及び内容」 予習:(90分) 1～3歳児の発育・発達を踏まえた生活・遊びの援助の実際 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		6	乳児保育の基礎知識(3)「特別な配慮が必要な子どもへの支援」 予習:(90分) 子どもへの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮①心身の健康への配慮、②安全への配慮、③情緒の安定を図るための配慮 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		7	保育所・認定こども園における乳児保育(1)「保育所とは」「認定こども園とは」 予習:(90分) 保育所の役割とは、認定こども園の類型と特徴について 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		8	保育所・認定こども園における乳児保育(2)「保育所の生活活動」「幼保連携型認定こども園における生活活動」 予習:(90分) ティータイムプログラムについて 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		9	乳児院における乳児保育 予習:(90分) 乳児院における養育とは 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		10	家庭的保育等における乳児保育 予習:(90分) 家庭的保育事業とは 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		11	乳児保育が行われるその他の保育 予習:(90分) 「子ども・子育て支援新制度」における保育施設の位置づけ 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		12	子育て支援における乳児保育 予習:(90分) 保育所及び認定こども園における子育て支援に関する基本 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		13	保護者とのパートナーシップ(1) 予習:(90分) 乳児保育における保護者支援とは 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		14	保護者とのパートナーシップ(2) 予習:(90分) 職員間・地域との関係機関との連携 復習:(90分) 演習課題のおさらいテスト											
		15	乳児保育の現状と課題 予習:(90分) 乳児保育の現状と課題 復習:(90分) 筆記試験											
教科書・教材		よくわかる！エクササイズ5 乳児保育 演習ブック[第2版]/ミネルヴァ書房/松本 峰雄監修 池田 りな、才郷 眞弓、土屋 由、堀 科												
参考書・参考文献等		基本保育シリーズ15 乳児保育 I・II、寺田 清美、大方 美香、塩谷 香												
履修上の注意等		振り返りレポートを配布するので各自、記入のこと。本試験の問題は、レポートの課題から出題されます。												
実務経験との関連		実務経験の有無	無											

[9001] #N/A		授業形態		担当教員名		開講年次	開講時期	開講学科										
介護等体験		実習		福士章子		1年	前期	こども発達学科										
単位数	授業回数	時間数	卒業要件					免許・資格			単位認定の方法とフィードバックの有無							
			必修		選択			小学校	幼稚園	保育士								
—				—		○			単位なし			100	無					
学力力の分類 当該科目で育成できる主要な分類項目		≪知識・理解≫ 基礎知識の体系的理解 多文化・異文化 文化・社会・自然			≪汎用的技能≫ コミュニケーションスキル 数量的スキル 情報リテラシー 論理的思考力 問題解決力					≪態度・志向性≫ 自己管理能力 チームワーク リーダーシップ 倫理観 社会的責任 生涯学習力			《獲得した能力を総合的に利用し自ら設定した課題へ適用し、その課題を解決する能力》 計 100 フィードバックの方法					
		○			—		○	—	—	○	○	—				○	○	○
		当該科目のキーワード		≪知識・理解≫ 特別支援学級及び社会福祉施設の特徴、留意点			≪汎用的技能≫ 障害者・高齢者に対する介護・介助・交流					実習ノートはコメントをつけ、返却している(体験先でコメントをくれることもある)。						
				≪態度・志向性≫ 教職員や利用者との共働 教員としての資質向上								アクティブラーニングの有無(内容) 有						
授業概要		介護等体験に備えて4回のガイダンスを実施する。ガイダンスでは、介護等体験の意義、心構え、事前に勉強しておくことなどを説明し、申し込みに必要な書類の準備やネットでの登録手続きなどをする。事前の指導を充実させることで、学生に有意義な体験をしてもらいたい。										自分の実習先について調べ、介助について必要な知識を得ておく。車椅子の操作を自分たちで練習しておく。						
授業の到達目標		「義務教育(小・中)に従事する教員が、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する意識を深め、教員としての資質向上を図り、義務教育の充実を期する観点から、小学校、中学校の普通免許状の取得を希望する者に、障害者、高齢者に対する介護、介助、交流の体験を行うものである」という教育職員免許法、特例法に基づき、青森県内の特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間の介護等体験を実施する。																
単位認定の要件		体験先からいただく証明書2枚(特別支援学校1枚、社会福祉施設1枚)が教員免許申請の際、必要になります。																
授業計画(予習、復習の内容・時間含む)		内 容 介護等体験の意義を理解する。県内の特別支援学校の特徴や所在地を確認し、希望調査票に正しく記入し、提出する。社会福祉施設申し込みに関わるネットでの登録、検索・申し込みの手順や方法を理解し、入力作業をし、登録を完了する。受付開始日に自分で申し込みできるようにしておく。特別支援学校の配属決定を受け、申し込み書類を作成し提出する。体験先への事前連絡と挨拶、お礼状の書き方、証明書の取り扱い、実習ノートの記入の仕方などを理解する。社会福祉施設配属決定を受け、施設利用者(高齢者、障害者)と接する際の留意点および介助(入浴、着替え、食事、車椅子の操作など)の具体的な方法などを理解する。連絡網を作成する。各施設における具体的な諸注意(1週間前に事前連絡をすること、給食費、服装、検便の有無など)を確認する。レクリエーションの企画の準備をする。証明書、実習ノートの配布、記入方法の確認をする。実習における心構えを再度確認する。 【授業時間外学習の指示】 実習に行く前に特別支援学校や社会福祉施設の特徴や介助の留意点等を学習し、車椅子の使用方も練習すること。																
教科書・教材		特になし																
参考書・参考文献等		特になし																
履修上の注意等		介護等体験を希望する人は必ずガイダンスに出席してください。																
実務経験との関連		実務経験の有無	無															